


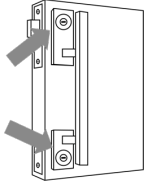

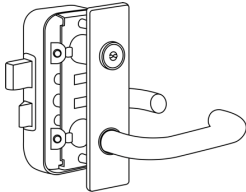
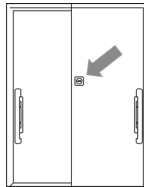
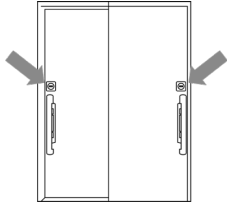
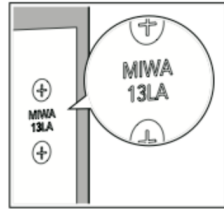
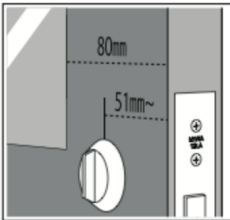
取り付け可能な錠ケース一覧

メーカー	型番	シリンダー型	対応B/S	使用部品袋	エスカッション使用可否
MIWA	LA/MA	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	LASP	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	WLA	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	13LA	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	LAF	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	LV	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	LVF	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	MV	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	MVF	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	PPVF	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	PPF	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	DA	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	DASP	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	DV	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	DVF	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	LDA	LA/DA型	64のみ	LA部品	可 ※1
MIWA	FG	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
U-Shin	SLA	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
Clavis	LC・MC	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
Clavis	CD	LA/DA型	51/64/64～	LA部品	可 ※1
MIWA	SWLSP	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
MIWA	LSP	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
MIWA	TE-**	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
MIWA	LE-**	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
MIWA	GAF	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
LIXIL	QDD-***	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
LIXIL	QDJ-***	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
LIXIL	QDK-***	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
LIXIL	QDC-***	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
LIXIL	QDV-***	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
LIXIL	QDN-***	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
三協アルミ	FE	LSP/LE型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	AS/LX	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	LG	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	LGK	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	PL	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	PLK	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	LD	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	LDK	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	HD	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	SX	LX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	可 ※1
GOAL	TX	TX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	TTX	TX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	TLK	TX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	TXK	TX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	SK	TX型	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	GK	TX型(AD型不可)	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	GD	TX型(AD型不可)	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可
GOAL	GG	TX型(AD型不可)	51/64/64～	LSP/LX他部品	不可

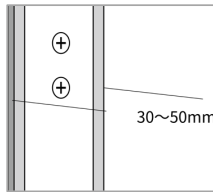
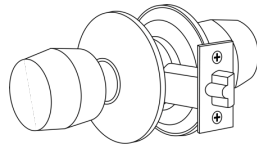
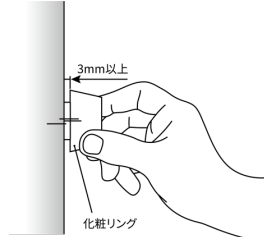
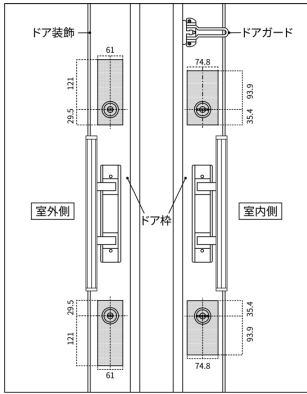
※1 エスカッションを使用するには以下の条件があります。

- ・シリンダー外径がφ45mm以下であること
- ・扉とシリンダーカバーに隙間が3mm以上あること

■設置前確認リスト:LOCK Pro

項目	番号	チェック□	内容
錠前の確認	No.1	<input type="checkbox"/>	錠前には、飾り座がついていない 
	No.2	<input type="checkbox"/>	鍵穴一体のプッシュプル錠ではない 
	No.3	<input type="checkbox"/>	サムラッチ錠ではない 
	No.4	<input type="checkbox"/>	面付箱錠ではない 
引き戸の場合の確認	No.5	<input type="checkbox"/>	召し合わせ錠でない 
	No.6	<input type="checkbox"/>	戸先に設置してある錠前が、MIWA/FG錠またはGOAL/SX錠である 
ドア・錠ケース・シリンダーについての確認	No.7	<input type="checkbox"/>	取り付け対象の錠前の型番が、対応錠前一覧に記載されている ※対応錠前一覧 https://support.space-core.jp/hc/ja/articles/4402544536077 
	No.8	<input type="checkbox"/>	バックセットが51mm以上であること 

■設置前確認リスト:LOCK Pro

項目	番号	チェック□	内容
	No.9	<input type="checkbox"/>	ドア厚が30mm~50mmであること 
	No.10	<input type="checkbox"/>	円筒錠（モノロック）ではない 
エスカッション使用時	No.11	<input type="checkbox"/>	エスカッションを使用し、かつMIWA製のシリンダーの場合、ドア厚が36mm以下である ※ドアが36mmより厚い時は、対応ドア厚42mm以上のシリンダーに交換が必要
	No.12	<input type="checkbox"/>	エスカッションを使用する場合は、扉とシリンダーカラーの間に3mm以上の隙間がある 
	No.13	<input type="checkbox"/>	エスカッションを使用する場合、シリンダーの直径が45mm未満である
ドアの状態	No.14	<input type="checkbox"/>	インボディ設置位置、アウトボディ設置位置ともに障害となる突起物な装飾物などがない
	No.15	<input type="checkbox"/>	扉に装飾物があった場合、インボディやアウトボディに干渉しない
	No.16	<input type="checkbox"/>	鍵設置位置（グレーの部分）に、障害となる突起物や、装飾物、ドアガード、ドア枠、ハンドルなど、鍵に干渉する物がない 
	No.17	<input type="checkbox"/>	マグネットセンサーを設置する位置（インボディの戸当たり側）に装飾物がない
	No.18	<input type="checkbox"/>	マグネットを設置する位置に装飾物がない
	No.19	<input type="checkbox"/>	摩耗、ガタツキ、変形、サビ、腐食などがない
	No.20	<input type="checkbox"/>	扉を90度まで開いて手を放した際に、引っ掛かることなくラッチボルトがかかる状態まで閉まる
	No.21	<input type="checkbox"/>	扉を開く角度を変えても閉まる（45度など）
デッドボルト	No.22	<input type="checkbox"/>	室内側でドアに触れずにサムターンを回して引っ掛かりなく施錠できる
	No.23	<input type="checkbox"/>	室内側でドアに触れずにサムターンを回して引っ掛かりなく解錠できる
機密性	No.24	<input type="checkbox"/>	※確認推奨 部屋の機密性が高い場合、サムターンが回しづらい場合があります。換気扇などの空調使用時に、室内側でドアに触れずにサムターンを回して、引っ掛かりなく施錠できることをご確認ください。

スマートロック

LOCK Pro

ZSL10

工事説明書
GOAL-LX 用

株式会社アクセルラボ



目次

正しく工事していただくために	1
商品構成	2
取り付け前に確認していただくこと	3
GOAL-LXへの取り付け	6
標準	7
エスカッション	10
エマージェンシーA	14
エマージェンシーB独立型	18
エマージェンシーB半独立型	21
インボディの取り付け	24
デバイスの設定	29



正しく工事していただくために

取り付けの際、お守りいただく内容です。

この「工事説明書」では、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、この「工事説明書」をお読みいただくようお願い申し上げます。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

- ⊙ 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締め過ぎやネジ穴がつぶれるなどの破損の原因となります。
- ⊙ 高温になる場所(火や暖房器具のそば、直射日光の当たる場所)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ⊙ 水などの液体をかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊙ 金属・紙・その他異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊙ 電源を入れたまま工事をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。医用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により医用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- ⊙ 分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・傷害の原因となります。また、改造した製品を使用した場合、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じて当社では一切の責任を負いかねます。
- ❗ 液漏れして皮膚や衣服に附着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に附着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

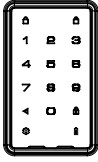
⚠ 注意

- ⊙ 風呂場などの湿気の多い場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ⊙ アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤をかけないでください。印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。
- ⊙ 強い衝撃や振動が加わる場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。
- ⊙ 強力な電氣的ノイズおよび電磁波のある場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。

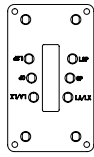
商品構成

取り付け作業前に欠品がないことを必ずご確認ください。

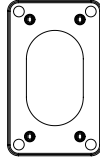
■アウトボディ



リーダー

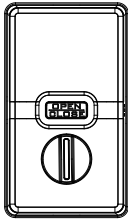


リーダープレート

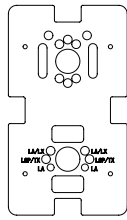


リーダーラバー

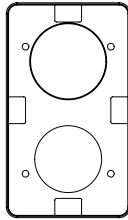
■インボディ



ボディ



ボディプレート

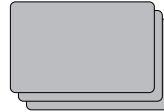


ボディラバー

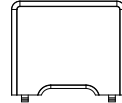
■ICカード



DESFireカード



Ultra Lightカード



電池カバー

【LA部品】パック



リーダーアタッチメント



リーダープラグ

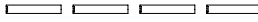
アタッチメントネジ
M6×14 皿ネジ 1本

ボディアダプター

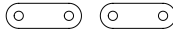
アダプタライナーセット(黒色)
(1mm/2mm/3mm/4&8mm)プラグ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 2本アダプター固定ネジ
M4×16 なべネジ 4本

組み付けられています

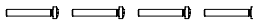
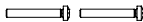
【LSP/LX他部品】パック



サポートパイプ 4本



サポートプレート 2枚

サポートパイプ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 4本サポートパイプ呼び込みネジ
M4×28 なべネジ 4本シリンダー固定ネジ-S
M5×40 なべネジ 2本シリンダー固定ネジ-L
M5×45 なべネジ 2本

【本体部品】パック



マグネットセンサー



マグネット



マグネットセンサーモジュール



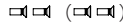
角芯-S



角芯-L



スプリング(予備1)

リーダープレート固定ネジ
ST2.9×8 皿タッピングネジ 4本ボディ上部固定ネジ(予備2)(黒色)
M3×8 皿ネジ小頭 4本マグネット固定ドリリングネジ
ST4.2×16 なべドリリングネジ 2本

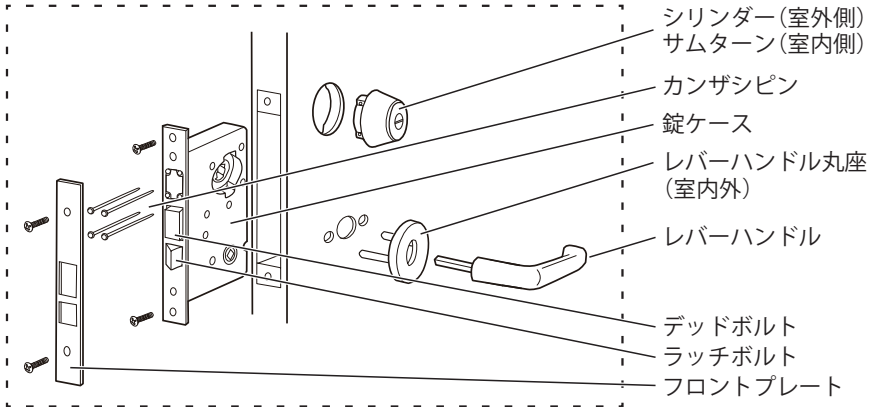
取り付け前に確認していただくこと

1. 既設錠前の作動確認

錠ケースやレバーハンドル(シリンダー)の作動が良好か、良く確認したうえで取り付け作業に入ってください。

- ・ドアを閉めた状態でラッチボルトがしっかり掛かり、デッドボルトが受けと干渉せずなめらかに動くか。
- ・ドアの開閉でドアと枠が当たらないか。
- ・ドアクローザーの力でラッチボルトが掛かるまでドアが閉まるか。
- ・サムターンが90度回転し、作動終わりにバネの力が働いてクリック感があるか。
- ・摩耗、ガタツキ、変形、サビ、腐食などはないか。

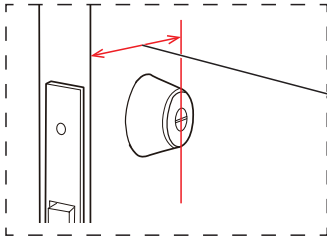
※上記他、問題点がある場合は製品が正常に作動しない場合があります。
メンテナンスや交換等は、専門業者に依頼をしてください。



取り付け前に確認していただくこと

2. バックセット

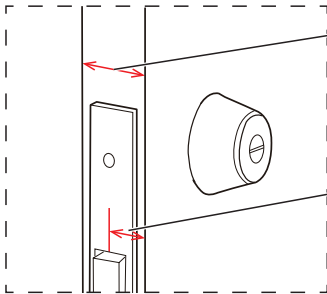
- 設置場所のバックセットを確認してください。
対応バックセット: 51mm または 64mm 以上



バックセット
(フロント面からシリンダー中心までの長さ)

3. ドア厚の確認

- 設置場所のドア厚を確認してください。
戸先側に煙返しなどがある場合は吊元側で採寸してください。
- デッドボルトのセンターがドアのセンターにあるか確認してください。
デッドボルトが室内側または室外側に寄っている場合があります。
その場合は使用する部品の組み合わせが変わることがあります。



ドア厚
対応ドア厚: 30~50mm

デッドボルトセンターの位置

デッドボルトとドアのセンターが異なる場合の例

- 錠ケース: MIWA-LAタイプ
- ドア厚: 40mm
- デッドボルトセンター: 室内側から15mm

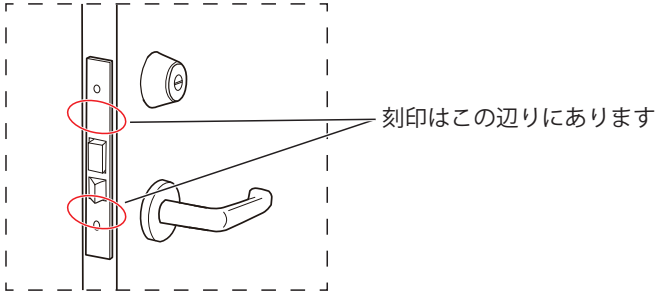


室内側はドア厚30mmとみなし、リーダープラグは
ドア厚30mm~42mmの向きで使用する。
室外側はドア厚50mmとみなして角芯Lを使用する。

取り付け前に確認していただくこと

4. 錠前の種類

- 錠前メーカーと錠前の種類(型番)を確認してください。
種類によって設置方法が異なります。刻印はドア側面にあります。



MIWA製 : LA・MA / LASP / WLA / 13LA / LAF / LV / LVF / MV / MVF / PPVF / PPF /
DA / DASP / DV / DVF / LDA / FG

U-Shin製 : SLA

Clavis製 : LC・MC / CD

⇒MIWA-LAタイプの工事説明書を参照ください。

MIWA製 : LSP / SWLSP / GAF / LE-xx / TE-xx

LIXIL製 : QDD-xxx / QDJ-xxx / QDK-xxx / QDC-xxx / QDV-xxx / QDN-xxx

三協アルミ製 : FE

⇒MIWA-LSPタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : AS・LX / LG / LGK / PL / PLK / LD / LDK / HD / SX

⇒GOAL-LXタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : TX / TTX / TLX / TXK / SK / GK / GD / GG

⇒GOAL-TXタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL-LXへの取り付け

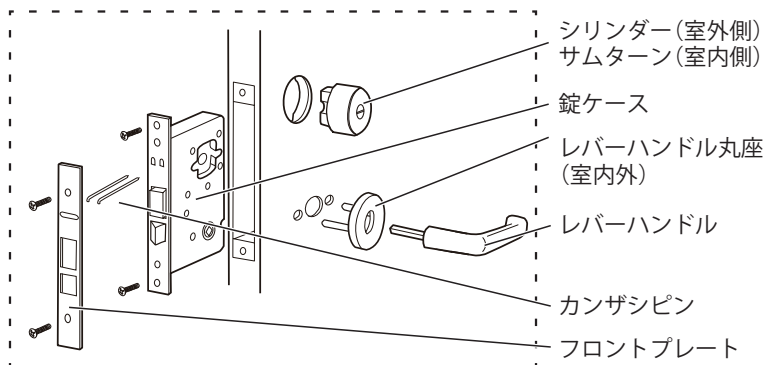
1. 設置タイプの確認

室外側の設置タイプによって施工方法が異なります。該当する設置タイプの工事説明書を参照してください。

シリンダーを使用しない	A. 標準タイプ
シリンダーとアウトボディを併用する	B. エスカッションタイプ シリンダーカラーが直径45mm以下かつシリンダーとドアの隙間を3mm以上作れること。
	C. エマーゼンシータイプ ドアに取り付け穴の加工が必要です。
シリンダーを使用する	D. インボディタイプ 既設錠前からサムターンのみを取り外してください。

2. 既設錠前の取り外し

- ・サムターンの小ねじを外して、サムターン内部にあるねじを2本外します。
- ・ドア側面のフロントプレートを外します。
- ・カンザシピンをシリンダー側、サムターン側各1本抜き取り、シリンダーとサムターンを外します。シリンダーを外すときは、シリンダーを少し持ち上げて手前に引いてください。
- ・室内側レバーハンドル根元のねじを緩め、室内外レバーハンドルを外します。
- ・室内側レバーハンドル丸座を外します。(ツメ式・ねじ込み式等あり)
- ・丸座内部のねじ2本を外し、室内外の丸座を外します。
- ・ドア側面のねじ2本を外し、錠ケースを取り外します。



※注意※

作業時はドアストッパーを使用して、ドアが閉まらないようにしてください。

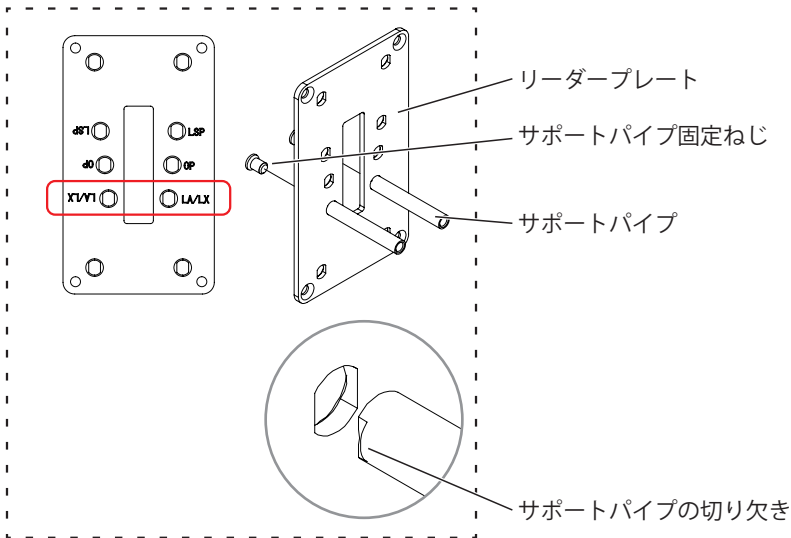
アウトボディの取り付け(GOAL-LX 標準)

1. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートにLX刻印がある位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

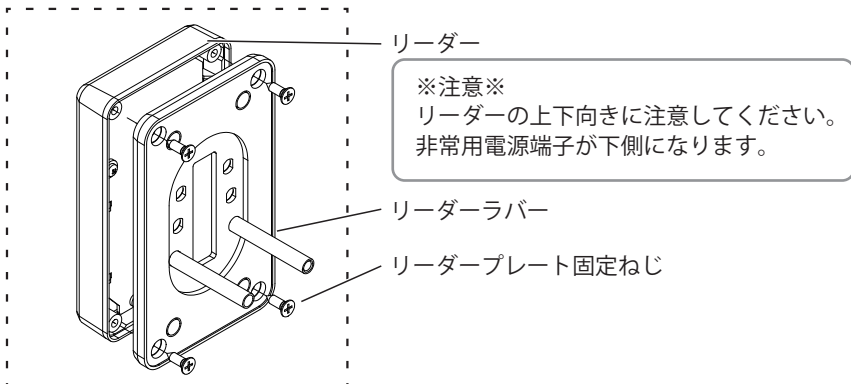
ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 2本



2. リーダープレートの取り付け

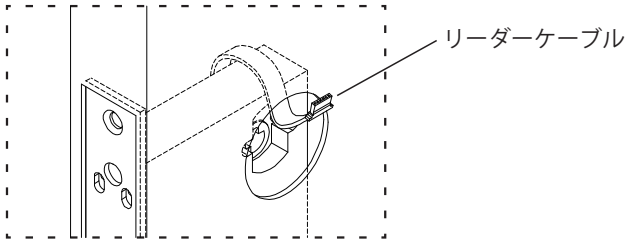
- リーダーにリーダープレートを取り付けます。
リーダープレートの天地を入れ替えることでアウトボディの設置位置を調整できます。
- 【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本
- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。



アウトボディの取り付け(GOAL-LX 標準)

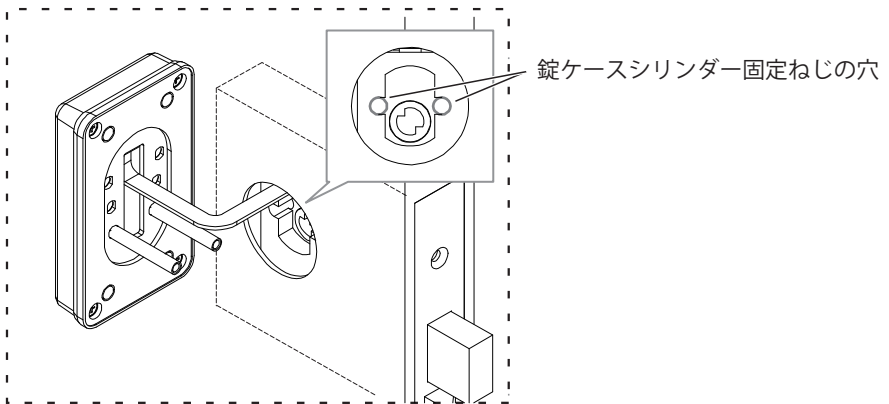
3. ケーブルの通線

- ドアのシリンダー切り欠き穴からリーダーケーブルを通線します。錠ケースの上部にケーブルが通るように調整し、錠ケースを取り付けます。
錠ケースの取り付け方法は『既設錠前の取り外し』を参考にしてください。



4. リーダーの固定

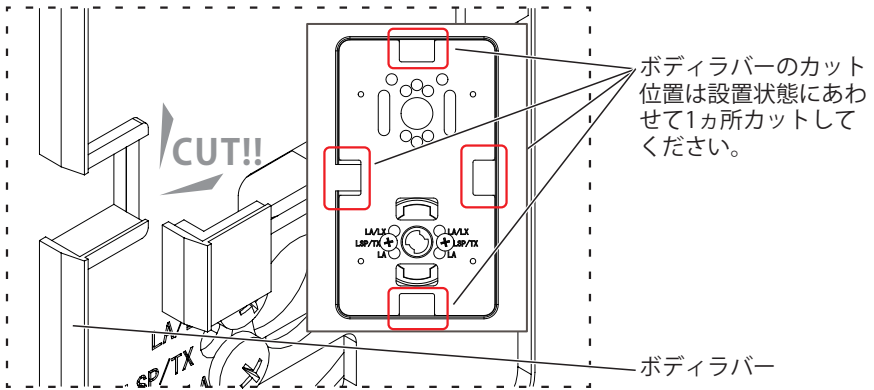
- 錠ケースシリンダー固定ねじが通っていた穴に、リーダーのサポートパイプを通します。



アウトボディの取り付け(GOAL-LX 標準)

5. ボディラバーのカット

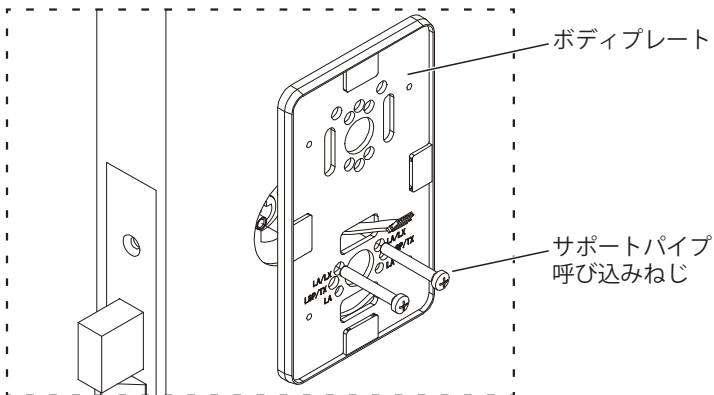
- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



6. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通し、サポートパイプとボディプレートをサポートパイプ呼び込みねじ2本を締め付けます。

【LSP/LX部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ



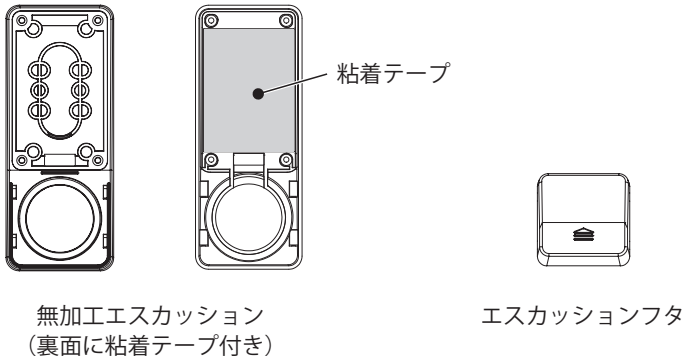
※注意※

ボディプレートを強く締め付けすぎると歪みや、変形、作動不良の原因となります。

アウトボディの取り付け(GOAL-LX エスカッション)

1. 商品構成

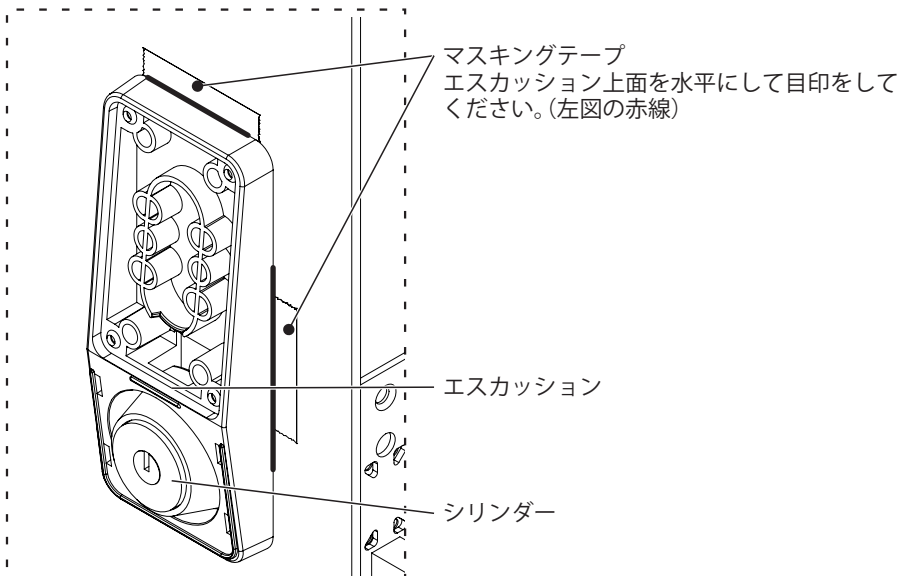
取り付け作業前に欠品がないことを必ずご確認ください。



※作業の前に※
シリンダーホール上部をシリンダーからはみ出さない範囲でヤスリ等で広げることで、通線やシリンダー取り付け作業が行いやすくなります。

2. 仮止め

- ・ドアの汚れ等を水拭きでしっかりと拭き取ります。
- ・エスカッション単体でシリンダーに挟み込み、仮止めします。
- ・仮止めしたエスカッションの位置にマスキングテープ等で目印をします。

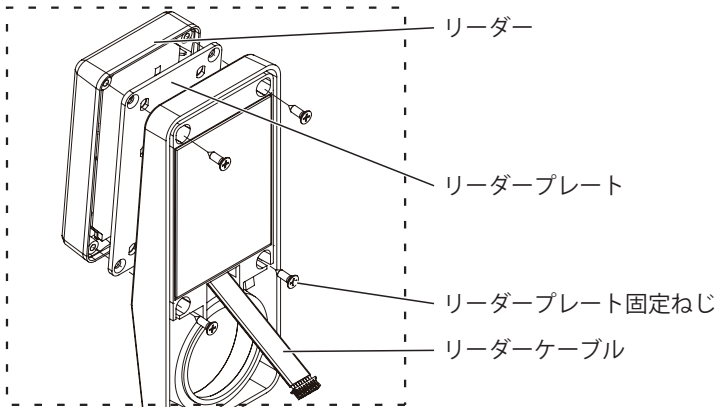


アウトボディの取り付け(GOAL-LX エスカッション)

3. リーダーの取り付け

- 仮止めしたエスカッションを取り外します。
- リーダーからリーダーラバーを外し、リーダープレート固定ねじを外します。
- リーダーケーブルをエスカッションの穴に通し、リーダープレート固定ねじでリーダーをエスカッションに固定します。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

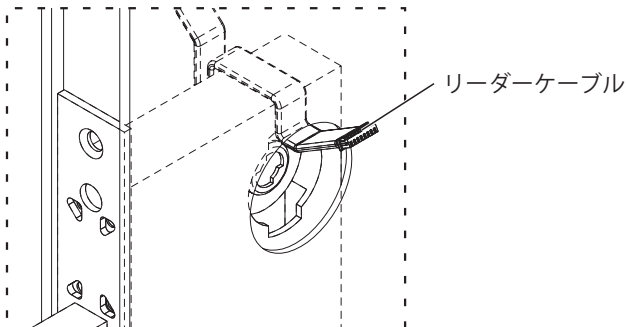


※注意※

- リーダーの上下向きに注意してください。非常用電源端子が下側になります。
- リーダープレートは必ず使用してください。
- リーダーラバーは使用しません。

4. ケーブルの通線

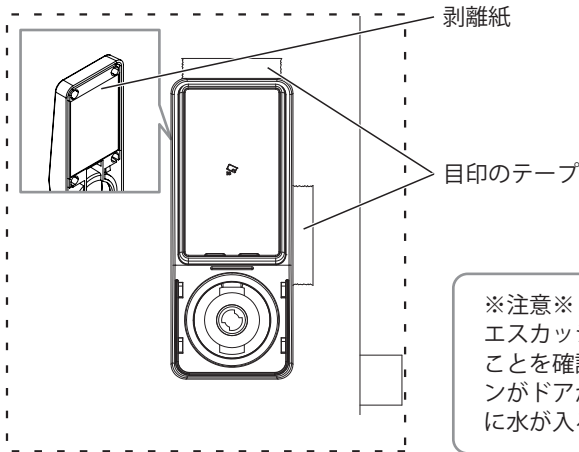
- リーダーケーブルをエスカッションの溝に収め、ドアの切り欠き穴から室内側へ通します。



アウトボディの取り付け(GOAL-LX エスカッション)

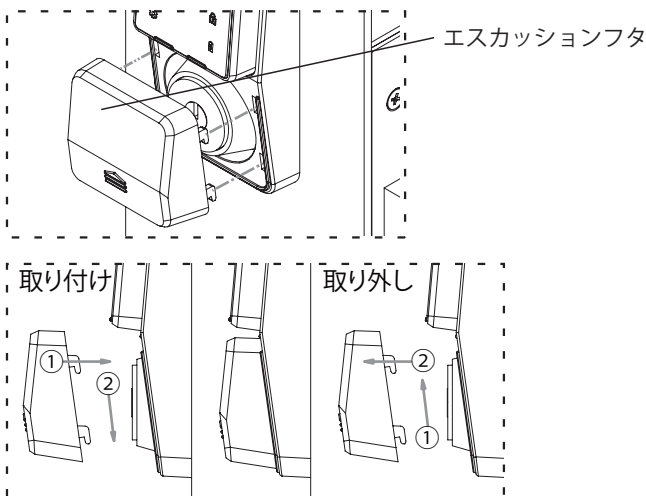
5. ドアへの貼り付け

- 粘着テープ裏の剥離紙を剥がし、目印に合わせてドアにしっかり押し付けて貼り付けます。
- 目印のテープを剥がします。
- シリンダーを取り付けます。シリンダーは室内側からねじ止めます。
「7.8.ボディプレートの取り付け」を参照してください。



6. エスカッションフタ

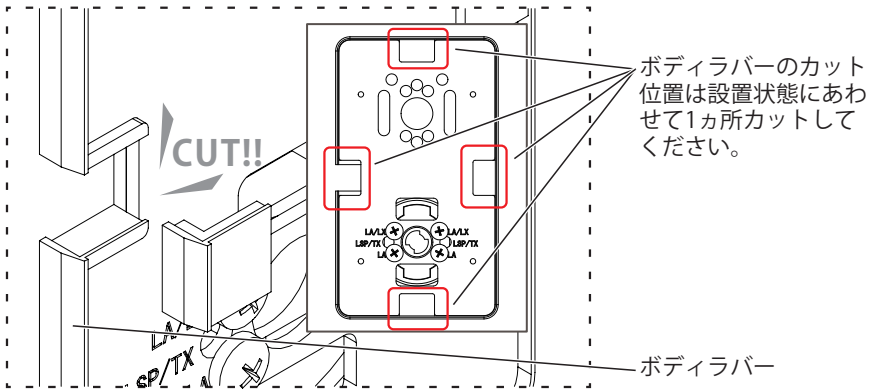
- エスカッションフタをご使用になる場合は、施工後の動作確認が完了してから取り付けてください。
- エスカッションフタの爪をエスカッションの穴に入れ、下にバチンと鳴るまでスライドさせて取り付けます。
- 取り外すときは、エスカッションフタを上へスライドさせて外してください。



アウトボディの取り付け(GOAL-LX エスカッション)

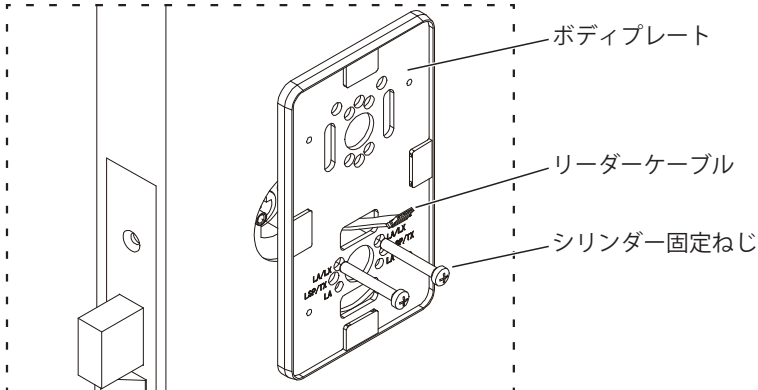
7. ボディプレートの取り付け

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



8. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通します。
- ・シリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ2本
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ2本



※注意※

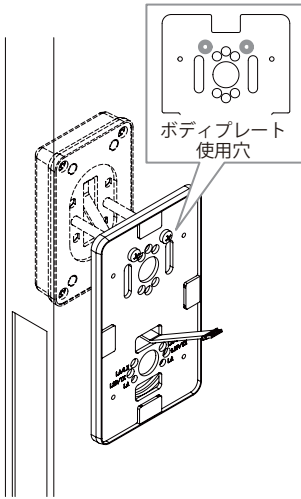
ボディプレートを強く締め付けすぎると歪みや、変形、作動不良の原因となります。また、上部の粘着テープが剥がれやすくなる場合があります。

アウトボディの取り付け (GOAL-LX エマージェンシー)

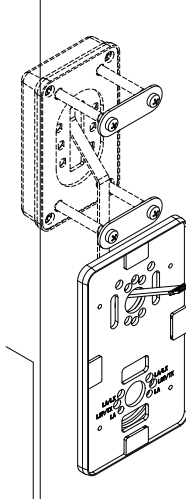
1. 取り付けタイプの選定

- ・エマージェンシータイプは、タイプA、タイプB独立型、タイプB半独立型の3種類の取り付けができます。取り付けタイプによってアウトボディの設置位置が変わります。ドアに開ける穴の位置が異なりますのでご注意ください。
- ・現場の取り付けタイプに合わせた工事説明書を参照ください。

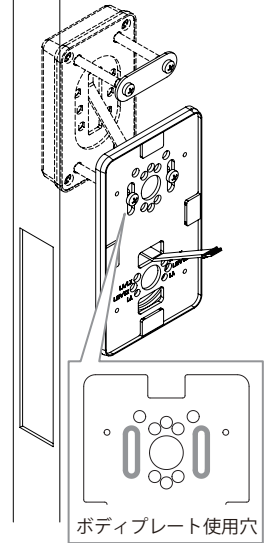
タイプA



タイプB独立型

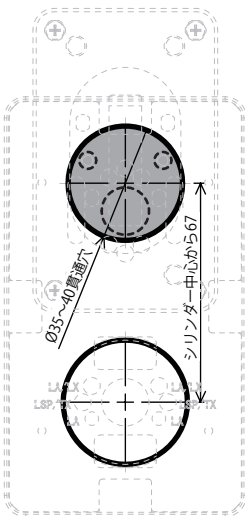


タイプB半独立型

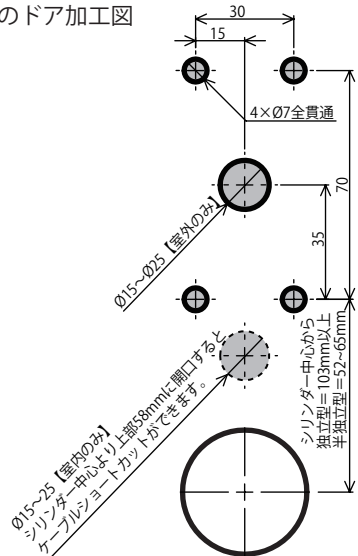


GOAL-LX
エマージェンシー

タイプAのドア加工図



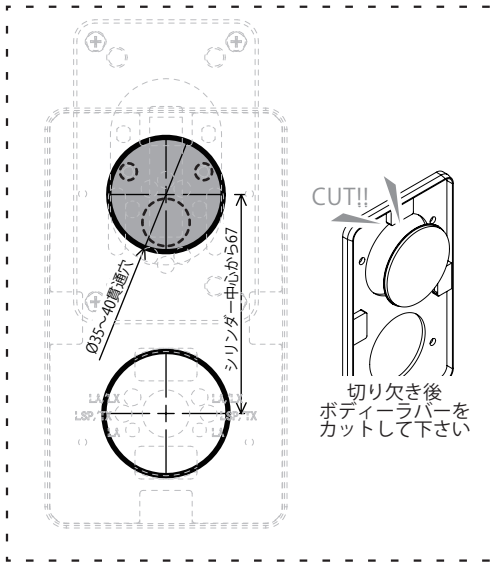
タイプBのドア加工図



アウトボディの取り付け (GOAL-LX エマージェンシーA)

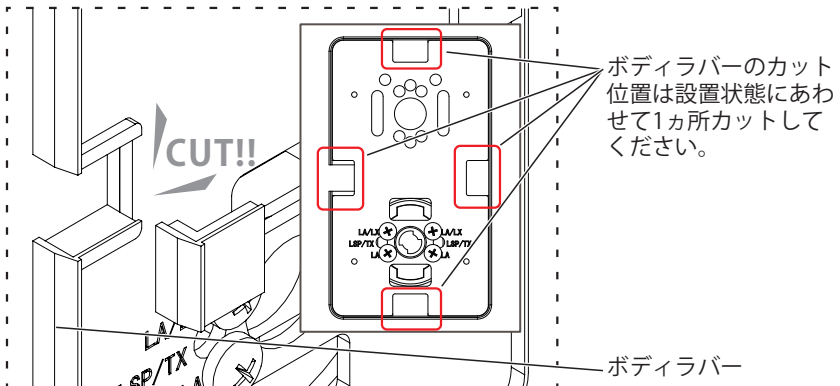
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



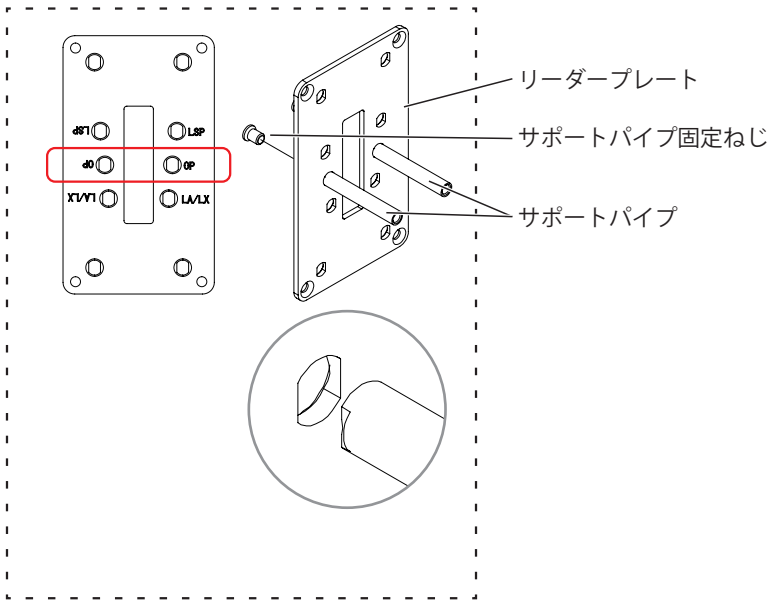
アウトボディの取り付け (GOAL-LX エマージェンシーA)

3. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートのOP刻印がある位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 2本

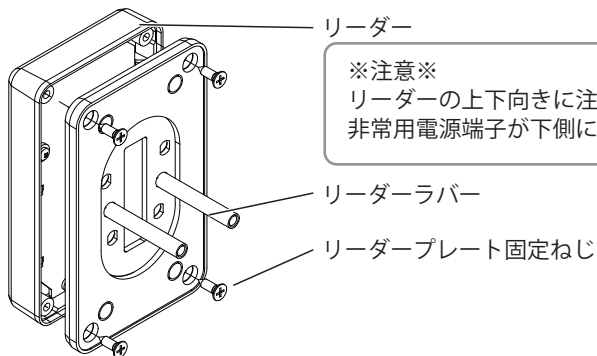


4. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。

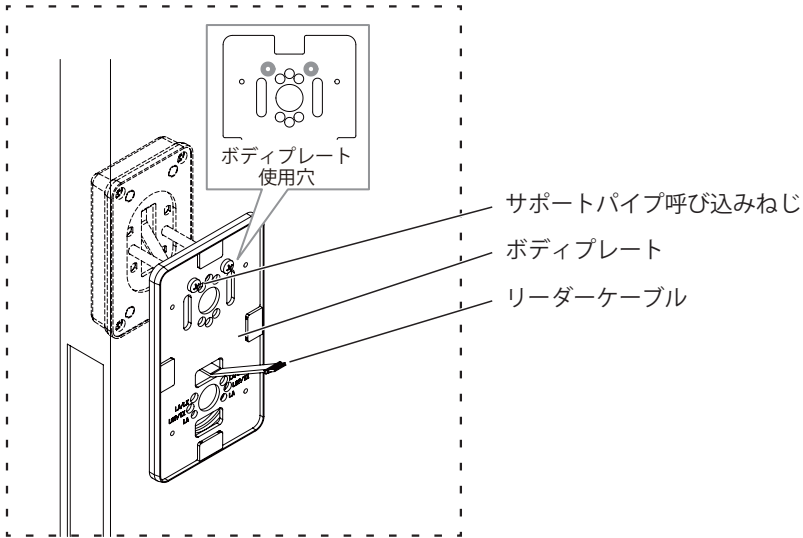


アウトボディの取り付け (GOAL-LX エマージェンシーA)

5. リーダーの固定

- ・切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、ボディプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ

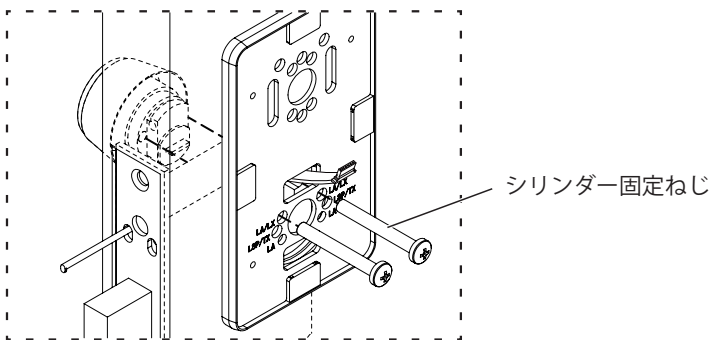


6. ボディプレートの固定

- ・既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

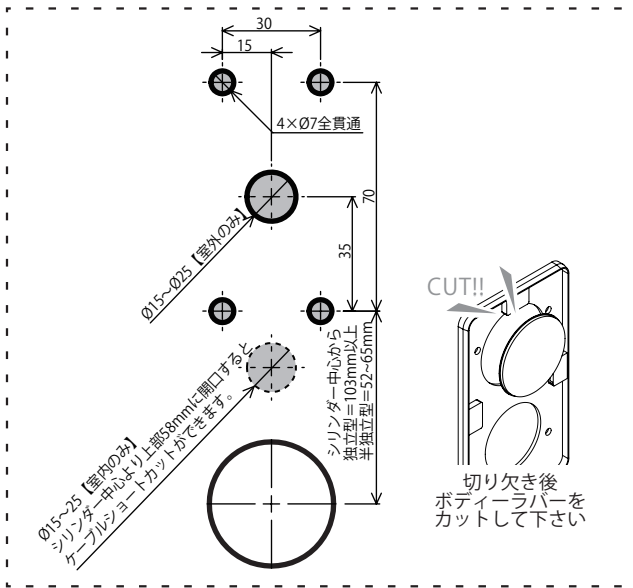
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



アウトボディの取り付け (GOAL-LX エマージェンシーB独立型)

1. 切り欠き加工

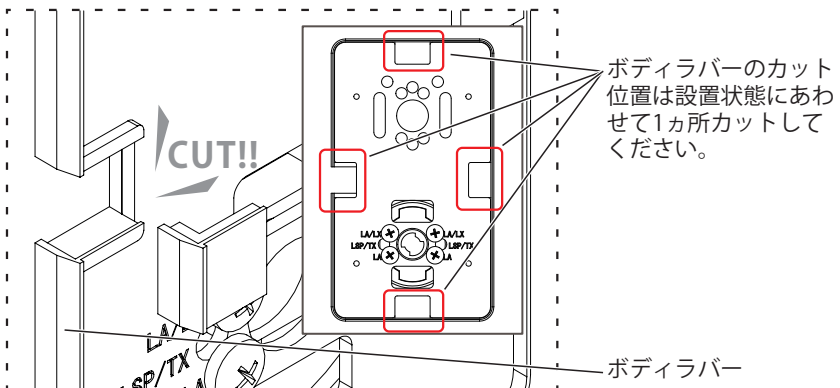
- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



GOAL-LX
B 独立型

2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



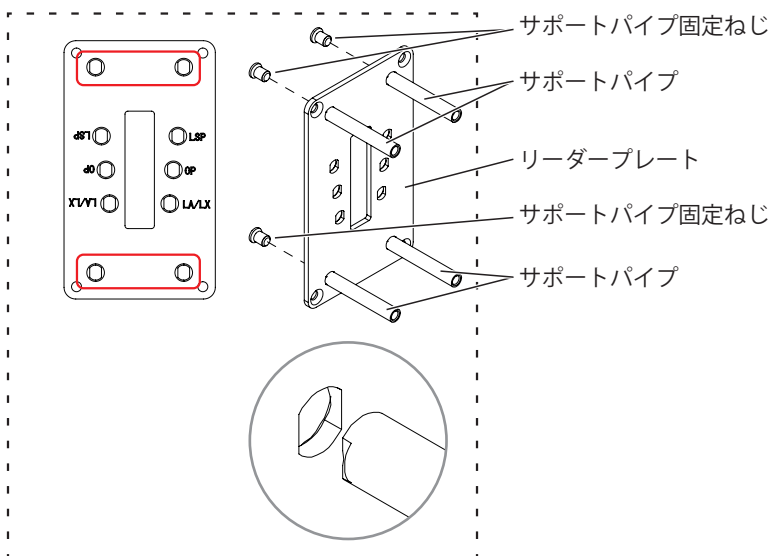
アウトボディの取り付け(GOAL-LX エマージェンシーB独立型)

3. サポートパイプの取り付け

- ・リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

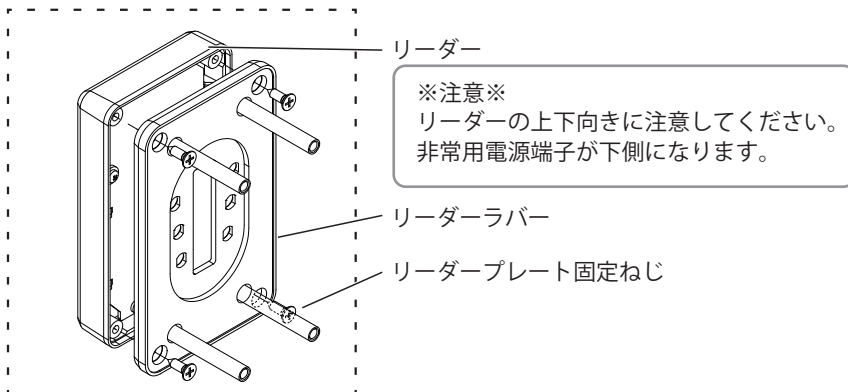


4. リーダープレートの取り付け

- ・リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- ・リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

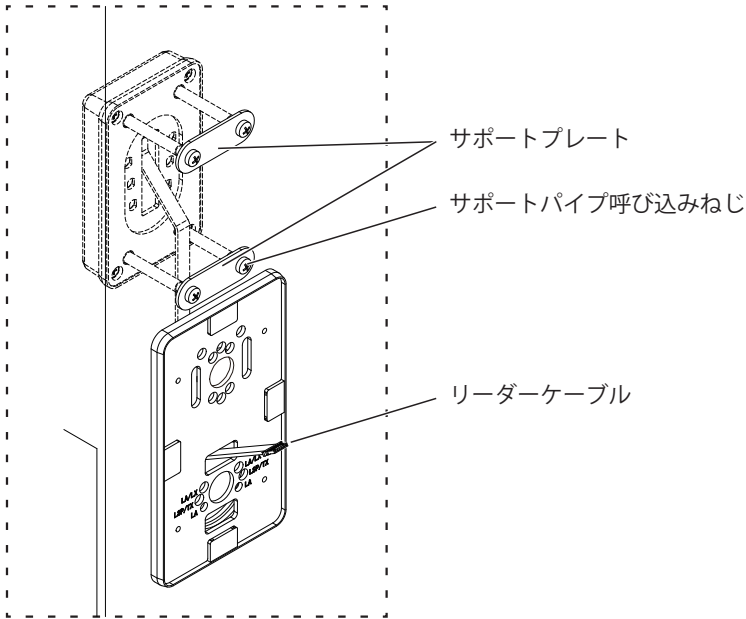


アウトボディの取り付け(GOAL-LX エマージェンシーB独立型)

5. リーダーの固定

- 切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ



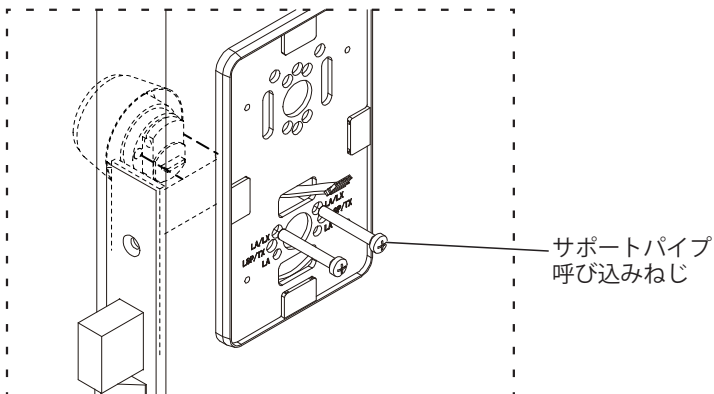
GOAL-LX
B独立型

6. ボディプレートの固定

- 既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

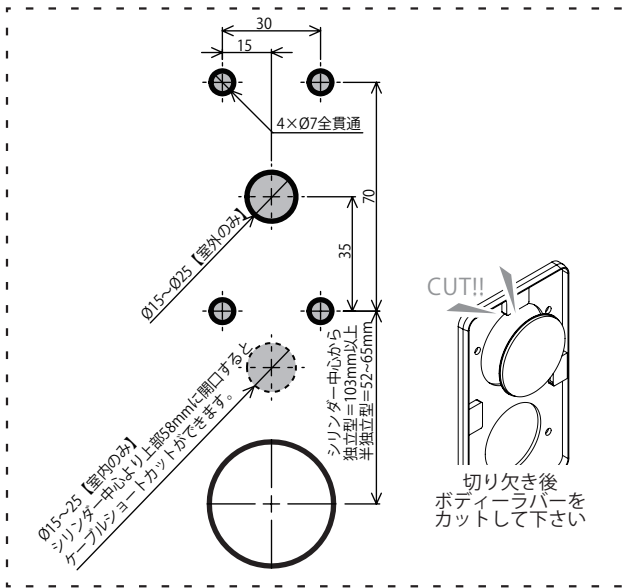
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



アウトボディの取り付け (GOAL-LX エマージェンシーB半独立型)

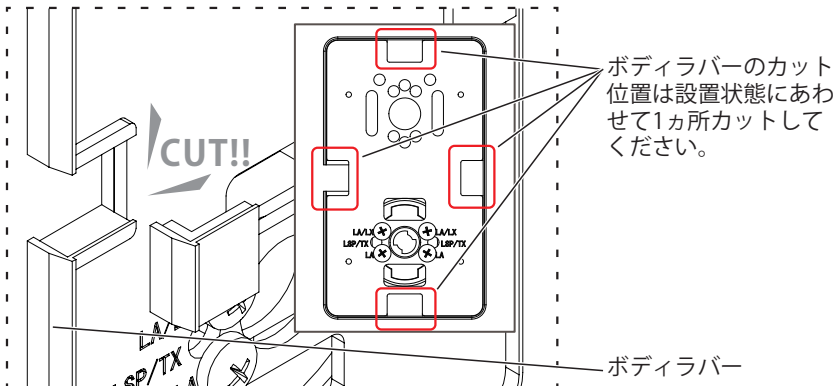
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



GOAL-LX
B 半独立型

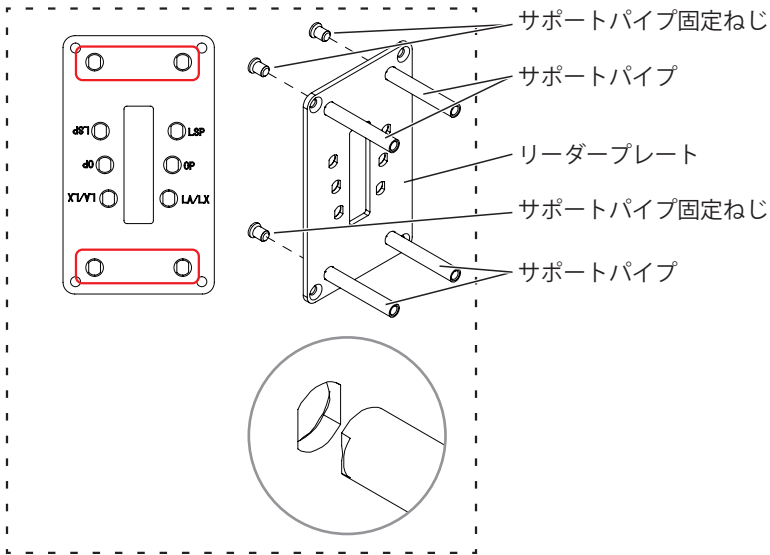
アウトボディの取り付け(GOAL-LX エマージェンシーB半独立型)

3. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

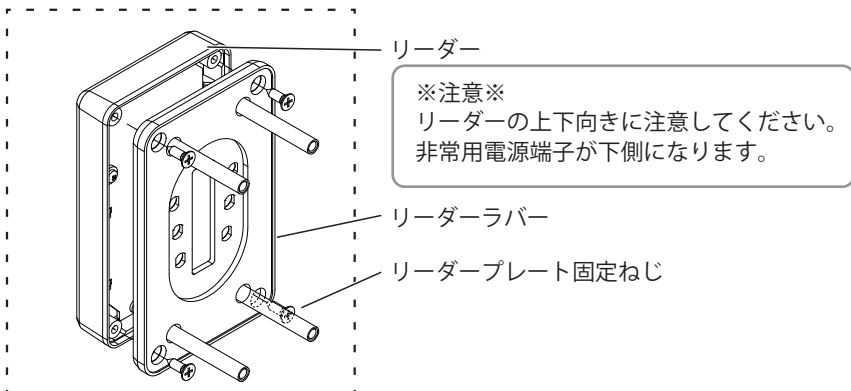


4. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

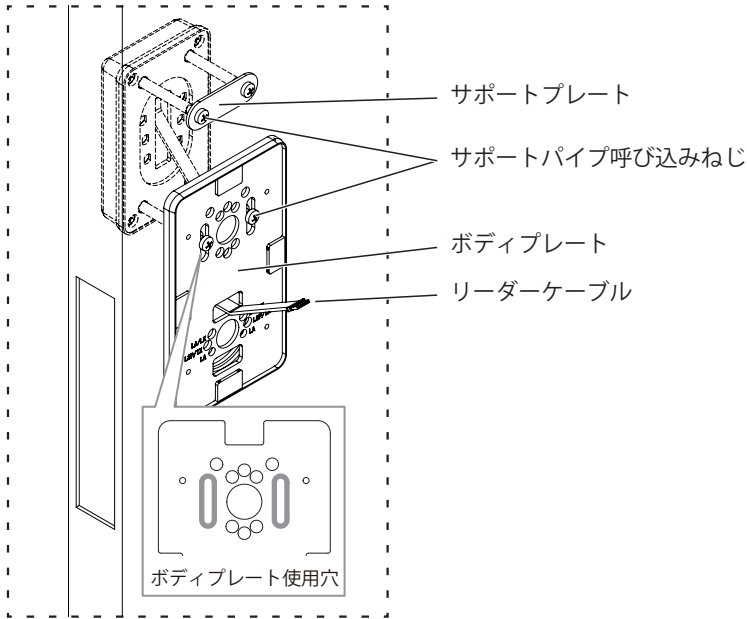


アウトボディの取り付け(GOAL-LX エマージェンシーB半独立型)

5. リーダーの固定

- 切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレート、ボディプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ

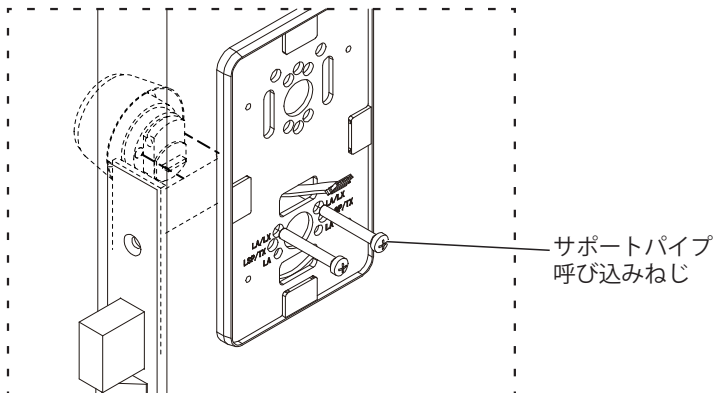


6. ボディプレートの固定

- 既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

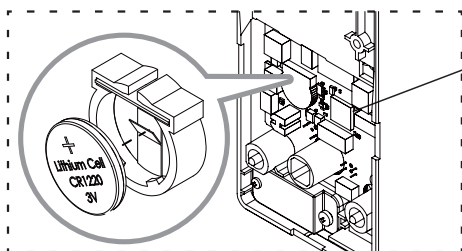
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



インボディの取り付け

1. ボタン電池の取り付け

- ・ボディ基板にCR1220タイプのボタン電池を取り付けてください。未使用時は電池交換時に内部時計がリセットされますので、電池交換直後に時刻設定を行わないと、時間を使った機能が正しく作動しません。
- ※向きに注意して取り付けてください。

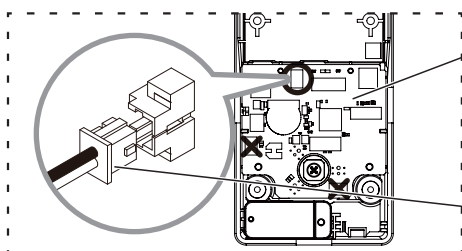


ボディ基板

※注意※
電子部品に触らないようにしてください。

2. マグネットセンサーの取り付け

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、マグネットセンサーのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。
- ※向きに注意して奥まで差してください。



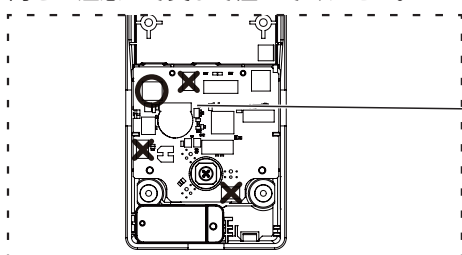
ボディ基板

※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

マグネットセンサーコネクタ

3. ACアダプターの取り付け

- ・ACアダプターを使用する場合は、ACアダプターのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。
- ※向きに注意して奥まで差してください。



ボディ基板コネクタ

※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

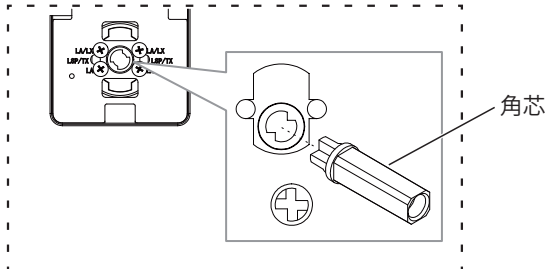
※ACアダプターを使用する場合の注意事項※

- 必ず電池を取り付けてください。ACアダプターのみで運用すると停電時に遠隔操作ができなくなります。
- 定期的に電池を交換してください。長期間入れたままにしておくと液漏れする恐れがあります。

インボディの取り付け

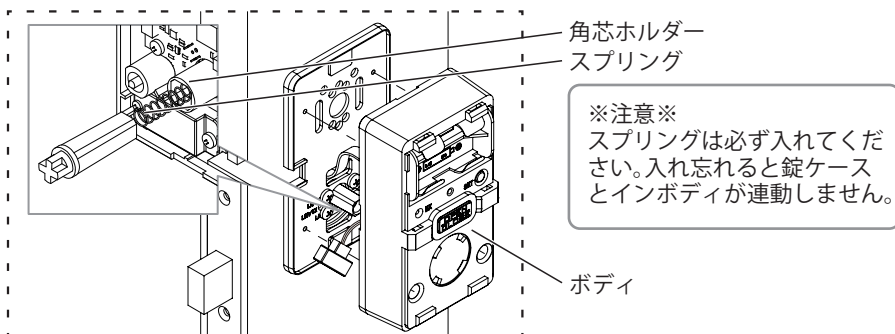
4. 角芯の選定

- 角芯は長さ違いで2種類付属しています。ドア厚に合わせて選定してください。
ドア厚30～42mm・・・角芯S(全長35mm)
ドア厚40～50mm・・・角芯L(全長40mm)
- 錠とボディを連結させる角芯を錠ケースのカム部に差し込みます。
※角芯をドア内部に落下させないようにご注意ください。



5. ボディの仮付け

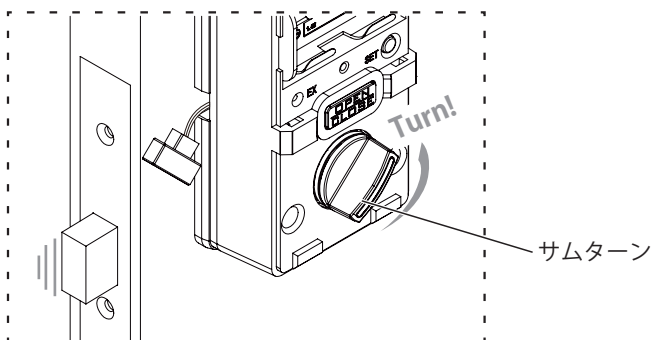
- 角芯ホルダー内にスプリングを入れ、角芯を収納しボディをボディプレートに密着させます。
※ケーブルを挟み込まないように注意してください。



インボディアの取り付け

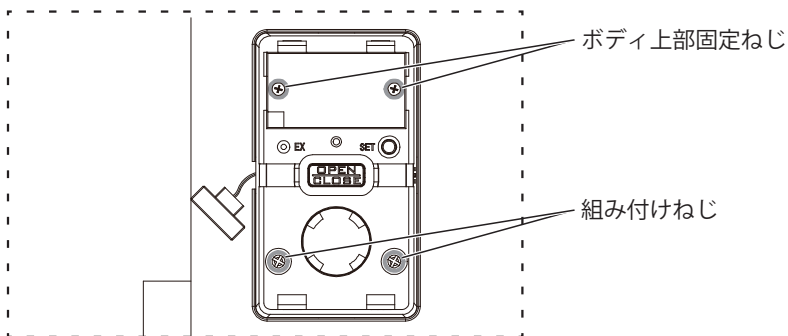
6. サムターン連結確認

- ボディを仮付けした状態でサムターンを付け作動を確認します。サムターンが90°往復で駆動することを確認してください。
- サムターンが動かない場合、一度ボディを外し、ボディのサムターンを90°空回して再度作動を確認してください。



7. ボディの取り付け

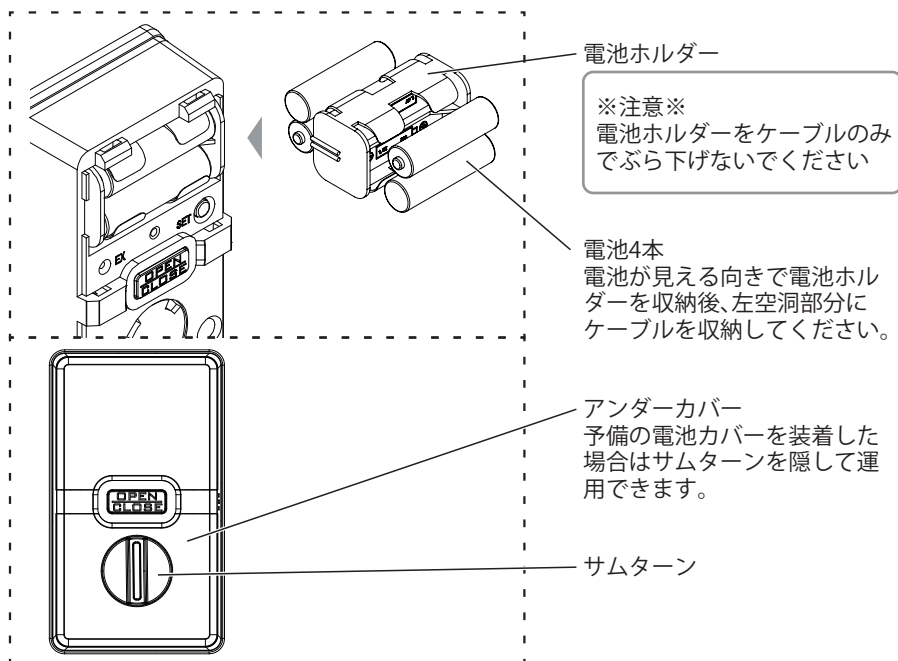
- アンダーカバー内の組み付けねじ2カ所を固定します。
 - 電池ホルダーを取り出し、電池ボックス内の2カ所をボディ上部固定ねじで固定します。
- 【本体部品】ボディ上部固定ねじ M3×8皿ねじ小頭



インボディの取り付け

8. 電池の取り付け

- 電池ホルダーに電池を挿入し電池ボックスに収納し電池カバーを取り付けます。電池ホルダーの収納向きが違う場合、電池カバーが閉まらないのでご注意ください。電池ホルダーの赤いリボンは電池の下に入れてください。電池を取り外すときに使います。リボンを引っ張った状態で電池を挿入すると電池が浮き上がることがあり、電池カバーが閉まらない場合があります。
- アンダーカバーを取り付けサムターンを装着します。

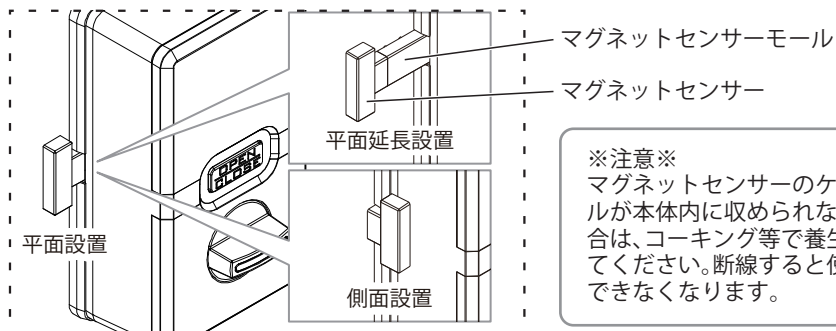


※電池を取り付ける際はインボディのボタンを押さないようにご注意ください。ボタンを押しながら電池を入れるとデバイスの設定が変わります。

インボディの取り付け

9. マグネットセンサーの取り付け

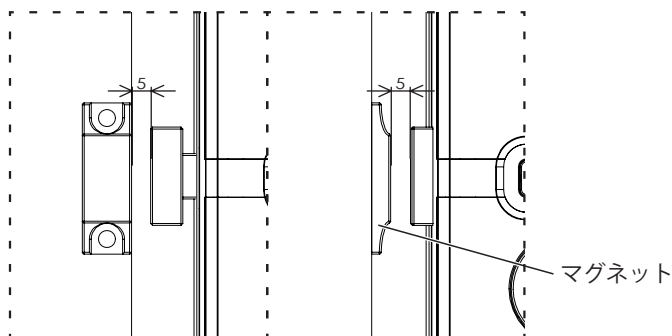
- ・戸当りの環境によりボディ側面設置かドア平面設置を選択してください。
- ・ドア平面設置の場合は戸当りまでの距離によりマグネットセンサーモジュールを必要な長さにカットして位置決めしてください。
- ・余分なマグネットセンサーのケーブルは隙間より本体内に収めてください。
- ・マグネットセンサー裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットセンサーを貼り付けてください。



※注意※
マグネットセンサーのケーブルが本体内に収められない場合は、コーキング等で養生してください。断線すると使用できなくなります。

10. マグネットの取り付け

- ・マグネットを取り付ける前に、取り付け位置でマグネットセンサーが正しく検知することを確認してください。一度ドアを開いて、ドアを閉じるときに「ブツ」と音が鳴ればマグネットセンサーが検知しています。
- ・マグネット裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットを取り付けてください。マグネットはマグネットセンサーにできるだけ近づけて取り付けてください。(5mm以内)



11. アウトボディの保護フィルムを剥がす

- ・設置が終わったらアウトボディの保護フィルムを「2枚」剥がしてください。

※注意※
保護フィルムを付けたまま使用すると、フィルムが変質して剥がせなくなる場合があります。

デバイスの設定

1.コントローラーへの登録

スマートロックをスマートフォンアプリから操作するには、Z-Wave対応コントローラーに登録する必要があります。

- ・スマートフォンアプリをインストールしてください。
- ・アプリの案内に従ってコントローラーに登録してください。

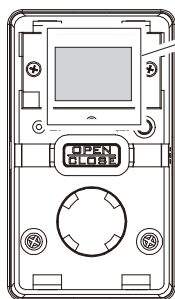
●スマートスタート対応のコントローラーの場合

製品に表示されているQRコードをスマートフォンアプリで読み取ると自動で登録します。スマートフォンアプリの案内に従って操作してください。

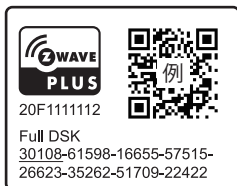
QRコードは電池ボックス内部と梱包箱に表示されています。どちらかのQRコードを読み取ってください。

QRコードを読み取ったあとは、本体を起動したまましばらくお待ちください。

スマートフォンアプリで登録が完了したことを確認してください。



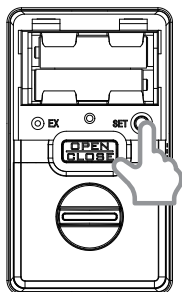
QRコード表示場所



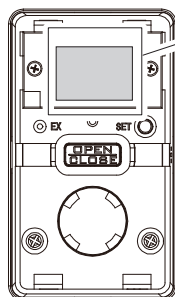
●スマートスタート非対応のコントローラーの場合

コントローラーをデバイス登録モード(AddまたはInclusionモード)にしてください。操作方法はコントローラーまたはスマートフォンアプリの取扱説明書をお読みください。

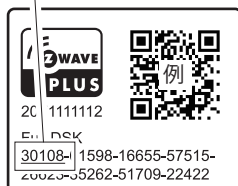
- ①インボディのSETボタンを約5秒長押しするとピピッと鳴り、登録動作を開始します。



- ②PINコードの入力を求められた場合は、QRコードの下に記載されている数字の最初の5桁を入力してください。操作アプリで登録が完了したことを確認してください。



PINコード表示場所
下線のある5桁です。



※上図はサンプル例です。

デバイスの設定

2. デバイスの設定

- ・アプリの案内にしたがって、デバイスの設定を行ってください。
- ・使用するアプリによって設定できる項目が異なる場合があります。
- ※設定項目はデバイスのバージョンアップにともない追加・削除・変更される場合があります。

【扉勝手】※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右勝手(初期値)・・・室外側に立ち、丁番が右の場合

左勝手・・・室外側に立ち、丁番が左の場合

【音量】

ミュート / 小 / 中(初期値) / 大 ※ミュートでも警告音は鳴動します。

【施錠モード】

モードの種類	マグネットセンサー有り	マグネットセンサー無し
自動施錠-S(初期値)	ドアが閉まってから3秒後	解錠から15秒後
自動施錠-L	ドアが閉まってから6秒後	解錠から30秒後
手動	手動(テンキー長押しで施錠できます)	
施解錠繰返し	手動(テンキー長押しでは施錠できません。室外側で施錠する場合はICカードかPINコードで操作してください。)	

【サムターン操作後連続解錠】

オン(初期値)・・・連続解錠(自動施錠-Sまたは-Lのときでも自動施錠しません)

オフ・・・自動施錠(施錠モードが自動施錠-Sまたは-Lのとき)

【O/Cボタン】

有効(初期値)・・・O/Cボタンが使用できます

無効・・・O/Cボタンは使用できません

【メイン/サブ切替】

ダブルロックで使用される場合、主錠でない方を【サブ】に設定してください。両方ともメインまたは両方ともサブでは正常に動作しません。

扉勝手はメインとサブで同じ設定にしてください。設定が異なると、メインとサブで施解錠動作が反転します。

メイン(初期値)・・・主錠

サブ・・・補助錠

サブに設定した場合、下記設定は自動で変更されます。

施錠モード:手動

マグネットセンサー:無し

【マグネットセンサー】

有り(初期値)・・・ドアの開閉を検知します

無し・・・ドアの開閉を検知しません

【モーター出力】

普通(初期値)・・・通常のトルクで駆動

強力・・・強力なトルクで駆動

【ランダムテンキー桁数】

テンキーを起動する前に表示されるランダムテンキーの桁数を設定します。

なし / 2桁(初期値) / 4桁 / 6桁

【通信待機設定】

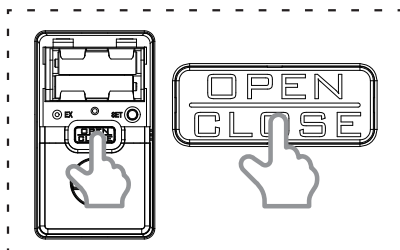
ON(初期値)・・・Bluetooth通信機能がON

OFF・・・Bluetooth通信機能がOFF

デバイスの設定

3. インボディでの設定変更

- ・インボディのボタンを押した状態で電源を入れることで設定を変えることができます。スマートフォンアプリがない場合でも下記項目の設定が可能です。



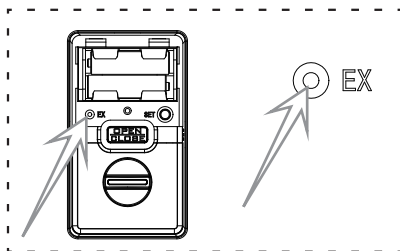
【扉勝手】O/Cボタン

※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右設定 (初期値)・・・室外側に立ち、
丁番が右の場合

↓ ↑
左設定

・・・室外側に立ち、
丁番が左の場合



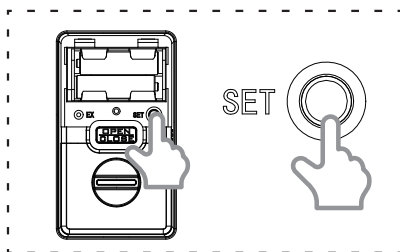
【音量】EXボタン (細長いもので押しください)

中音量 (初期値) ←

↓
大音量

↓
ミュート

↓
小音量



【マグネットセンサー】SETボタン

あり (初期値)・・・ドアの開閉を検知する

↓ ↑
なし

・・・ドアの開閉を検知しない

上記手順を行い設定が変更されると「設定を終了します」とアナウンスが流れます。各種希望の設定になるまで繰り返し行い、最終的に動作を確認してください。

2つの設定を同時に変更することはできません。

デバイスの設定

4. 通信待機設定

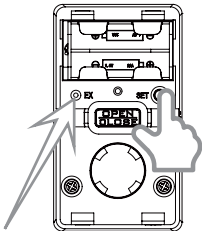
本体内蔵のBluetooth通信機能のON/OFFを切り替えます。
Bluetoothアプリを使用しない場合にOFFにすることで電池の持ちが良くなります。

①通信待機設定

電池カバー内のEXボタンとSETボタンを同時に3秒間押します。

ON ⇒ OFF または OFF ⇒ ON へ現在の状態を変更します。

※EXボタンは細長い物で押してください。



スマートロック

LOCK Pro

ZSL10

工事説明書
GOAL-TX 用

株式会社アクセルラボ



目次

正しく工事していただくために	1
商品構成	2
取り付け前に確認していただくこと	3
GOAL-TXへの取り付け	6
標準	7
エマージェンシーA	10
エマージェンシーB独立型	14
エマージェンシーB半独立型	17
インボディの取り付け	20
デバイスの設定	25



正しく工事していただくために

取り付けの際、お守りいただく内容です。

この「工事説明書」では、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、この「工事説明書」をお読みいただくようお願い申し上げます。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

- ⊘ 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締め過ぎやネジ穴がつぶれるなどの破損の原因となります。
- ⊘ 高温になる場所(火や暖房器具のそば、直射日光の当たる場所)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ⊘ 水などの液体をかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊘ 金属・紙・その他異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊘ 電源を入れたまま工事をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊘ 医用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により医用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- ⊘ 分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・傷害の原因となります。また、改造した製品を使用した場合、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。
- ❗ 液漏れして皮膚や衣服に附着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に附着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

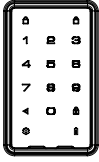
⚠ 注意

- ⊘ 風呂場などの湿気の多い場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ⊘ アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤をかけないでください。印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。
- ⊘ 強い衝撃や振動が加わる場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。
- ⊘ 強力な電氣的ノイズおよび電磁波のある場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。

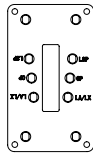
商品構成

取り付け作業前に欠品がないことを必ずご確認ください。

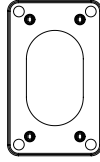
■アウトボディ



リーダー

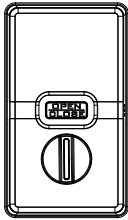


リーダープレート

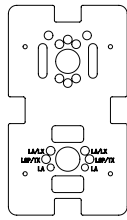


リーダーラバー

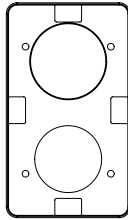
■インボディ



ボディ



ボディプレート

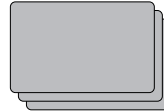


ボディラバー

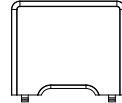
■ICカード



DESFireカード



Ultra Lightカード



電池カバー

【LA部品】パック



リーダーアタッチメント



リーダープラグ

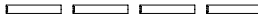
アタッチメントネジ
M6×14 皿ネジ 1本

ボディアダプター

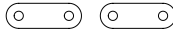
アダプタライナーセット(黒色)
(1mm/2mm/3mm/4&8mm)プラグ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 2本アダプター固定ネジ
M4×16 なべネジ 4本

組み付けられています

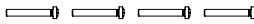
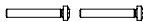
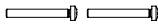
【LSP/LX他部品】パック



サポートパイプ 4本



サポートプレート 2枚

サポートパイプ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 4本サポートパイプ呼び込みネジ
M4×28 なべネジ 4本シリンダー固定ネジ-S
M5×40 なべネジ 2本シリンダー固定ネジ-L
M5×45 なべネジ 2本

【本体部品】パック



マグネットセンサー



マグネット



マグネットセンサーモジュール



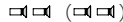
角芯-S



角芯-L



スプリング(予備1)

リーダープレート固定ネジ
ST2.9×8 皿タッピングネジ 4本ボディ上部固定ネジ(予備2)(黒色)
M3×8 皿ネジ小頭 4本マグネット固定ドリリングネジ
ST4.2×16 なべドリリングネジ 2本

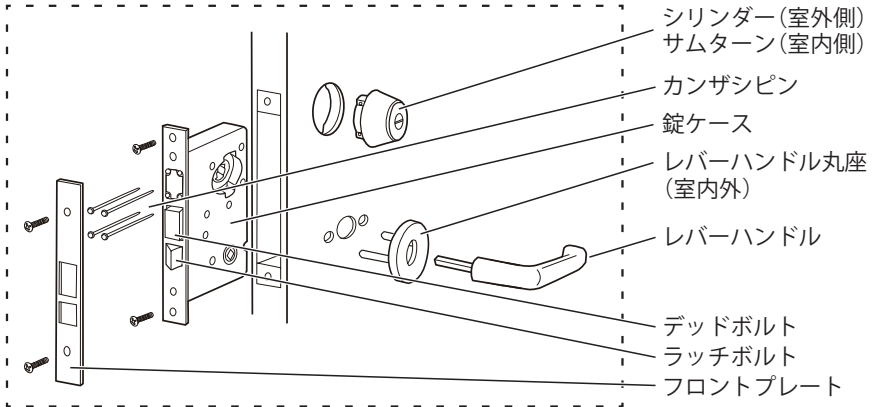
取り付け前に確認していただくこと

1. 既設錠前の作動確認

錠ケースやレバーハンドル(シリンダー)の作動が良好か、良く確認したうえで取り付け作業に入ってください。

- ・ドアを閉めた状態でラッチボルトがしっかり掛かり、デッドボルトが受けと干渉せずなめらかに動くか。
- ・ドアの開閉でドアと枠が当たらないか。
- ・ドアクローザーの力でラッチボルトが掛かるまでドアが閉まるか。
- ・サムターンが90度回転し、作動終わりにバネの力が働いてクリック感があるか。
- ・摩耗、ガタツキ、変形、サビ、腐食などはないか。

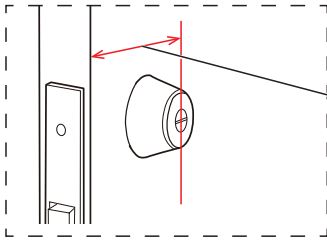
※上記他、問題点がある場合は製品が正常に作動しない場合があります。
メンテナンスや交換等は、専門業者に依頼をしてください。



取り付け前に確認していただくこと

2. バックセット

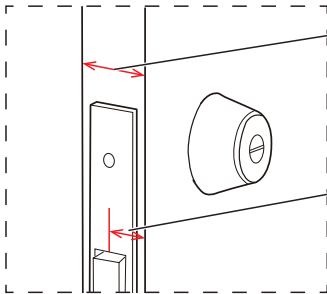
- 設置場所のバックセットを確認してください。
対応バックセット: 51mm または 64mm 以上



バックセット
(フロント面からシリンダー中心までの長さ)

3. ドア厚の確認

- 設置場所のドア厚を確認してください。
戸先側に煙返しなどがある場合は吊元側で採寸してください。
- デッドボルトのセンターがドアのセンターにあるか確認してください。
デッドボルトが室内側または室外側に寄っている場合があります。
その場合は使用する部品の組み合わせが変わることがあります。



ドア厚
対応ドア厚: 30~50mm

デッドボルトセンターの位置

デッドボルトとドアのセンターが異なる場合の例

- 錠ケース: MIWA-LAタイプ
- ドア厚: 40mm
- デッドボルトセンター: 室内側から15mm

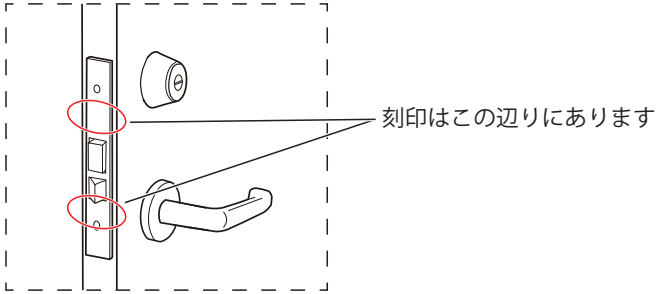


室内側はドア厚30mmとみなし、リーダープラグは
ドア厚30mm~42mmの向きで使用する。
室外側はドア厚50mmとみなして角芯Lを使用する。

取り付け前に確認していただくこと

4. 錠前の種類

- 錠前メーカーと錠前の種類(型番)を確認してください。
種類によって設置方法が異なります。刻印はドア側面にあります。



MIWA製 : LA・MA / LASP / WLA / 13LA / LAF / LV / LVF / MV / MVF / PPVF / PPF /
DA / DASP / DV / DVF / LDA / FG

U-Shin製 : SLA

Clavis製 : LC・MC / CD

⇒MIWA-LAタイプの工事説明書を参照ください。

MIWA製 : LSP / SWLSP / GAF / LE-xx / TE-xx

LIXIL製 : QDD-xxx / QDJ-xxx / QDK-xxx / QDC-xxx / QDV-xxx / QDN-xxx

三協アルミ製 : FE

⇒MIWA-LSPタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : AS・LX / LG / LGK / PL / PLK / LD / LDK / HD / SX

⇒GOAL-LXタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : TX / TTX / TLX / TXK / SK / GK / GD / GG

⇒GOAL-TXタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL-TXへの取り付け

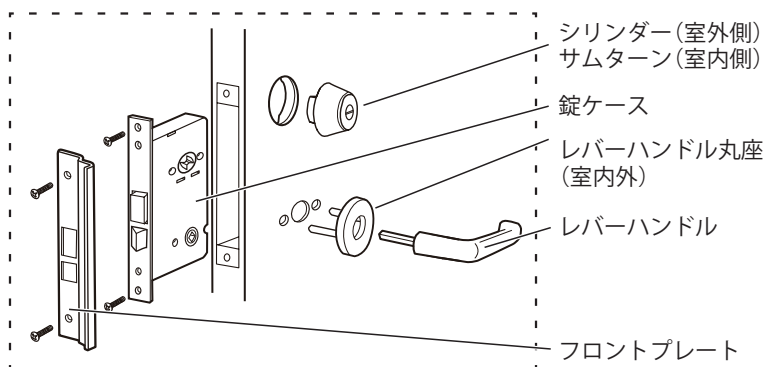
1. 設置タイプの確認

室外側の設置タイプによって施工方法が異なります。該当する設置タイプの工事説明書を参照してください。

シリンダーを使用しない	A. 標準タイプ
シリンダーとアウトボディを併用する	B. エスカッションタイプ(取り付け不可) GOAL-TX型はエスカッションが使用できません。
	C. エマージェンシータイプ ドアに取り付け穴の加工が必要です。
シリンダーを使用する	D. インボディタイプ 既設錠前からサムターンのみを取り外してください。

2. 既設錠前の取り外し

- サムターンのねじを2本外して、サムターンとシリンダーを取り外します。ねじが隠されている場合もあります。
- 室内側レバーハンドル根元のねじを緩め、室内外レバーハンドルを外します。
- 室内側レバーハンドル丸座を外します。(ツメ式・ねじ込み式等あり)
- ドア側面のフロントプレートを外します。
- 丸座内部のねじ2本を外し、室内外の丸座を外します。
- ドア側面のねじ2本を外し、錠ケースを取り外します。



※注意※

作業時はドアストッパーを使用して、ドアが閉まらないようにしてください。

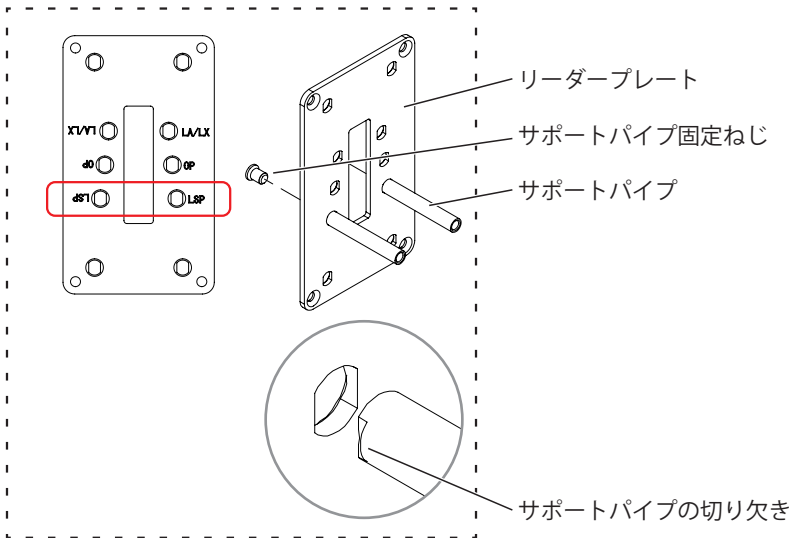
アウトボディの取り付け(GOAL-TX 標準)

1. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートにLSP刻印がある位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

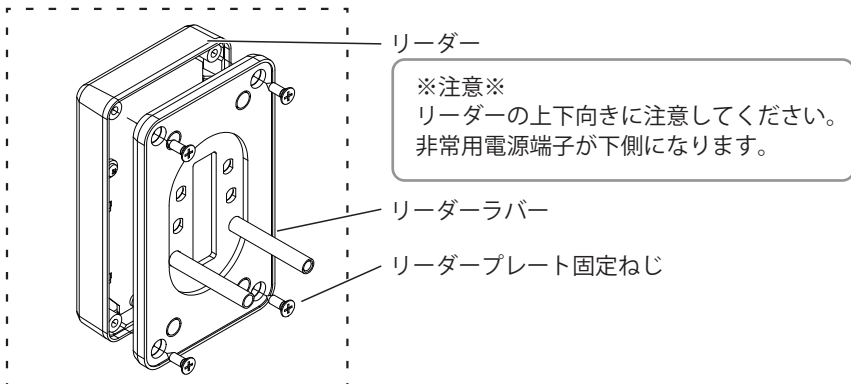
ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 2本



2. リーダープレートの取り付け

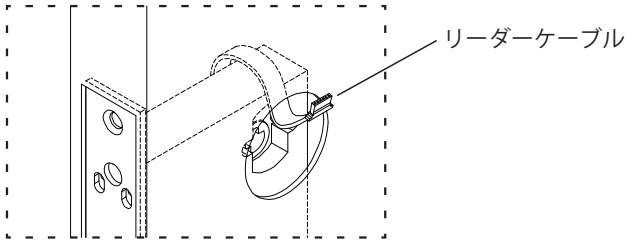
- リーダーにリーダープレートを取り付けます。
リーダープレートの天地を入れ替えることでアウトボディの設置位置を調整できます。
【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本
- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。



アウトボディの取り付け(GOAL-TX 標準)

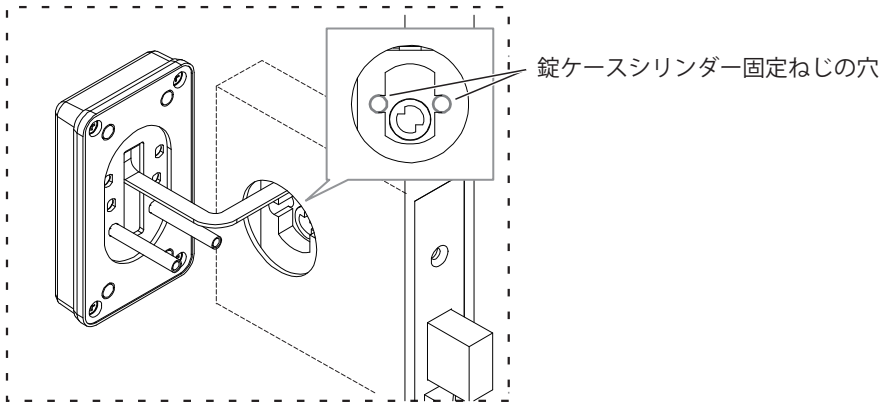
3. ケーブルの通線

- ドアのシリンダー切り欠き穴からリーダーケーブルを通線します。錠ケースの上部にケーブルが通るように調整し、錠ケースを取り付けます。
錠ケースの取り付け方法は『既設錠前の取り外し』を参考にしてください。



4. リーダーの固定

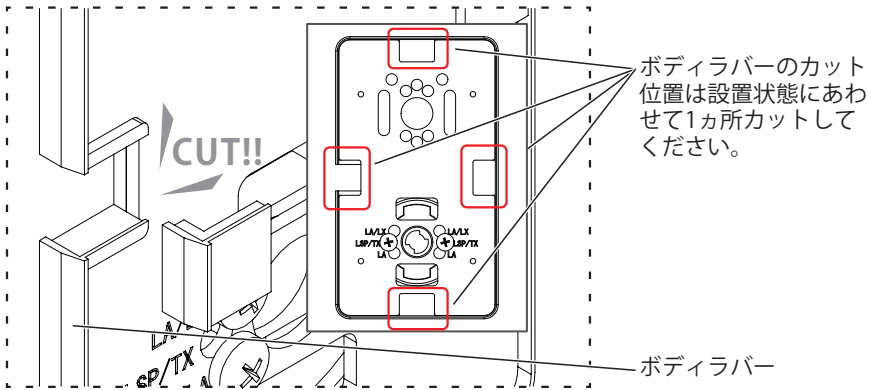
- 錠ケースシリンダー固定ねじが通っていた穴に、リーダーのサポートパイプを通します。



アウトボディの取り付け(GOAL-TX 標準)

5. ボディラバーのカット

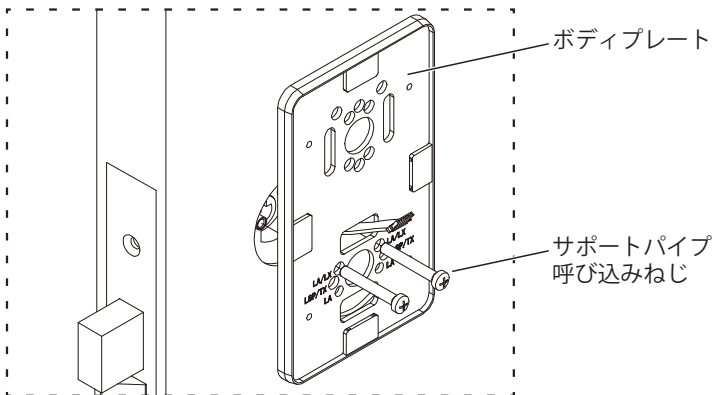
- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



6. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通し、サポートパイプとボディプレートをサポートパイプ呼び込みねじ2本を締め付けます。

【LSP/LX部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ



※注意※

ボディプレートを強く締め付けすぎると歪みや、変形、作動不良の原因となります。

アウトボディの取り付け (GOAL-TX エマージェンシー)

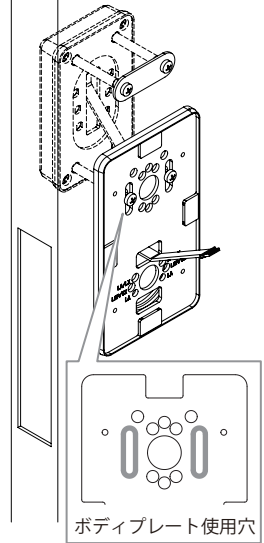
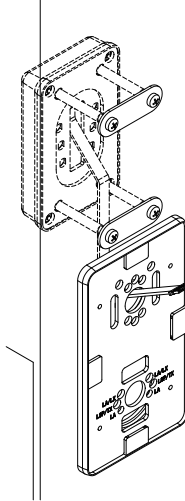
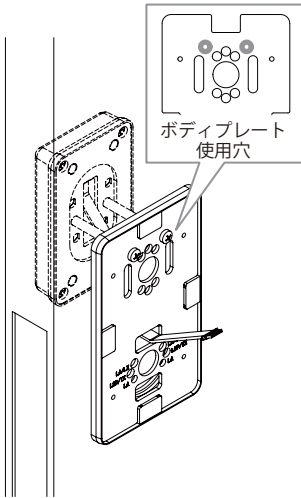
1. 取り付けタイプの選定

- ・エマージェンシータイプは、タイプA、タイプB独立型、タイプB半独立型の3種類の取り付けができます。取り付けタイプによってアウトボディの設置位置が変わります。ドアに開ける穴の位置が異なりますのでご注意ください。
- ・現場の取り付けタイプに合わせた工事説明書を参照ください。

タイプA

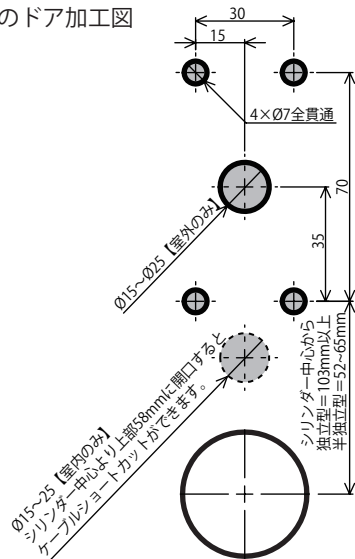
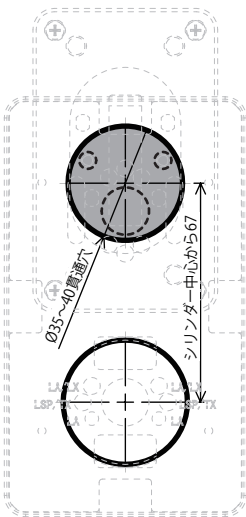
タイプB独立型

タイプB半独立型



タイプAのドア加工図

タイプBのドア加工図

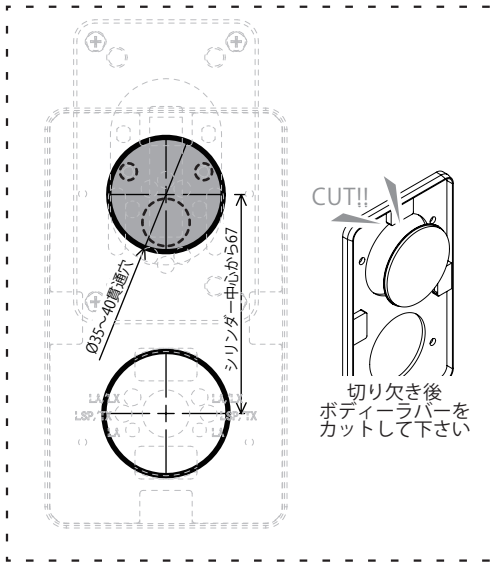


GOAL-TX
エマージェンシー

アウトボディの取り付け (GOAL-TX エマージェンシーA)

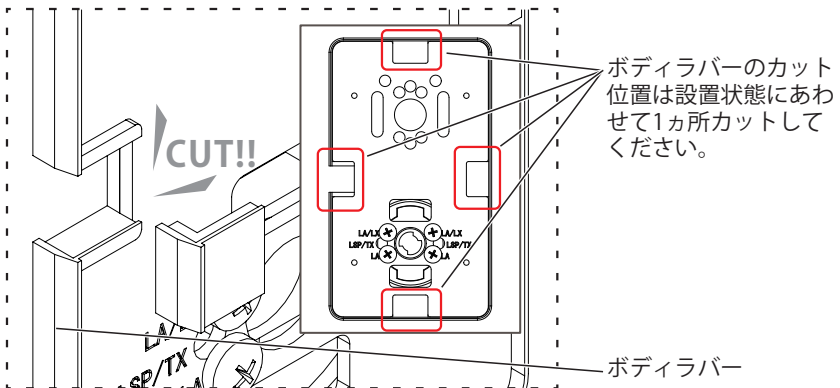
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



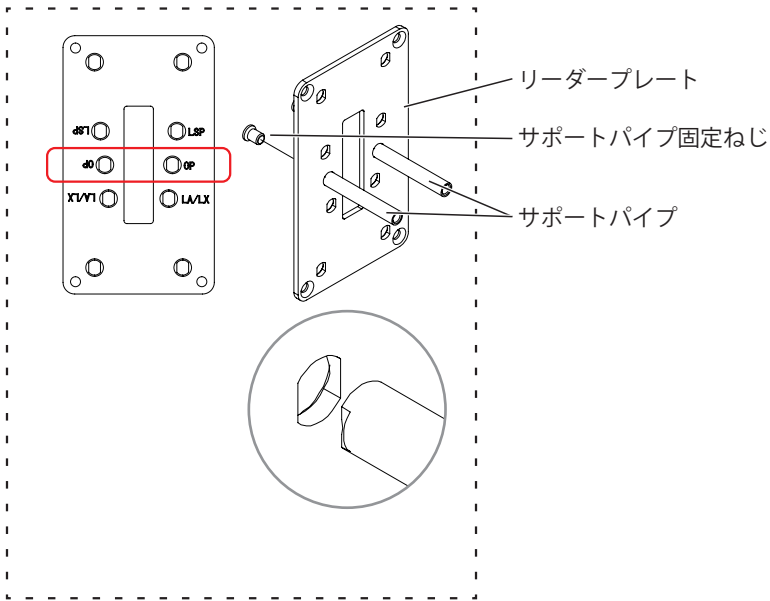
アウトボディの取り付け (GOAL-TX エマージェンシーA)

3. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートにOP刻印がある位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 2本

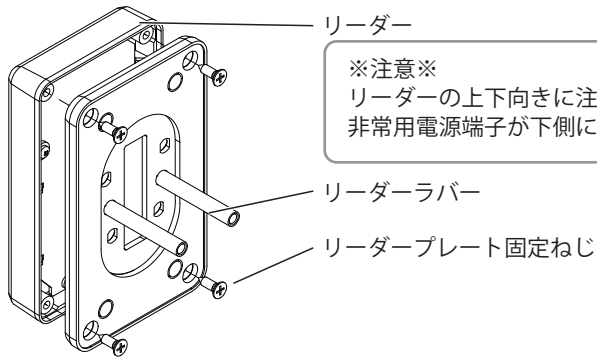


4. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。



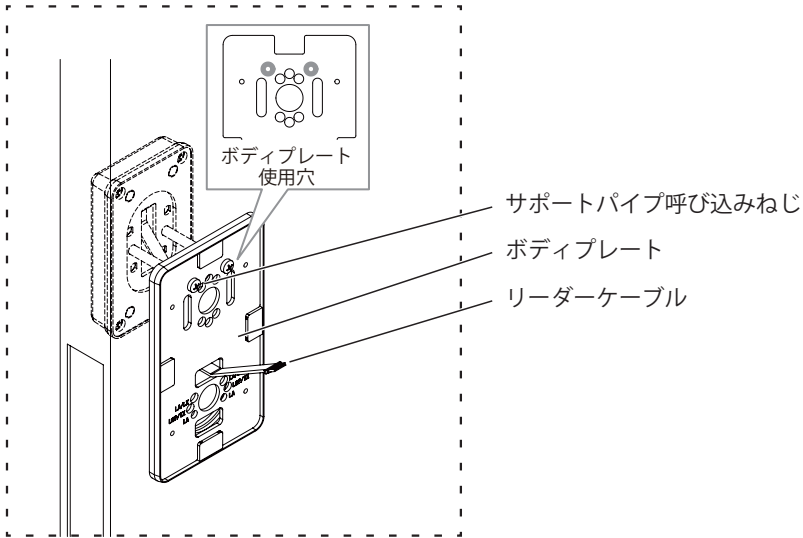
※注意※
リーダーの上下向きに注意してください。
非常用電源端子が下側になります。

アウトボディの取り付け (GOAL-TX エマージェンシーA)

5. リーダーの固定

- ・切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、ボディプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ

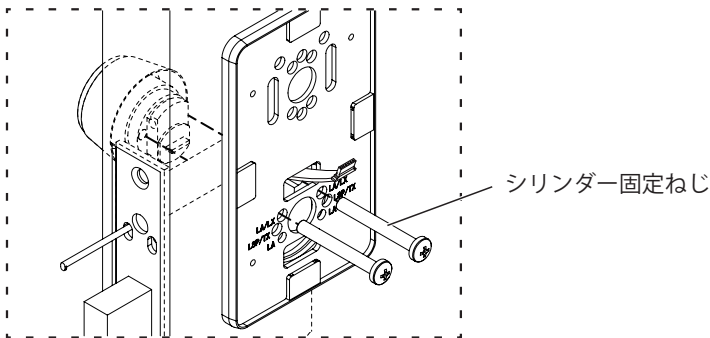


6. ボディプレートの固定

- ・既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

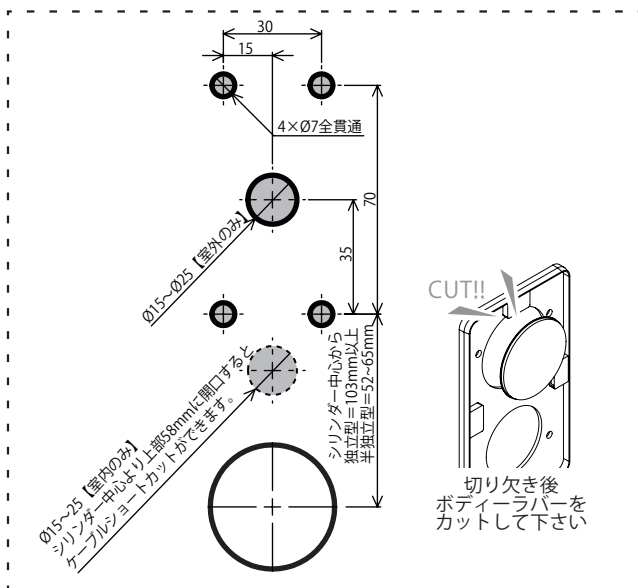
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



GOAL-TXへの取り付け(エマージェンシータイプB独立型)

1. 切り欠き加工

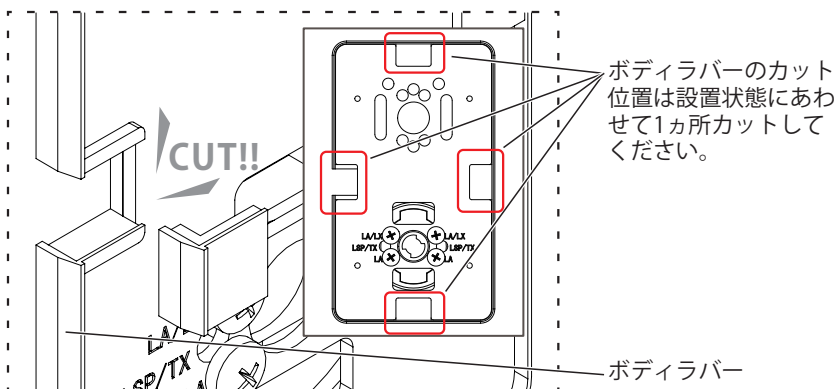
- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



GOAL-TX
B 独立型

2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



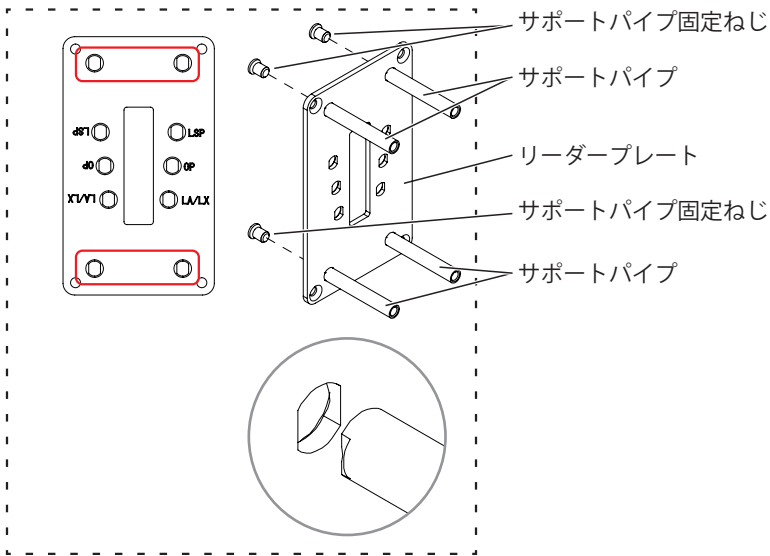
GOAL-TXへの取り付け(エマージェンシータイプB独立型)

3. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

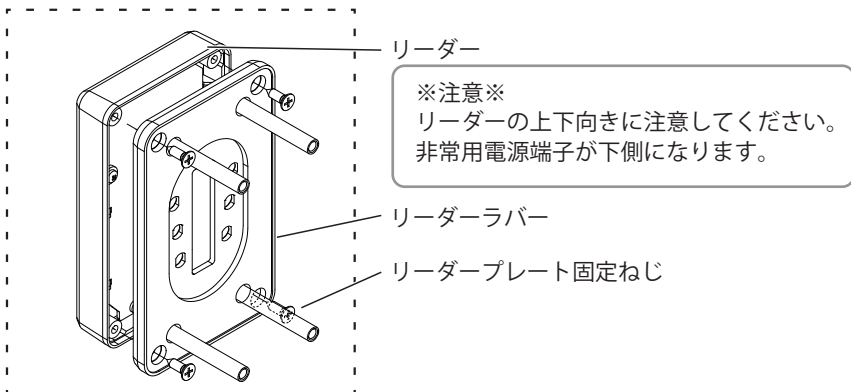


4. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

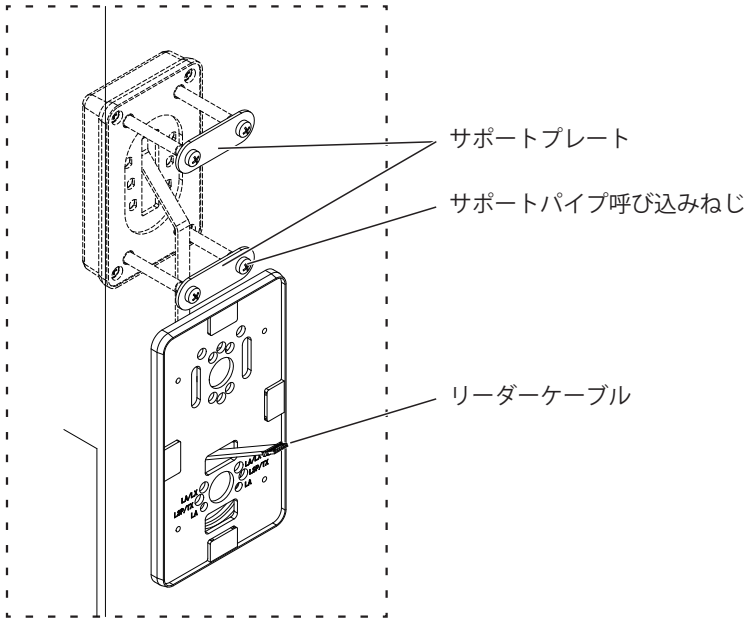


GOAL-TXへの取り付け(エマージェンシータイプB独立型)

5. リーダーの固定

- 切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ



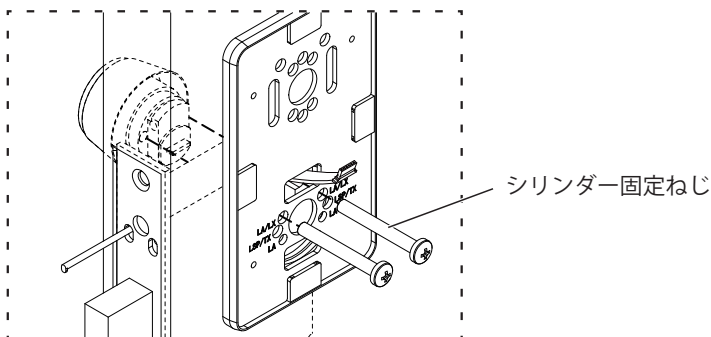
GOAL-TX
B独立型

6. ボディプレートの固定

- 既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

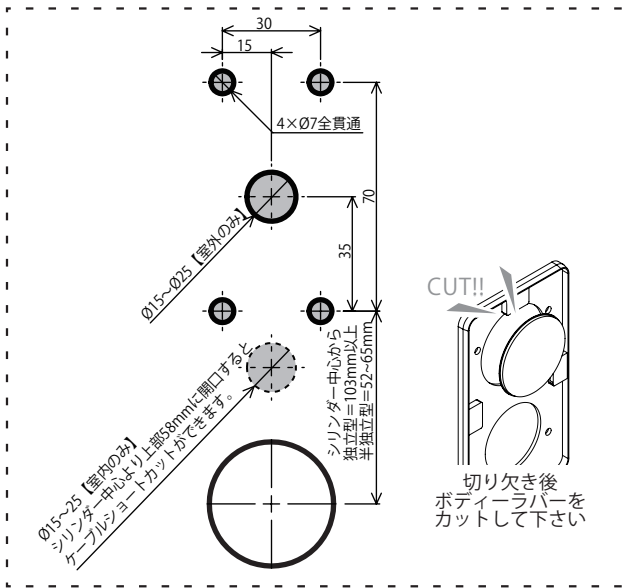
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



アウトボディの取り付け (GOAL-TX エマージェンシーB半独立型)

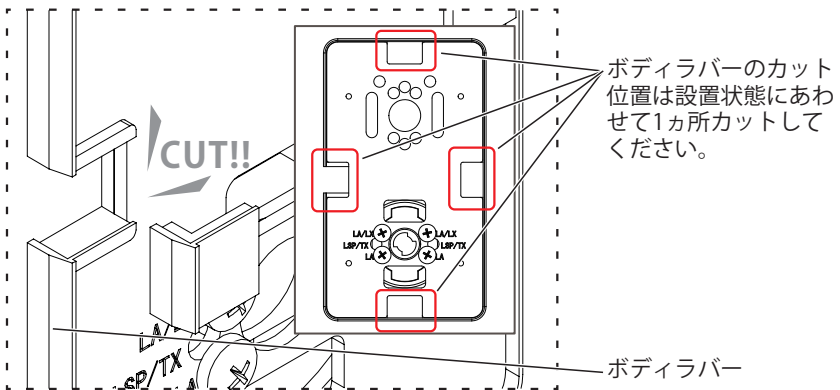
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



GOAL-TX
B 半独立型

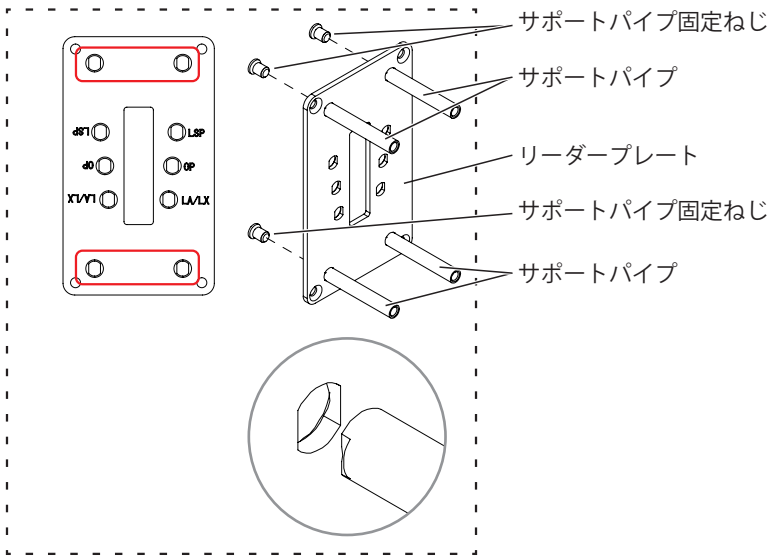
アウトボディの取り付け(GOAL-TX エマージェンシーB半独立型)

3. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴に合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

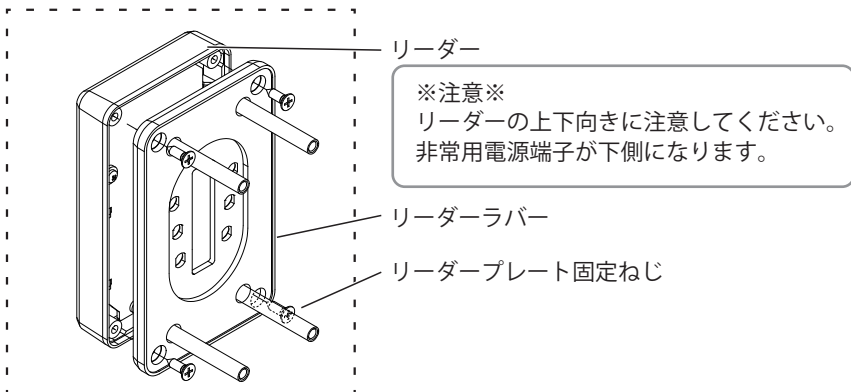


4. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

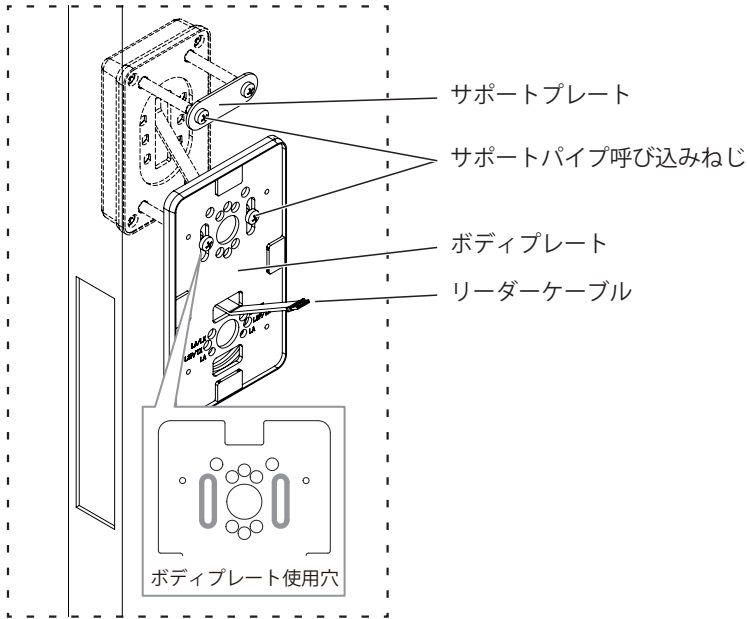


アウトボディの取り付け(GOAL-TX エマージェンシーB半独立型)

5. リーダーの固定

- 切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレート、ボディプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ

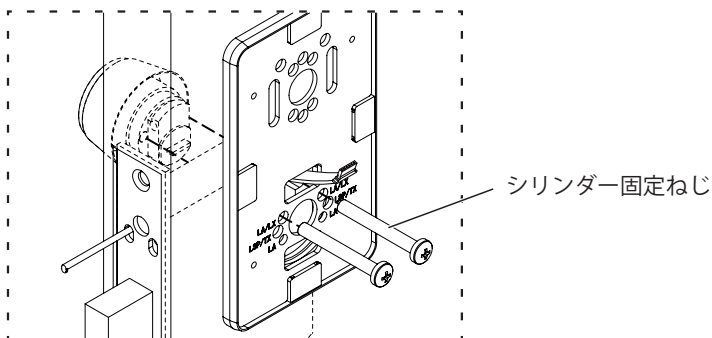


6. ボディプレートの固定

- 既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本

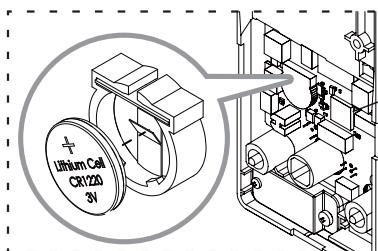


インボディの取り付け

1. ボタン電池の取り付け

・ボディ基板にCR1220タイプのボタン電池を取り付けてください。未使用時は電池交換時に内部時計がリセットされますので、電池交換直後に時刻設定を行わないと、時間を使った機能が正しく作動しません。

※向きに注意して取り付けてください。



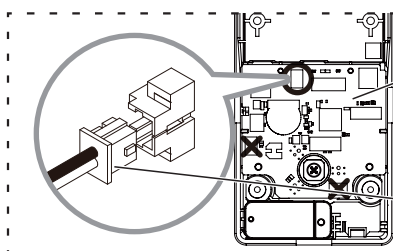
ボディ基板

※注意※
電子部品に触らないようにしてください。

2. マグネットセンサーの取り付け

・マグネットセンサーを使用する場合は、マグネットセンサーのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。

※向きに注意して奥まで差してください。



ボディ基板

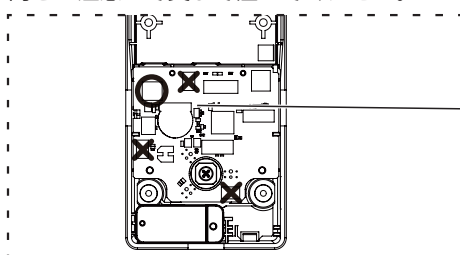
※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

マグネットセンサーコネクタ

3. ACアダプターの取り付け

・ACアダプターを使用する場合は、ACアダプターのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。

※向きに注意して奥まで差してください。



ボディ基板コネクタ

※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

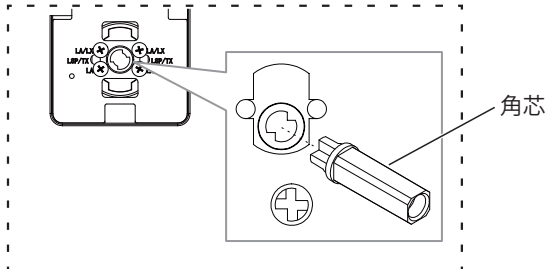
※ACアダプターを使用する場合の注意事項※

- 必ず電池を取り付けてください。ACアダプターのみで運用すると停電時に遠隔操作ができなくなります。
- 定期的に電池を交換してください。長期間入れたままにしておくと液漏れする恐れがあります。

インボディの取り付け

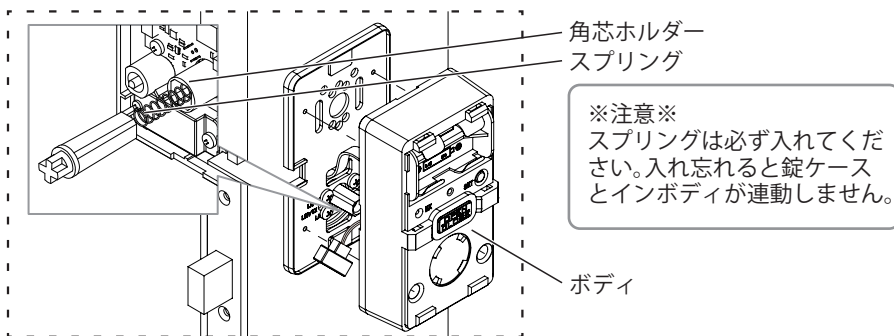
4. 角芯の選定

- 角芯は長さ違いで2種類付属しています。ドア厚に合わせて選定してください。
ドア厚30～42mm・・・角芯S(全長35mm)
ドア厚40～50mm・・・角芯L(全長40mm)
- 錠とボディを連結させる角芯を錠ケースのカム部に差し込みます。
※角芯をドア内部に落下させないようにご注意ください。



5. ボディの仮付け

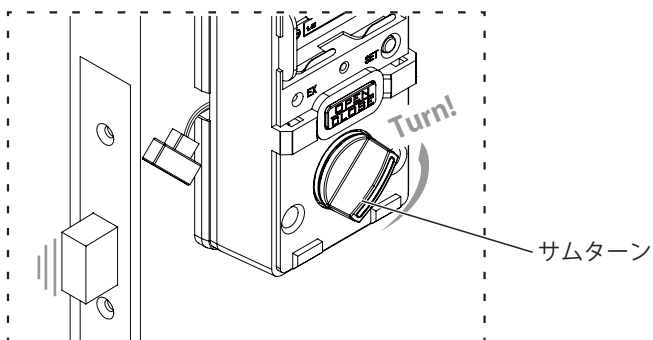
- 角芯ホルダー内にスプリングを入れ、角芯を収納しボディをボディプレートに密着させます。
※ケーブルを挟み込まないように注意してください。



インボディアの取り付け

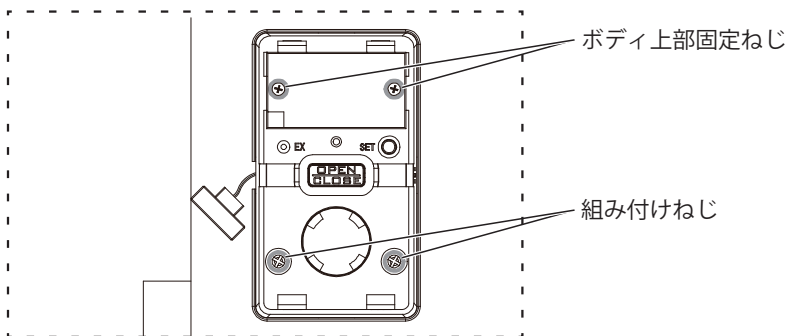
6. サムターン連結確認

- ・ボディを仮付けした状態でサムターンを付け作動を確認します。サムターンが90°往復で駆動することを確認してください。
- サムターンが動かない場合、一度ボディを外し、ボディのサムターンを90°空回して再度作動を確認してください。



7. ボディアの取り付け

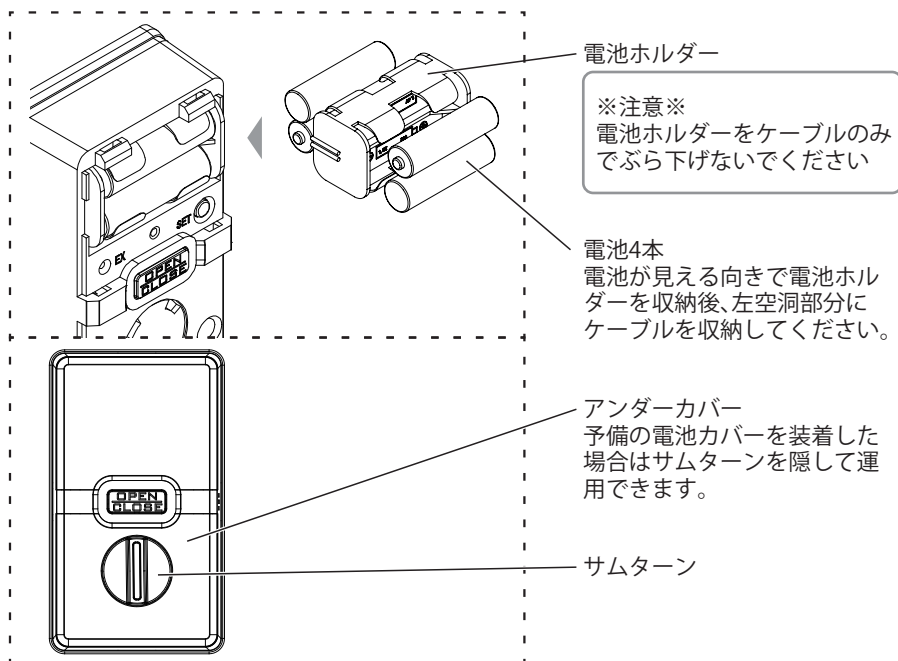
- ・アンダーカバー内の組み付けねじ2カ所を固定します。
 - ・電池ホルダーを取り出し、電池ボックス内の2カ所をボディ上部固定ねじで固定します。
- 【本体部品】ボディ上部固定ねじ M3×8皿ねじ小頭



インボディの取り付け

8. 電池の取り付け

- 電池ホルダーに電池を挿入し電池ボックスに収納し電池カバーを取り付けます。電池ホルダーの収納向きが違う場合、電池カバーが閉まらないのでご注意ください。電池ホルダーの赤いリボンは電池の下に入れてください。電池を取り外すときに使います。リボンを引っ張った状態で電池を挿入すると電池が浮き上がることがあり、電池カバーが閉まらない場合があります。
- アンダーカバーを取り付けサムターンを装着します。

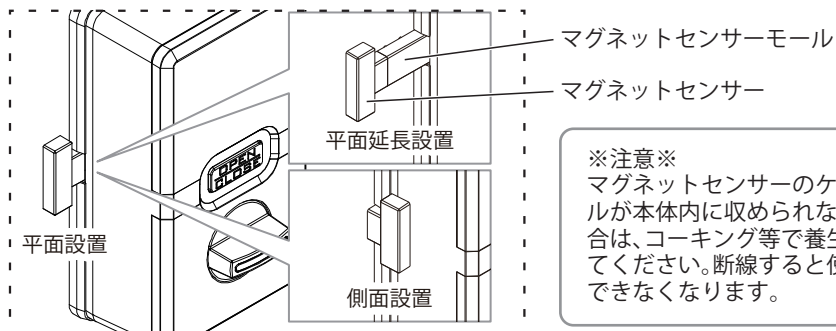


※電池を取り付ける際はインボディのボタンを押さないようにご注意ください。ボタンを押しながら電池を入れるとデバイスの設定が変わります。

インボディの取り付け

9. マグネットセンサーの取り付け

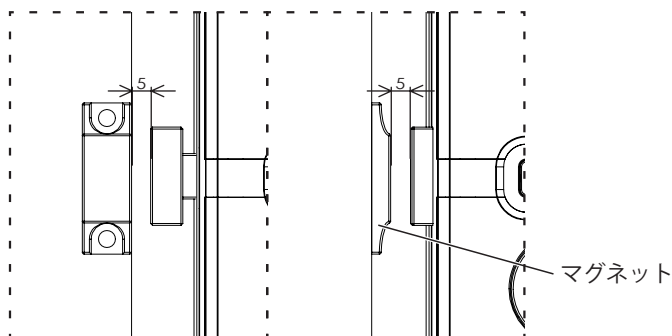
- ・戸当りの環境によりボディ側面設置かドア平面設置を選択してください。
- ・ドア平面設置の場合は戸当りまでの距離によりマグネットセンサーモジュールを必要な長さにカットして位置決めしてください。
- ・余分なマグネットセンサーのケーブルは隙間より本体内に収めてください。
- ・マグネットセンサー裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットセンサーを貼り付けてください。



※注意※
マグネットセンサーのケーブルが本体内に収められない場合は、コーキング等で養生してください。断線すると使用できなくなります。

10. マグネットの取り付け

- ・マグネットを取り付ける前に、取り付け位置でマグネットセンサーが正しく検知することを確認してください。一度ドアを開いて、ドアを閉じるときに「ブツ」と音が鳴ればマグネットセンサーが検知しています。
- ・マグネット裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットを取り付けてください。マグネットはマグネットセンサーにできるだけ近づけて取り付けてください。(5mm以内)



11. アウトボディの保護フィルムを剥がす

- ・設置が終わったらアウトボディの保護フィルムを「2枚」剥がしてください。

※注意※
保護フィルムを付けたまま使用すると、フィルムが変質して剥がせなくなる場合があります。

デバイスの設定

1.コントローラーへの登録

スマートロックをスマートフォンアプリから操作するには、Z-Wave対応コントローラーに登録する必要があります。

- ・スマートフォンアプリをインストールしてください。
- ・アプリの案内に従ってコントローラーに登録してください。

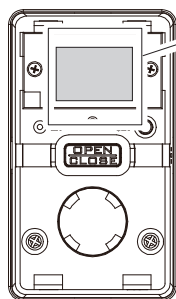
●スマートスタート対応のコントローラーの場合

製品に表示されているQRコードをスマートフォンアプリで読み取ると自動で登録します。スマートフォンアプリの案内に従って操作してください。

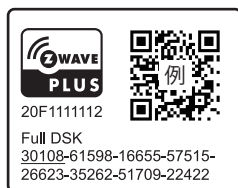
QRコードは電池ボックス内部と梱包箱に表示されています。どちらかのQRコードを読み取ってください。

QRコードを読み取ったあとは、本体を起動したまましばらくお待ちください。

スマートフォンアプリで登録が完了したことを確認してください。



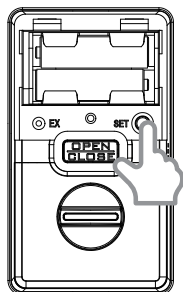
QRコード表示場所



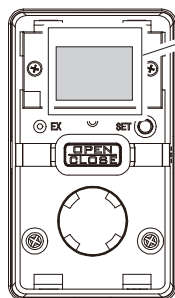
●スマートスタート非対応のコントローラーの場合

コントローラーをデバイス登録モード(AddまたはInclusionモード)にしてください。操作方法はコントローラーまたはスマートフォンアプリの取扱説明書をお読みください。

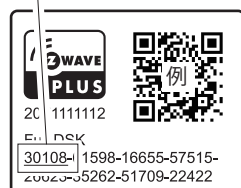
- ①インボディのSETボタンを約5秒長押しするとピピッと鳴り、登録動作を開始します。



- ②PINコードの入力を求められた場合は、QRコードの下に記載されている数字の最初の5桁を入力してください。操作アプリで登録が完了したことを確認してください。



PINコード表示場所
下線のある5桁です。



※上図はサンプル例です。

デバイスの設定

2. デバイスの設定

- ・アプリの案内にしたがって、デバイスの設定を行ってください。
- ・使用するアプリによって設定できる項目が異なる場合があります。
- ※設定項目はデバイスのバージョンアップにともない追加・削除・変更される場合があります。

【扉勝手】※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右勝手(初期値)・・・室外側に立ち、丁番が右の場合

左勝手・・・室外側に立ち、丁番が左の場合

【音量】

ミュート / 小 / 中(初期値) / 大 ※ミュートでも警告音は鳴動します。

【施錠モード】

モードの種類	マグネットセンサー有り	マグネットセンサー無し
自動施錠-S(初期値)	ドアが閉まってから3秒後	解錠から15秒後
自動施錠-L	ドアが閉まってから6秒後	解錠から30秒後
手動	手動(テンキー長押しで施錠できます)	
施解錠繰返し	手動(テンキー長押しでは施錠できません。室外側で施錠する場合はICカードかPINコードで操作してください。)	

【サムターン操作後連続解錠】

オン(初期値)・・・連続解錠(自動施錠-Sまたは-Lのときでも自動施錠しません)

オフ・・・自動施錠(施錠モードが自動施錠-Sまたは-Lのとき)

【O/Cボタン】

有効(初期値)・・・O/Cボタンが使用できます

無効・・・O/Cボタンは使用できません

【メイン/サブ切替】

ダブルロックで使用される場合、主錠でない方を【サブ】に設定してください。両方ともメインまたは両方ともサブでは正常に動作しません。

扉勝手はメインとサブで同じ設定にしてください。設定が異なると、メインとサブで施解錠動作が反転します。

メイン(初期値)・・・主錠

サブ・・・補助錠

サブに設定した場合、下記設定は自動で変更されます。

施錠モード:手動

マグネットセンサー:無し

【マグネットセンサー】

有り(初期値)・・・ドアの開閉を検知します

無し・・・ドアの開閉を検知しません

【モーター出力】

普通(初期値)・・・通常のトルクで駆動

強力・・・強力なトルクで駆動

【ランダムテンキー桁数】

テンキーを起動する前に表示されるランダムテンキーの桁数を設定します。

なし / 2桁(初期値) / 4桁 / 6桁

【通信待機設定】

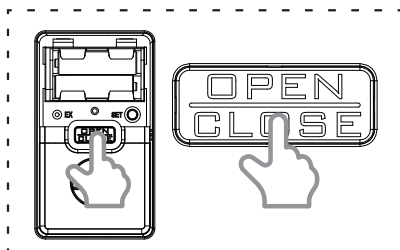
ON(初期値)・・・Bluetooth通信機能がON

OFF・・・Bluetooth通信機能がOFF

デバイスの設定

3. インボディでの設定変更

- ・インボディのボタンを押した状態で電源を入れることで設定を変えることができます。スマートフォンアプリがない場合でも下記項目の設定が可能です。



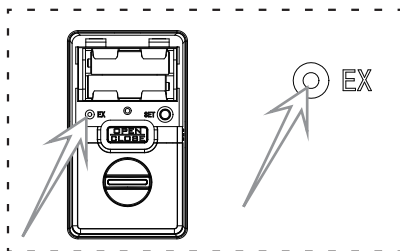
【扉勝手】O/Cボタン

※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右設定 (初期値)・・・室外側に立ち、
丁番が右の場合

↓ ↑
左設定

・・・室外側に立ち、
丁番が左の場合



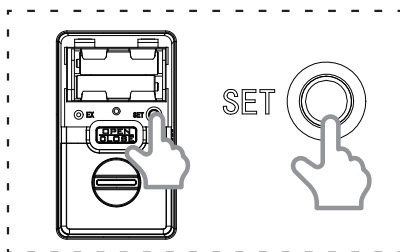
【音量】EXボタン (細長いもので押しください)

中音量 (初期値) ←

↓
大音量

↓
ミュート

↓
小音量



【マグネットセンサー】SETボタン

あり (初期値)・・・ドアの開閉を検知する

↓ ↑
なし

・・・ドアの開閉を検知しない

上記手順を行い設定が変更されると「設定を終了します」とアナウンスが流れます。各種希望の設定になるまで繰り返し行い、最終的に動作を確認してください。

2つの設定を同時に変更することはできません。

デバイスの設定

4. 通信待機設定

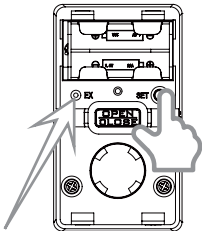
本体内蔵のBluetooth通信機能のON/OFFを切り替えます。
Bluetoothアプリを使用しない場合にOFFにすることで電池の持ちが良くなります。

①通信待機設定

電池カバー内のEXボタンとSETボタンを同時に3秒間押します。

ON ⇒ OFF または OFF ⇒ ON へ現在の状態を変更します。

※EXボタンは細長い物で押してください。



スマートロック

LOCK Pro

ZSL10

工事説明書
MIWA-LA 用

株式会社アクセルラボ



目次

正しく工事していただくために	1
商品構成	2
取り付け前に確認していただくこと	3
MIWA-LAへの取り付け	6
標準	7
エスカッション	11
エマージェンシーA	16
エマージェンシーB独立型	21
エマージェンシーB半独立型	25
インボディの取り付け	30
デバイスの設定	35



正しく工事していただくために

取り付けの際、お守りいただく内容です。

この「工事説明書」では、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、この「工事説明書」をお読みいただくようお願い申し上げます。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

- ⊙ 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締め過ぎやネジ穴がつぶれるなどの破損の原因となります。
- ⊙ 高温になる場所(火や暖房器具のそば、直射日光の当たる場所)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ⊙ 水などの液体をかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊙ 金属・紙・その他異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊙ 電源を入れたまま工事をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
医用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により医用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- ⊙ 分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・傷害の原因となります。また、改造した製品を使用した場合、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。
- ❗ 液漏れして皮膚や衣服に附着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に附着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

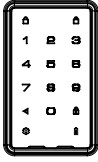
⚠ 注意

- ⊙ 風呂場などの湿気の多い場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ⊙ アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤をかけないでください。
印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。
- ⊙ 強い衝撃や振動が加わる場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。
- ⊙ 強力な電氣的ノイズおよび電磁波のある場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。

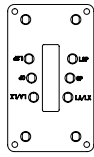
商品構成

取り付け作業前に欠品がないことを必ずご確認ください。

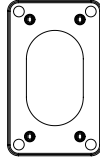
■アウトボディ



リーダー

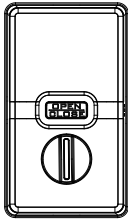


リーダープレート

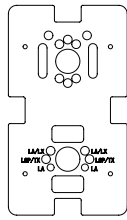


リーダーラバー

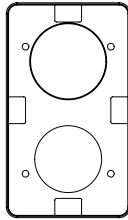
■インボディ



ボディ



ボディプレート

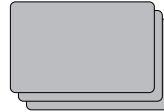


ボディラバー

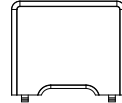
■ICカード



DESFireカード



Ultra Lightカード



電池カバー

【LA部品】パック



リーダーアタッチメント



リーダープラグ

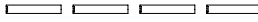
アタッチメントネジ
M6×14 皿ネジ 1本

ボディアダプター

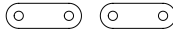
アダプターライナーセット(黒色)
(1mm/2mm/3mm/4&8mm)プラグ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 2本アダプター固定ネジ
M4×16 なべネジ 4本

組み付けられています

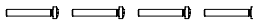
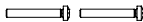
【LSP/LX他部品】パック



サポートパイプ 4本



サポートプレート 2枚

サポートパイプ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 4本サポートパイプ呼び込みネジ
M4×28 なべネジ 4本シリンダー固定ネジ-S
M5×40 なべネジ 2本シリンダー固定ネジ-L
M5×45 なべネジ 2本

【本体部品】パック



マグネットセンサー



マグネット



マグネットセンサーモジュール



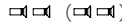
角芯-S



角芯-L



スプリング(予備1)

リーダープレート固定ネジ
ST2.9×8 皿タッピングネジ 4本ボディ上部固定ネジ(予備2)(黒色)
M3×8 皿ネジ小頭 4本マグネット固定ドリリングネジ
ST4.2×16 なべドリリングネジ 2本

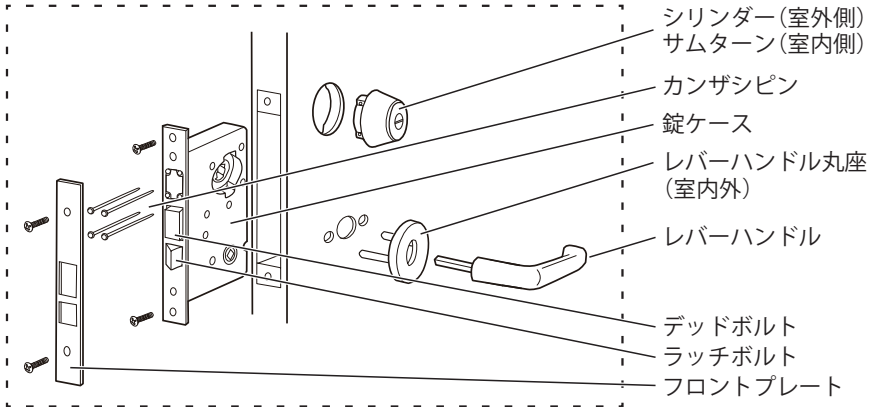
取り付け前に確認していただくこと

1. 既設錠前の作動確認

錠ケースやレバーハンドル(シリンダー)の作動が良好か、良く確認したうえで取り付け作業に入ってください。

- ・ドアを閉めた状態でラッチボルトがしっかり掛かり、デッドボルトが受けと干渉せずなめらかに動くか。
- ・ドアの開閉でドアと枠が当たらないか。
- ・ドアクローザーの力でラッチボルトが掛かるまでドアが閉まるか。
- ・サムターンが90度回転し、作動終わりにバネの力が働いてクリック感があるか。
- ・摩耗、ガタツキ、変形、サビ、腐食などはないか。

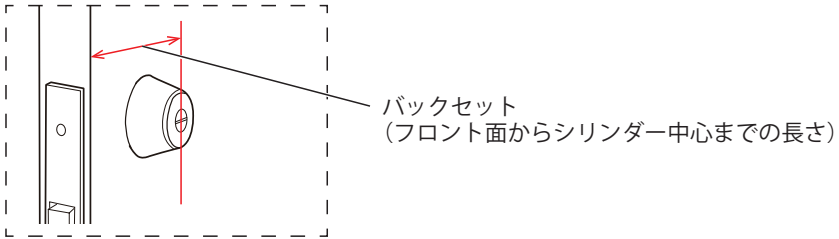
※上記他、問題点がある場合は製品が正常に作動しない場合があります。
メンテナンスや交換等は、専門業者に依頼をしてください。



取り付け前に確認していただくこと

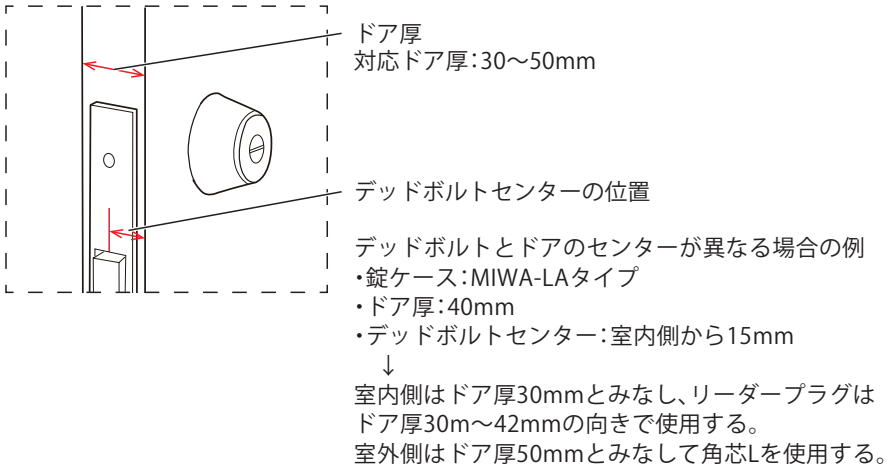
2. バックセット

- 設置場所のバックセットを確認してください。
対応バックセット: 51mm または 64mm 以上



3. ドア厚の確認

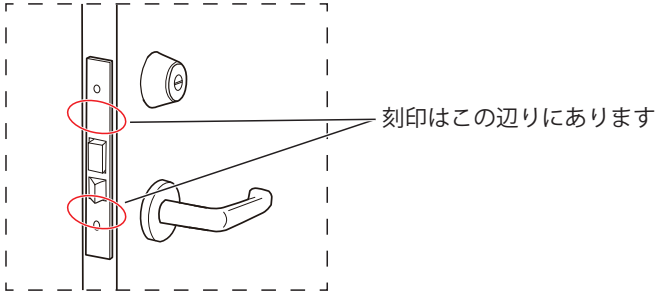
- 設置場所のドア厚を確認してください。
戸先側に煙返しなどがある場合は吊元側で採寸してください。
- デッドボルトのセンターがドアのセンターにあるか確認してください。
デッドボルトが室内側または室外側に寄っている場合があります。
その場合は使用する部品の組み合わせが変わることがあります。



取り付け前に確認していただくこと

4. 錠前の種類

- 錠前メーカーと錠前の種類(型番)を確認してください。
種類によって設置方法が異なります。刻印はドア側面にあります。



MIWA製 : LA・MA / LASP / WLA / 13LA / LAF / LV / LVF / MV / MVF / PPVF / PPF /
DA / DASP / DV / DVF / LDA / FG

U-Shin製 : SLA

Clavis製 : LC・MC / CD

⇒MIWA-LAタイプの工事説明書を参照ください。

MIWA製 : LSP / SWLSP / GAF / LE-xx / TE-xx

LIXIL製 : QDD-xxx / QDJ-xxx / QDK-xxx / QDC-xxx / QDV-xxx / QDN-xxx

三協アルミ製 : FE

⇒MIWA-LSPタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : AS・LX / LG / LGK / PL / PLK / LD / LDK / HD / SX

⇒GOAL-LXタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : TX / TTX / TLX / TXK / SK / GK / GD / GG

⇒GOAL-TXタイプの工事説明書を参照ください。

MIWA-LAへの取り付け

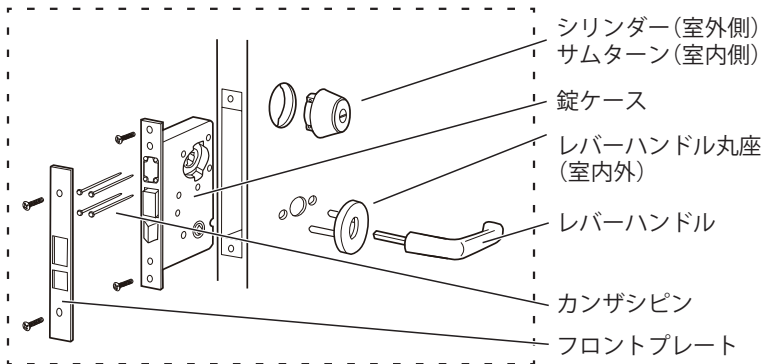
1. 設置タイプの確認

室外側の設置タイプによって施工方法が異なります。該当する設置タイプの工事説明書を参照してください。

シリンダーを使用しない	A. 標準タイプ
シリンダーとアウトボディを併用する	B. エスカッションタイプ シリンダーカラーが直径45mm以下かつシリンダーとドアの隙間を3mm以上作れること。
	C. エマーゼンシータイプ ドアに取り付け穴の加工が必要です。
シリンダーを使用する	D. インボディタイプ 既設錠前からサムターンのみを取り外してください。

2. 既設錠前の取り外し

- ・ドア側面のフロントプレートを外します。
- ・カンザシピンをシリンダー側、サムターン側の各2本ずつ抜き取り、シリンダーとサムターンを外します。
- ・室内側レバーハンドル根元のねじを緩め、室内外レバーハンドルを外します。
- ・室内側レバーハンドル丸座を外します。(ツメ式・ねじ込み式等あり)
- ・丸座内部のねじ2本を外し、室内外の丸座を外します。
- ・ドア側面のねじ2本を外し、錠ケースを取り外します。



※注意※

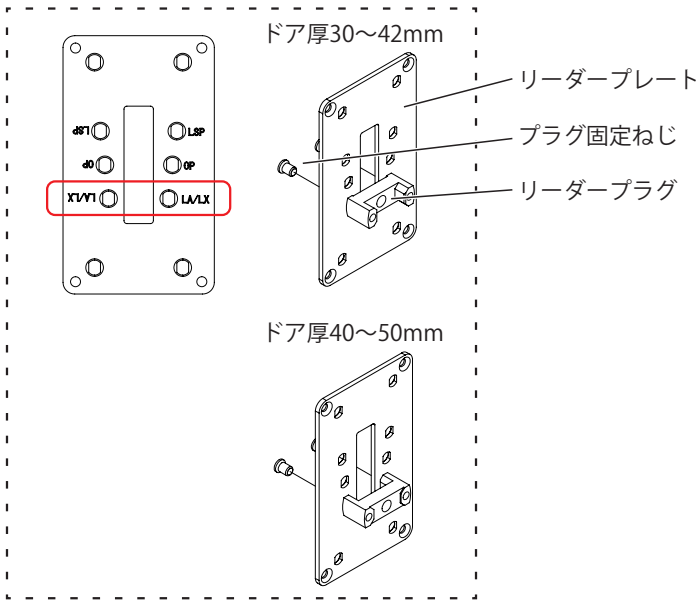
作業時はドアストッパーを使用して、ドアが閉まらないようにしてください。

アウトボディの取り付け(MIWA-LA 標準)

1. リーダープラグの取り付け

- ・リーダーアタッチメントからリーダープラグを取り外します。
- ・リーダープレート上のLA刻印がある位置にリーダープラグを取り付けます。ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。設置するドアの厚みによりプラグの向きを選択してください。

【LA部品】プラグ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 2本

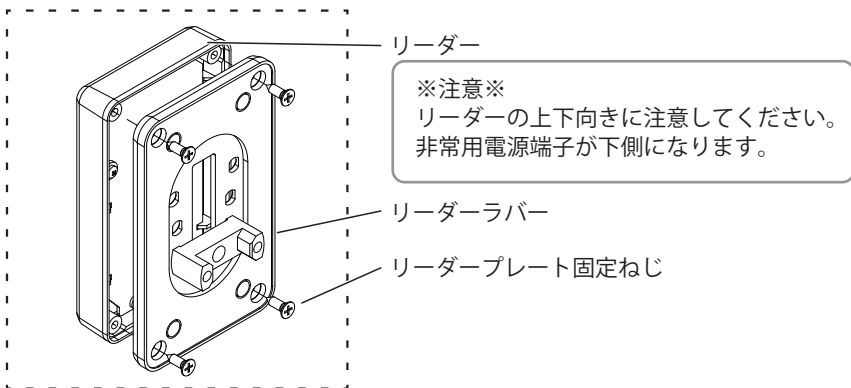


2. リーダープレートの取り付け

- ・リーダーにリーダープレートを取り付けます。リーダープレートの天地を入れ替えることでアウトボディの設置位置を調整できます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

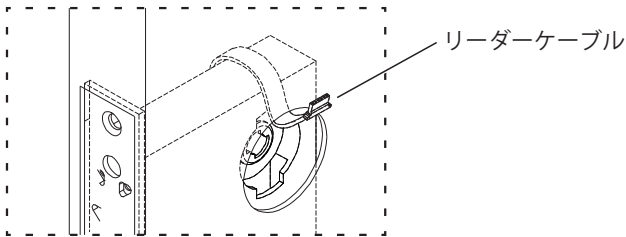
- ・リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。



アウトボディの取り付け(MIWA-LA 標準)

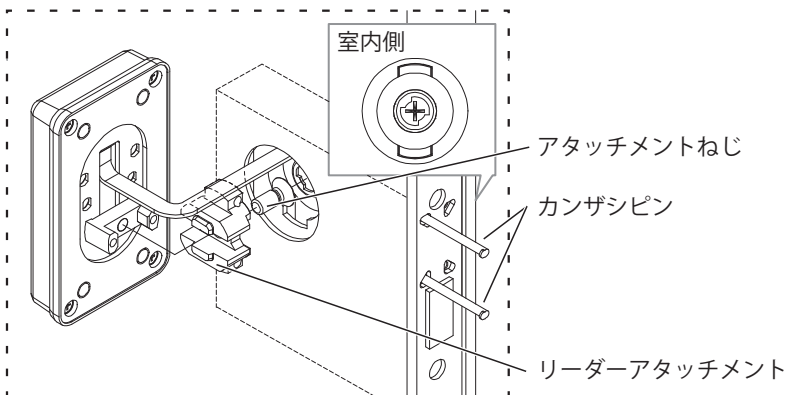
3. ケーブルの通線

- ・ドアのシリンダー切り欠き穴からリーダーケーブルを通線します。錠ケースの上部にケーブルが通るように調整し、錠ケースを取り付けます。
錠ケースの取り付け方法は『既設錠前の取り外し』を参考にしてください。



4. リーダーの固定

- ・錠ケースシリンダー部分に、リーダーアタッチメントをセットしてカンザシピンを2本挿入して固定します。この時アタッチメントねじをセットし忘れないように注意してください。
【LA部品】アタッチメントねじ M6×14皿ねじ
- ・リーダープラグとリーダーアタッチメントの位置を合わせ、室内側からM6ねじを締め付けてください。



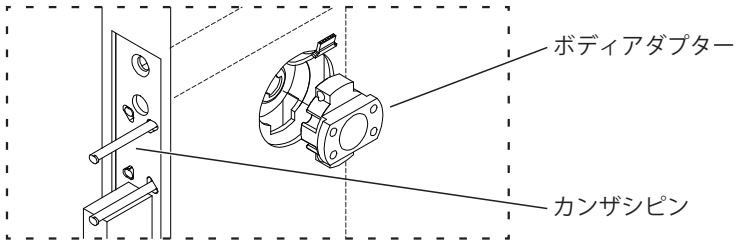
※注意※

リーダーを強く締め付けると歪みや、変形、作動不良の原因になります。
室内側からも引き寄せをするため、リーダーがドアに密着後、半回転締める程度の固定が目安です。

アウトボディの取り付け(MIWA-LA 標準)

5. ボディアダプターの取り付け

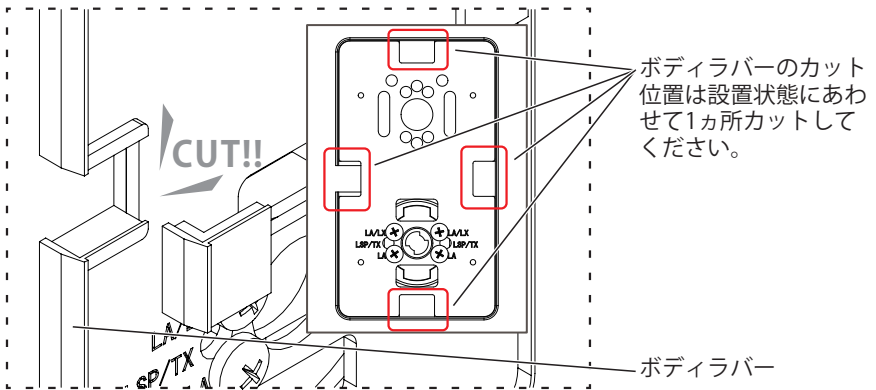
- ボディアダプターを室内側からドアのシリンダー切り欠き穴に入れ、カンザシピンを2本挿入して固定します。



MIWA-LA
標準

6. ボディプレートの取り付け

- マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。

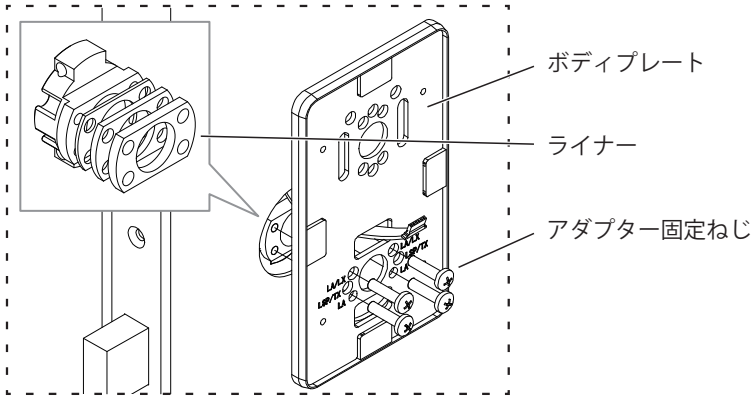


アウトボディの取り付け(MIWA-LA 標準)

7. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通します。
- ・ボディプレートとボディアダプターの間、ドアの厚みに応じたライナーを挟み、アダプター固定ねじ4本を締め付けます。

【LA部品】アダプター固定ねじ M4×16なべねじ



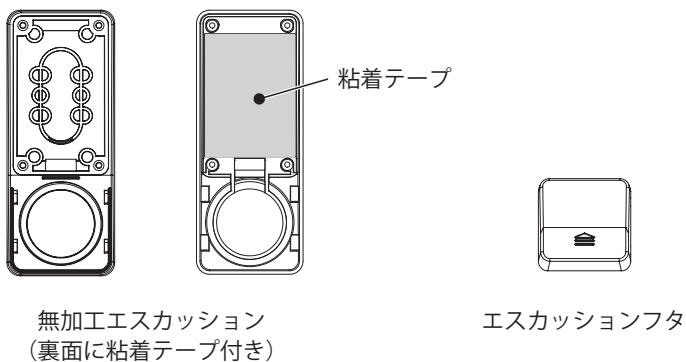
※注意※

ライナーはドア表面より1~2mm突出するように調整してください。
設置後、ドアやボディプレートがたわむ場合やボディプレートがドアに密着していない場合はライナーの枚数を再調整してください。

アウトボディの取り付け(MIWA-LA エスカッション)

1. 商品構成

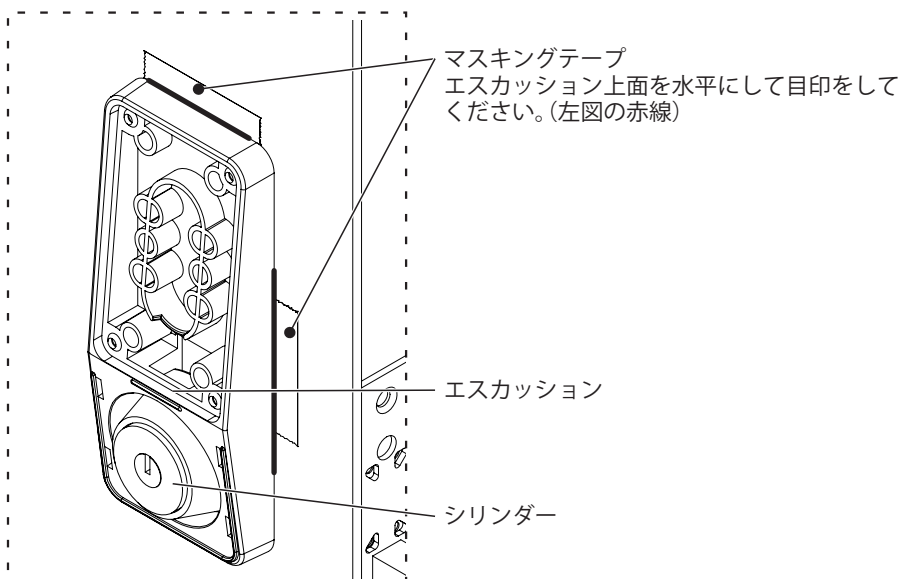
取り付け作業前に欠品がないことを必ずご確認ください。



※作業の前に※
シリンダーホール上部をシリンダーからはみ出さない範囲でヤスリ等で広げることで、通線やシリンダー取り付け作業が行いやすくなります。

2. 仮止め

- ・ドアの汚れ等を水拭きでしっかりと拭き取ります。
- ・エスカッション単体でシリンダーに挟み込み、仮止めします。
- ・仮止めしたエスカッションの位置にマスキングテープ等で目印をします。

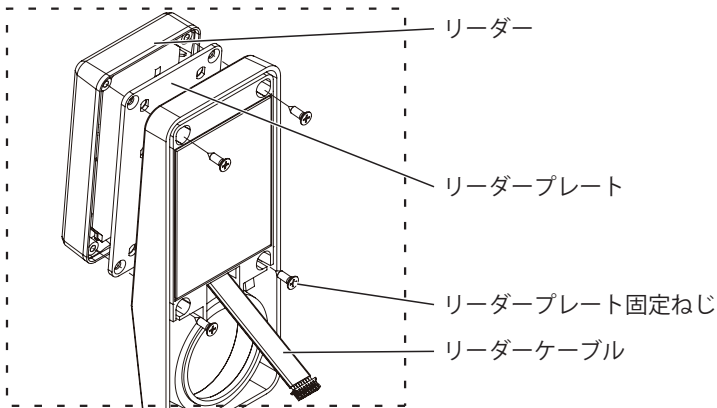


MIWA-LAへの取り付け(エスカッションタイプ)

3. リーダーの取り付け

- ・仮止めしたエスカッションを取り外します。
- ・リーダーからリーダーラバーを外し、リーダープレート固定ねじを外します。
- ・リーダーケーブルをエスカッションの穴に通し、リーダープレート固定ねじでリーダーをエスカッションに固定します。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

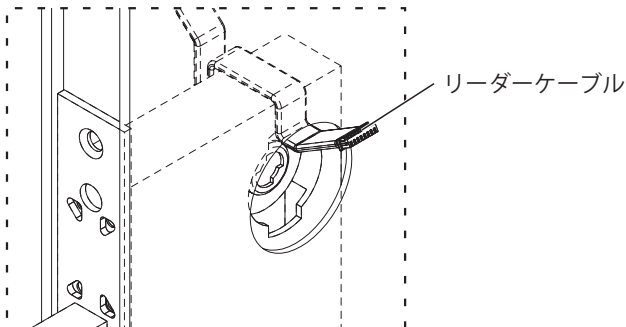


※注意※

- ・リーダーの上下向きに注意してください。非常用電源端子が下側になります。
- ・リーダープレートは必ず使用してください。
- ・リーダーラバーは使用しません。

4. ケーブルの通線

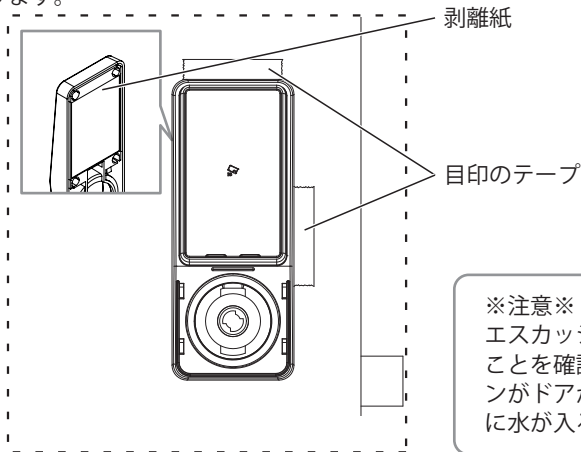
- ・リーダーケーブルをエスカッションの溝に収め、ドアの切り欠き穴から室内側へ通します。



MIWA-LAへの取り付け(エスカッションタイプ)

5. ドアへの貼り付け

- 粘着テープ裏の剥離紙を剥がし、目印に合わせてドアにしっかり押し付けて貼り付けます。
- 目印のテープを剥がします。
- シリンダーを取り付けます。シリンダーの取り付けは「2.既設錠前の取り外し」を参照してください。シリンダーを強く締め過ぎると上部の粘着テープが剥がれやすくなる可能性があります。

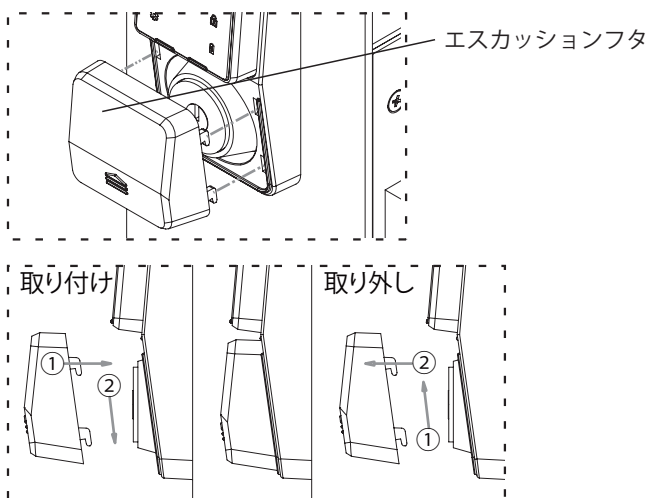


※注意※

エスカッションがドアに密着していることを確認してください。エスカッションがドアから浮き上がっていると、内部に水が入る恐れがあります。

6. エスカッションフタ

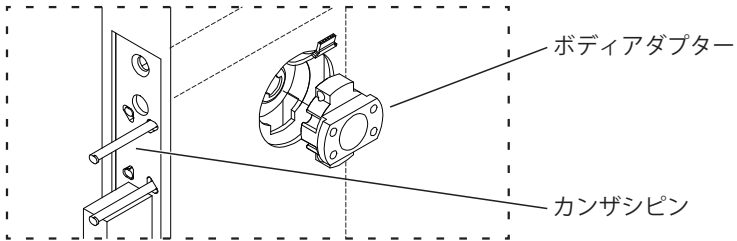
- エスカッションフタをご使用になる場合は、施工後の動作確認が完了してから取り付けてください。
- エスカッションフタの爪をエスカッションの穴に入れ、下にバチンと鳴るまでスライドさせて取り付けます。
- 取り外すときは、エスカッションフタを上へスライドさせて外してください。



MIWA-LAへの取り付け(エスカッションタイプ)

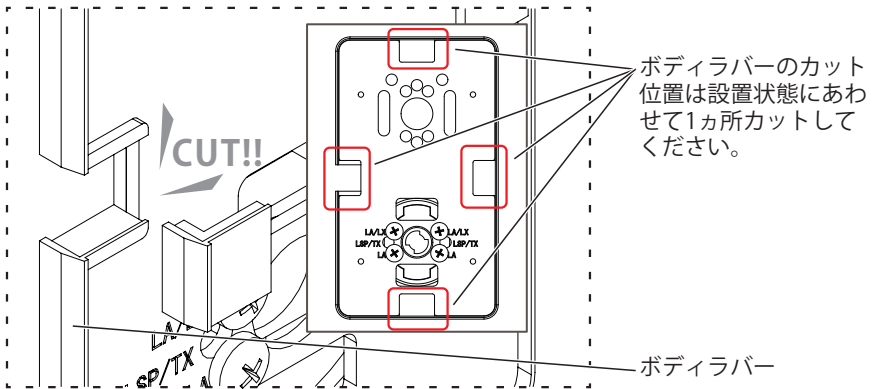
7. ボディアダプターの取り付け

- ボディアダプターを室内側からドアのシリンダー切り欠き穴に入れ、カンザシピンを2本挿入して固定します。



8. ボディプレートの取り付け

- マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。

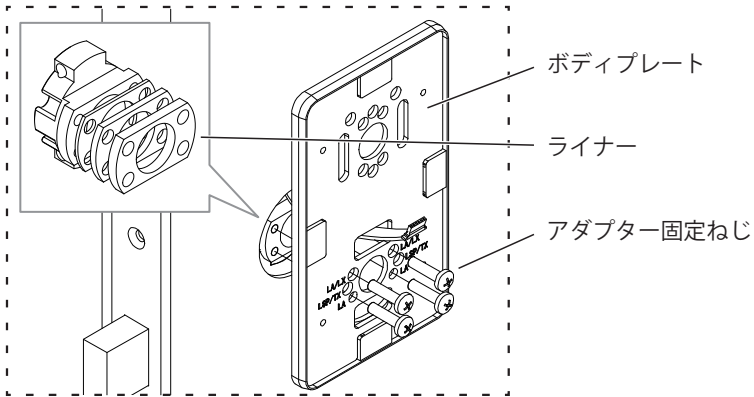


MIWA-LAへの取り付け(エスカッションタイプ)

9. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通します。
- ・ボディプレートとボディアダプターの間、ドアの厚みに応じたライナーを挟み、アダプター固定ねじ4本を締め付けます。

【LA部品】アダプター固定ねじ M4×16なべねじ



※注意※

ライナーはドア表面より1~2mm突出するように調整してください。
設置後、ドアやボディプレートがたわむ場合やボディプレートがドアに密着していない場合はライナーの枚数を再調整してください。

アウトボディの取り付け (MIWA-LA エマージェンシー)

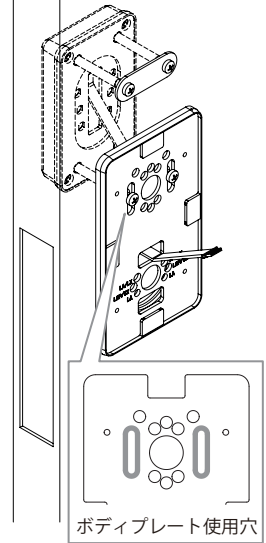
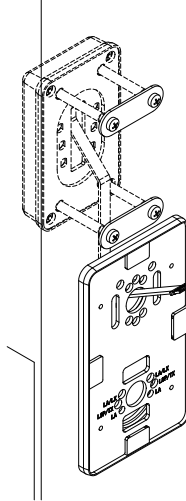
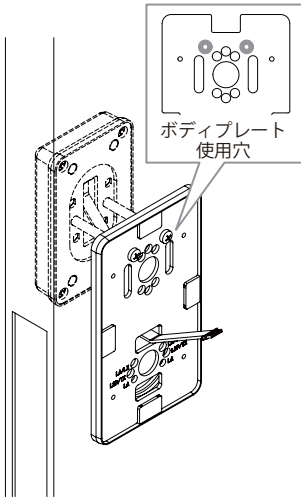
1. 取り付けタイプの選定

- ・エマージェンシータイプは、タイプA、タイプB独立型、タイプB半独立型の3種類の取り付けができます。取り付けタイプによってアウトボディの設置位置が変わります。ドアに開ける穴の位置が異なりますのでご注意ください。
- ・現場の取り付けタイプに合わせた工事説明書を参照ください。

タイプA

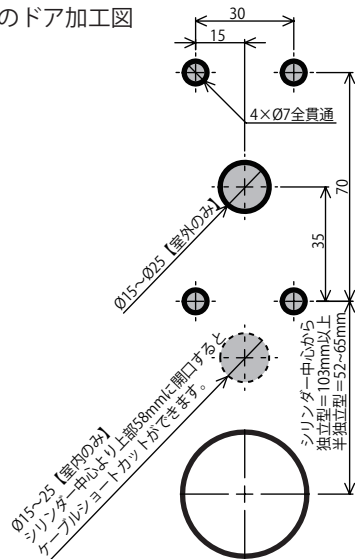
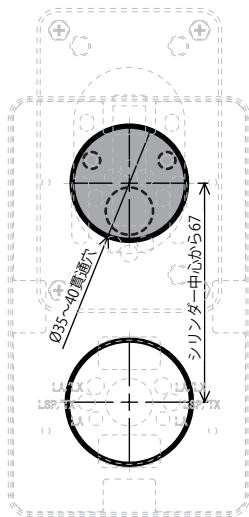
タイプB独立型

タイプB半独立型



タイプAのドア加工図

タイプBのドア加工図

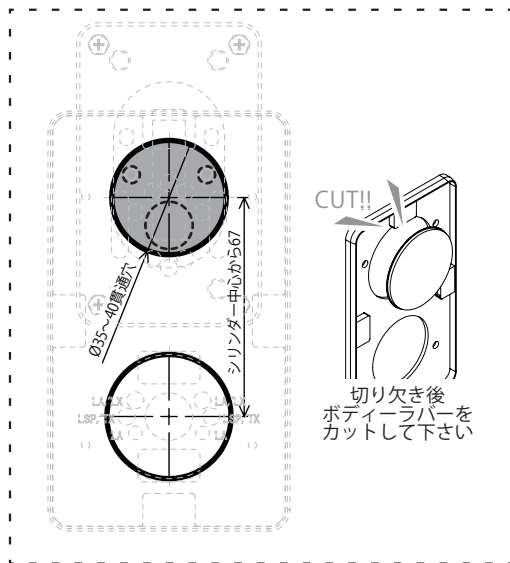


MIWA-LA
エマージェンシー

アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーA)

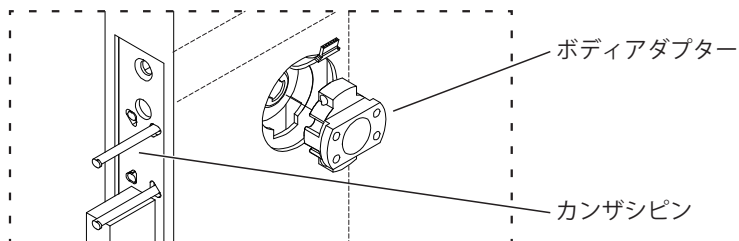
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディアダプターの取り付け

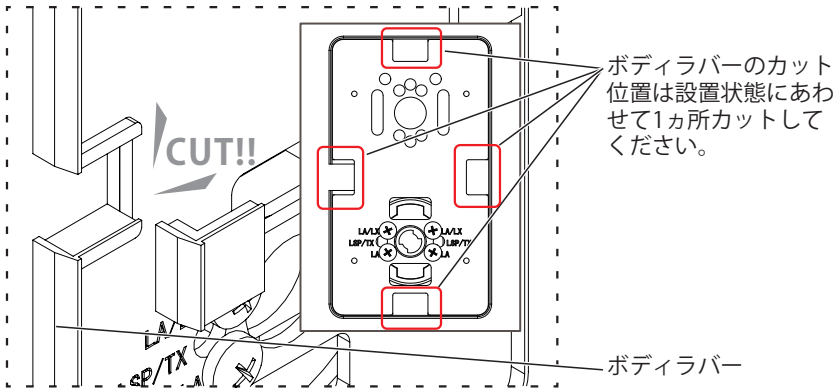
- ・ボディアアダプターを室内側からドアのシリンダー切り欠き穴に入れ、カンザシピンを2本挿入して固定します。



アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーA)

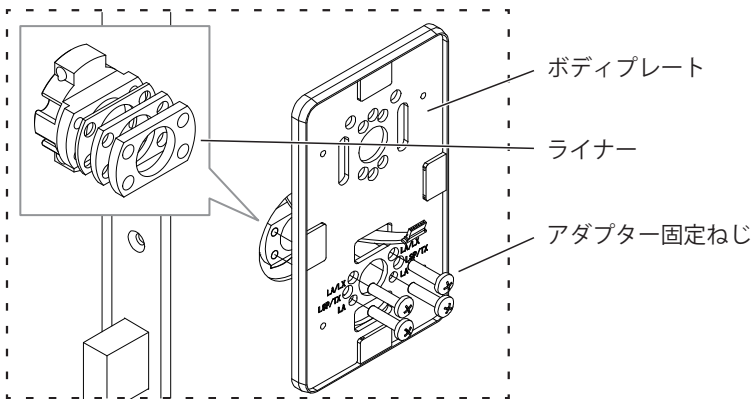
3. ボディプレートの取り付け

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



- ・ボディプレートとボディアダプターの間、ドアの厚みに応じたライナーを挟み、アダプター固定ねじ4本を締め付けます。

【LA部品】アダプター固定ねじ M4×16なべねじ



※注意※

ライナーはドア表面より1~2mm突出するように調整してください。
設置後、ドアやボディプレートがたわむ場合やボディプレートがドアに密着していない場合はライナーの枚数を再調整してください。

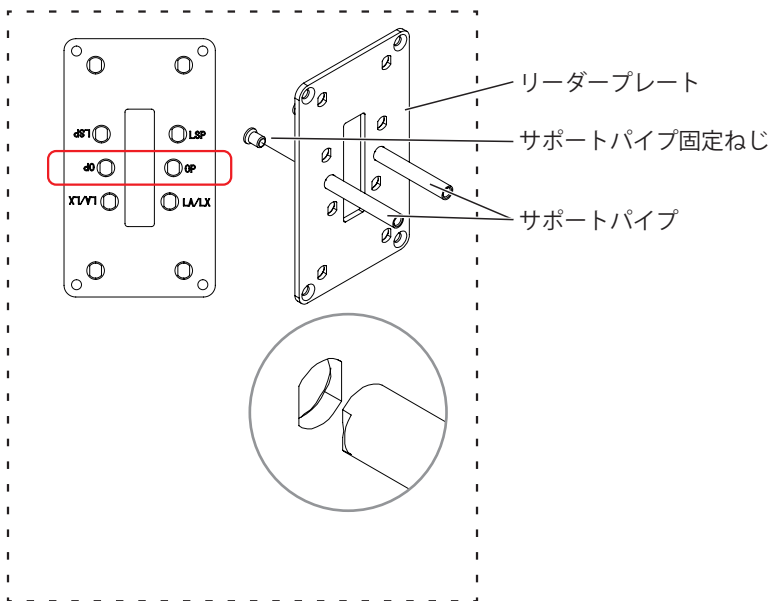
アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーA)

4. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートのOP刻印がある位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 2本

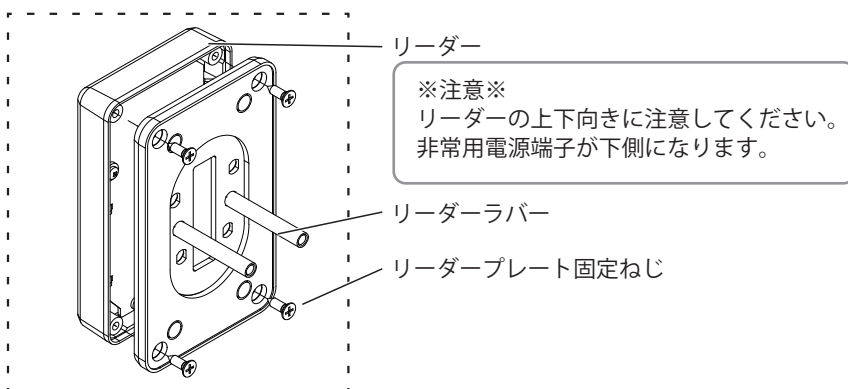


5. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。

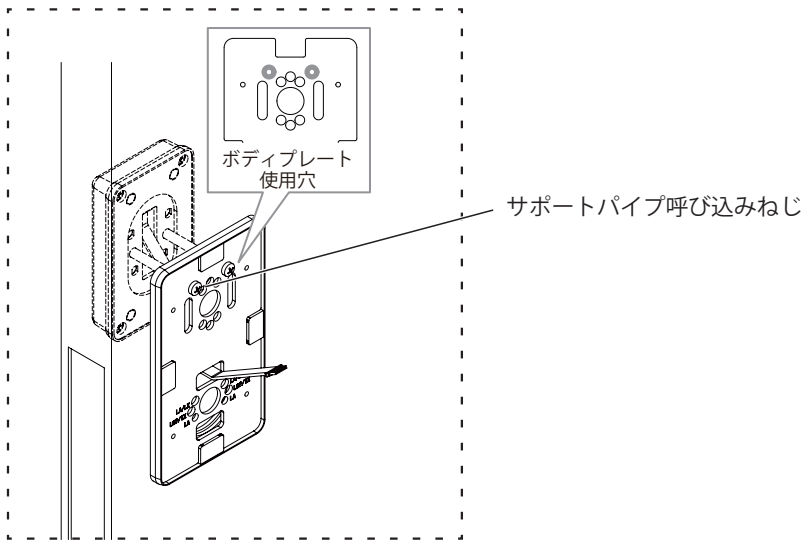


アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーA)

6. リーダーの固定

- 切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、ボディプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

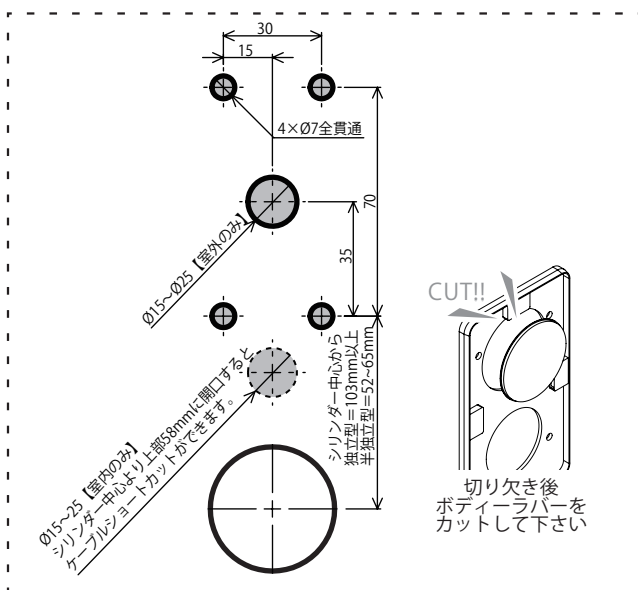
【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ



アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB独立型)

1. 切り欠き加工

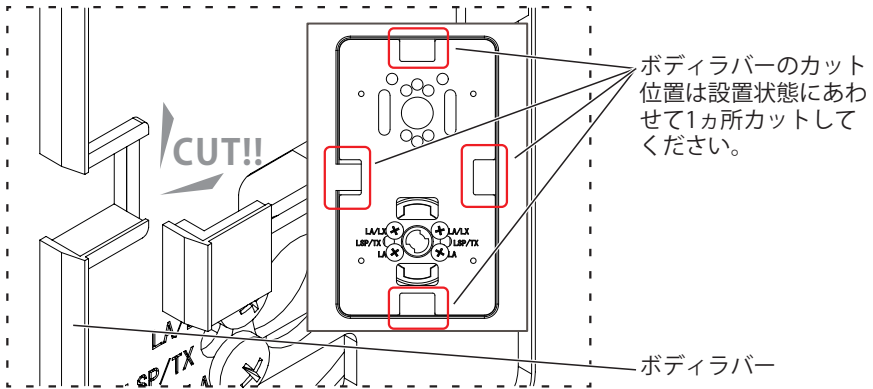
- ・ドアに既存のシリンダーを残しアウトボディを別の場所に付けるための穴を開けます。



アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB独立型)

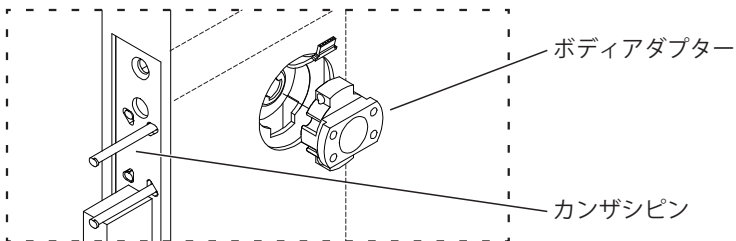
2. ボディプレートの準備

- マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



3. ボディアダプターの取り付け

- ボディアダプターを室内側からドアのシリンダー切り欠き穴に入れ、カンザシピンを2本挿入して固定します。



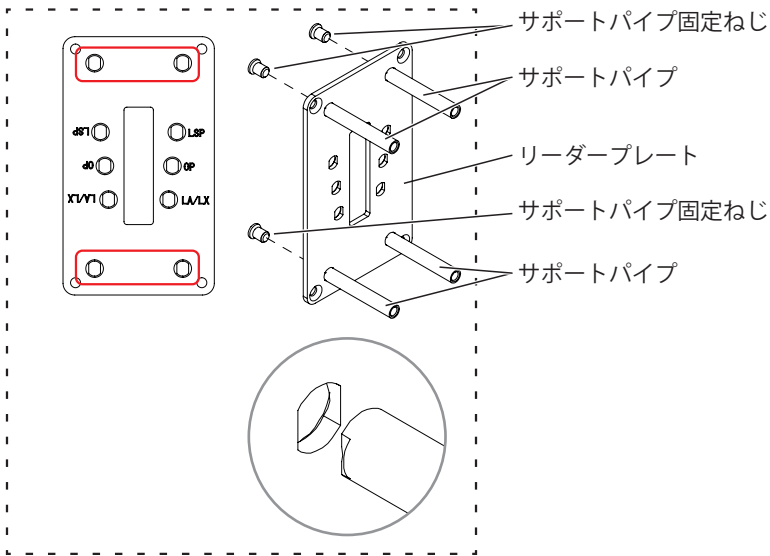
アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB独立型)

4. サポートパイプの取り付け

・リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

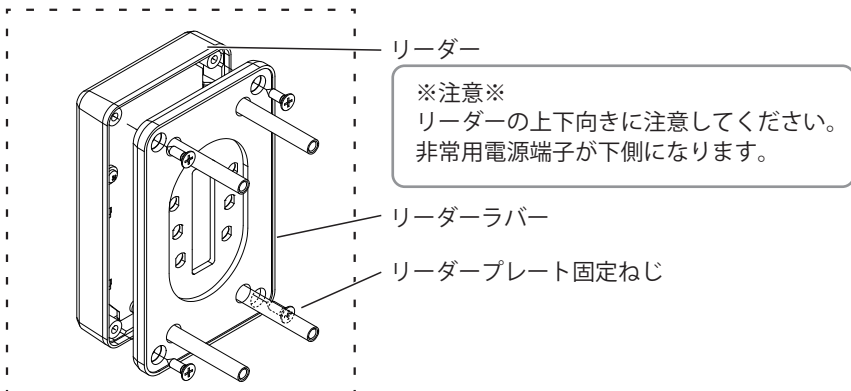


5. リーダープレートの取り付け

・リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

・リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

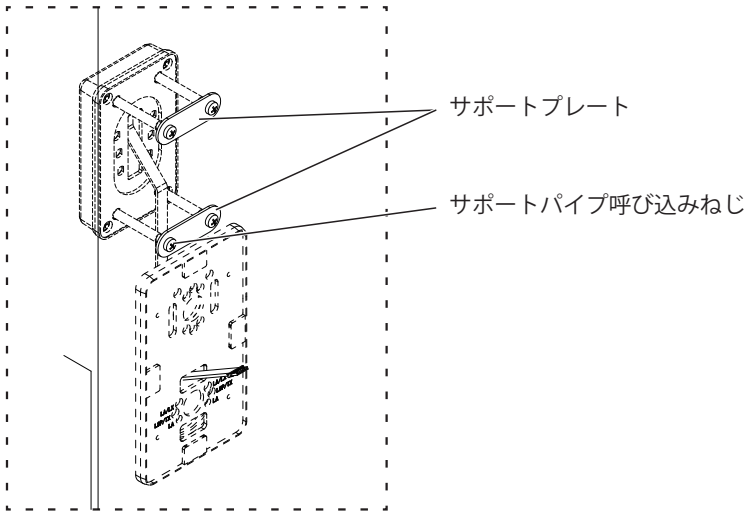


アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB独立型)

6. リーダーの取り付け

- 切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

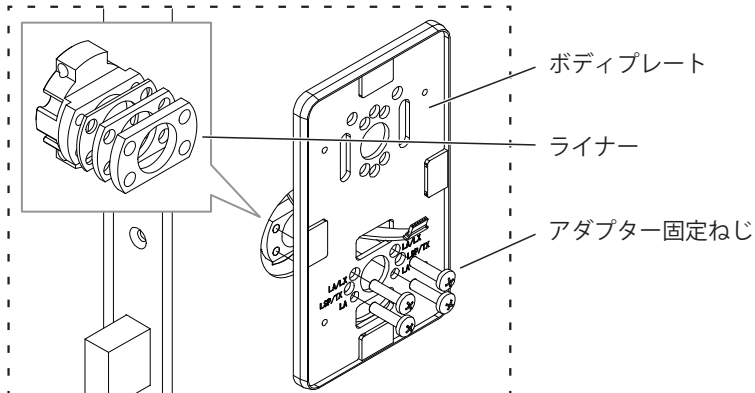
【LSP/LX部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ 4本



7. ボディプレートの取り付け

- リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通します。
- ボディプレートとボディアダプターの間に、ドアの厚みに応じたライナーを挟み、アダプター固定ねじ4本を締め付けます。

【LA部品】アダプター固定ねじ M4×16なべねじ 4本



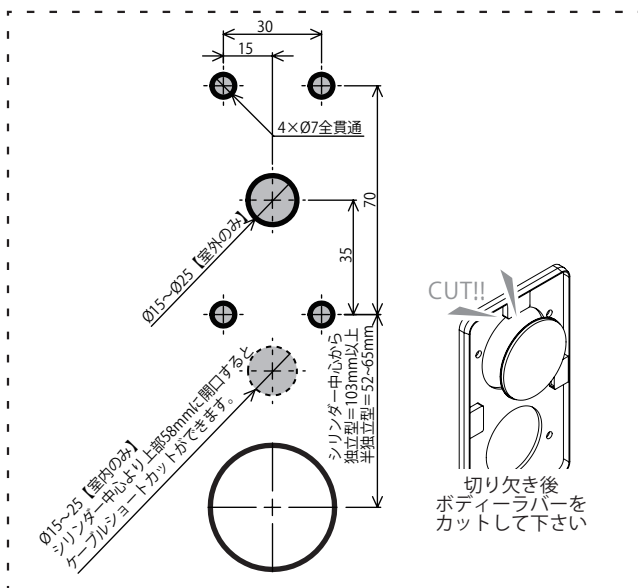
※注意※

ライナーはドア表面より1~2mm突出するように調整してください。
設置後、ドアやボディプレートがたわむ場合やボディプレートがドアに密着していない場合はライナーの枚数を再調整してください。

アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB半独立型)

1. 切り欠き加工

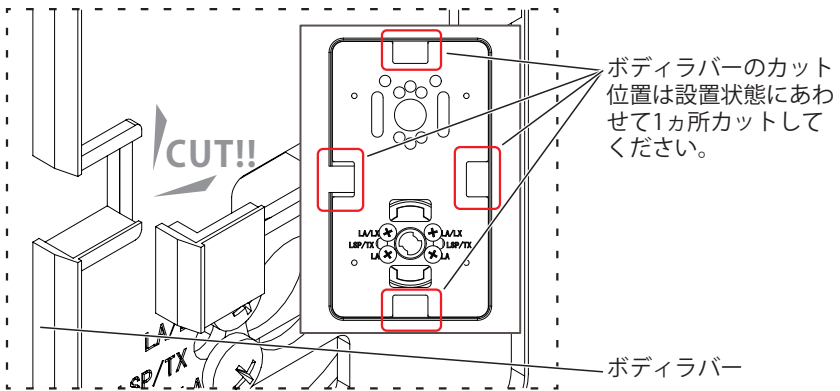
- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB半独立型)

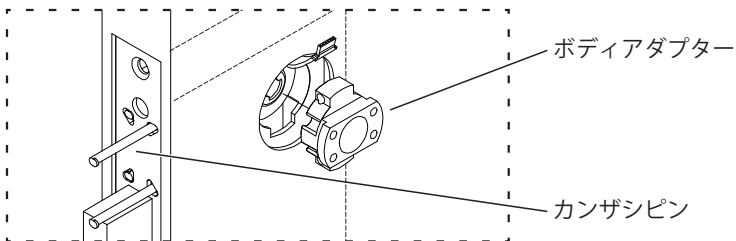
2. ボディプレートの準備

- マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



3. ボディアダプターの取り付け

- ボディアダプターを室内側からドアのシリンダー切り欠き穴に入れ、カンザシピンを2本挿入して固定します。



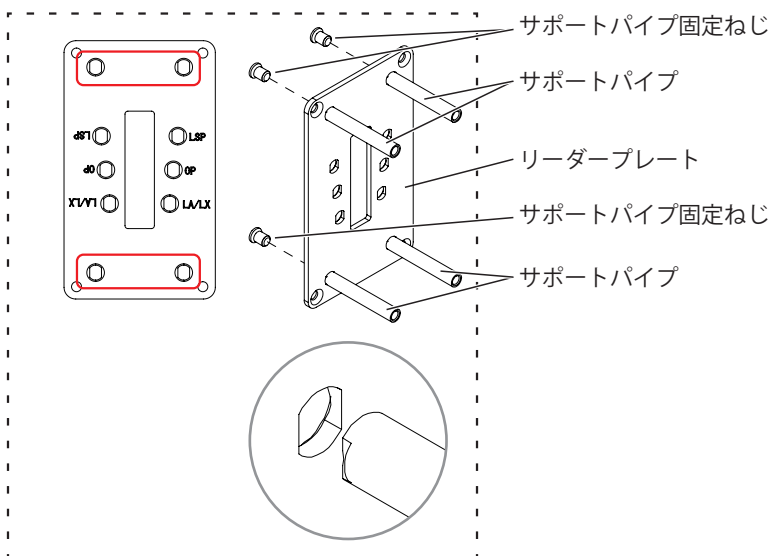
アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB半独立型)

4. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴に合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

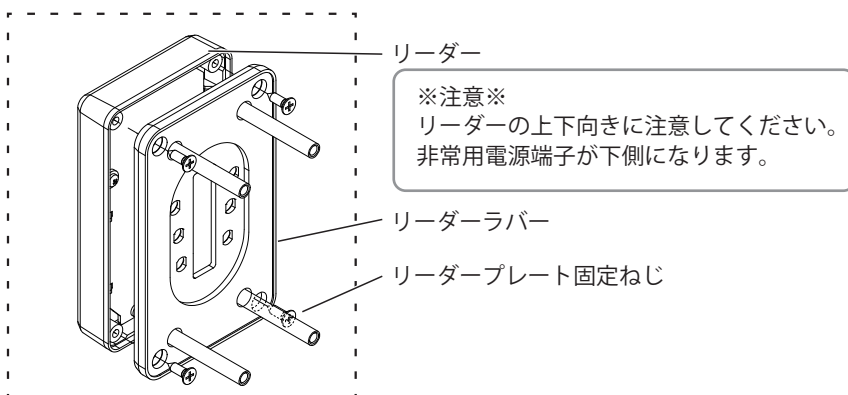


5. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

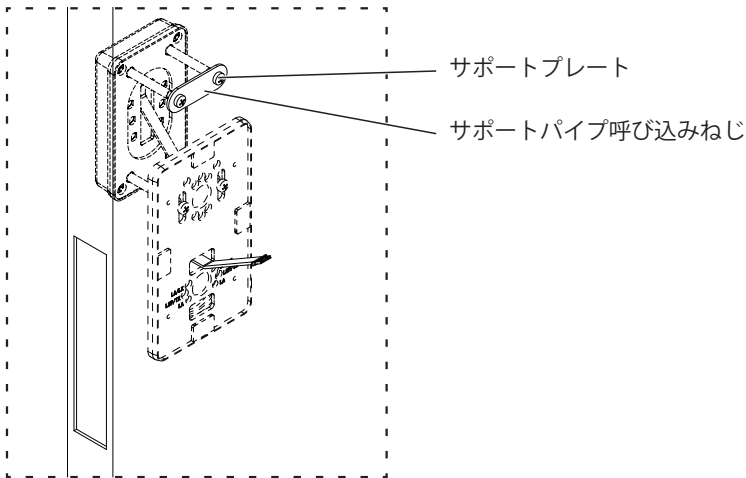


アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB半独立型)

6. リーダーの固定

- ・切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

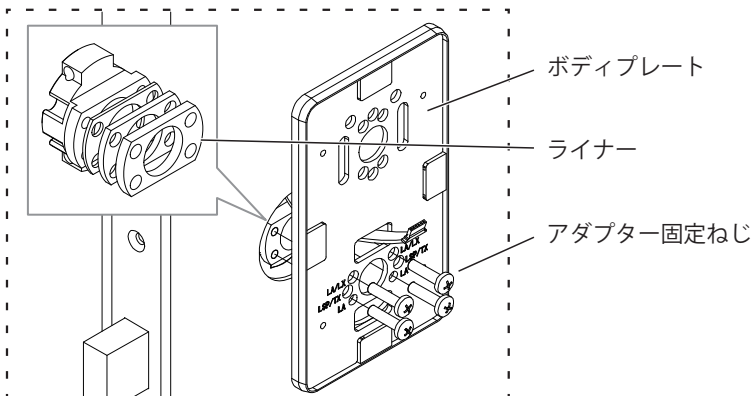
【LSP/LX部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ 2本



7. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通します。
- ・ボディプレートとボディアダプターの間に、ドアの厚みに応じたライナーを挟み、アダプター固定ねじ4本を締め付けます。

【LA部品】アダプター固定ねじ M4×16なべねじ 4本



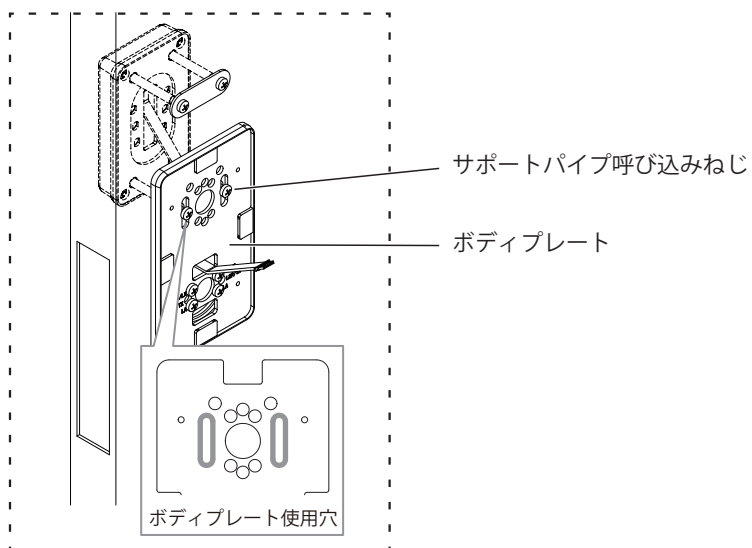
※注意※

ライナーはドア表面より1~2mm突出するように調整してください。
設置後、ドアやボディプレートがたわむ場合やボディプレートがドアに密着していない場合はライナーの枚数を再調整してください。

アウトボディの取り付け(MIWA-LA エマージェンシーB半独立型)

8. リーダーの固定

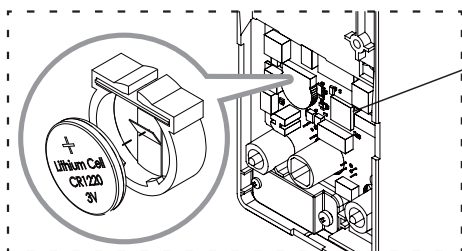
- ボディプレートをサポートパイプ呼び込みねじで固定します。
【LSP/LX部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ 2本



インボディの取り付け

1. ボタン電池の取り付け

- ・ボディ基板にCR1220タイプのボタン電池を取り付けてください。未使用時は電池交換時に内部時計がリセットされますので、電池交換直後に時刻設定を行わないと、時間を使った機能が正しく作動しません。
- ※向きに注意して取り付けてください。

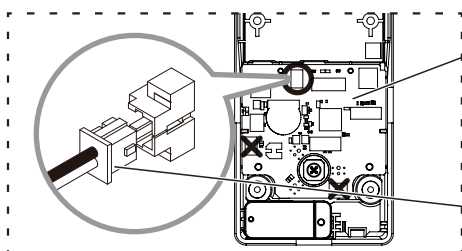


ボディ基板

※注意※
電子部品に触らないようにしてください。

2. マグネットセンサーの取り付け

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、マグネットセンサーのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。
- ※向きに注意して奥まで差してください。



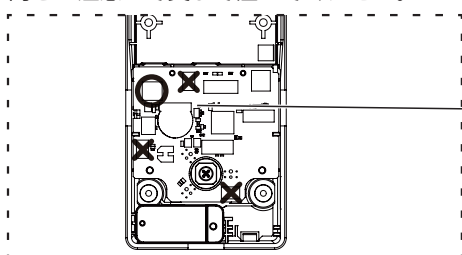
ボディ基板

※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

マグネットセンサーコネクタ

3. ACアダプターの取り付け

- ・ACアダプターを使用する場合は、ACアダプターのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。
- ※向きに注意して奥まで差してください。



ボディ基板コネクタ

※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

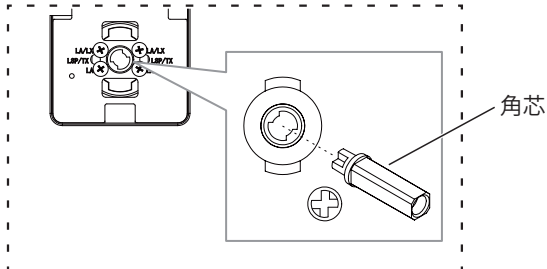
※ACアダプターを使用する場合の注意事項※

- 必ず電池を取り付けてください。ACアダプターのみで運用すると停電時に遠隔操作ができなくなります。
- 定期的に電池を交換してください。長期間入れたままにしておくと液漏れする恐れがあります。

インボディの取り付け

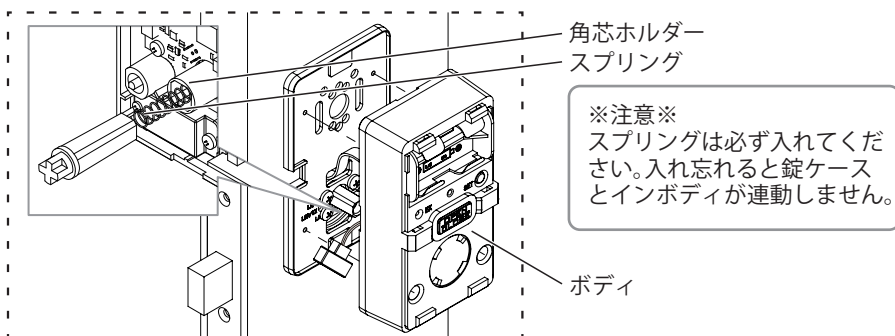
4. 角芯の選定

- 角芯は長さ違いで2種類付属しています。ドア厚に合わせて選定してください。
ドア厚30～42mm・・・角芯S(全長35mm)
ドア厚40～50mm・・・角芯L(全長40mm)
- 錠とボディを連結させる角芯を錠ケースのカム部に差し込みます。
※角芯をドア内部に落下させないようにご注意ください。



5. ボディの仮付け

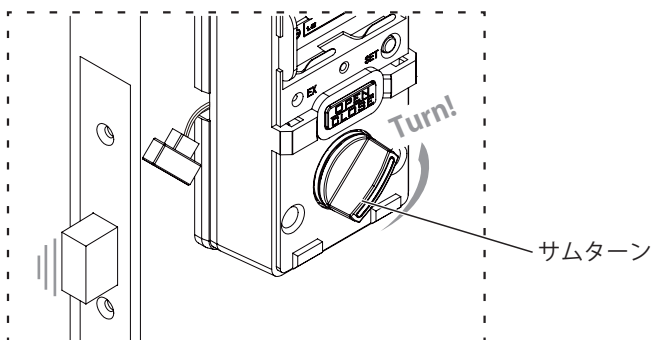
- 角芯ホルダー内にスプリングを入れ、角芯を収納しボディをボディプレートに密着させます。
※ケーブルを挟み込まないように注意してください。



インボディの取り付け

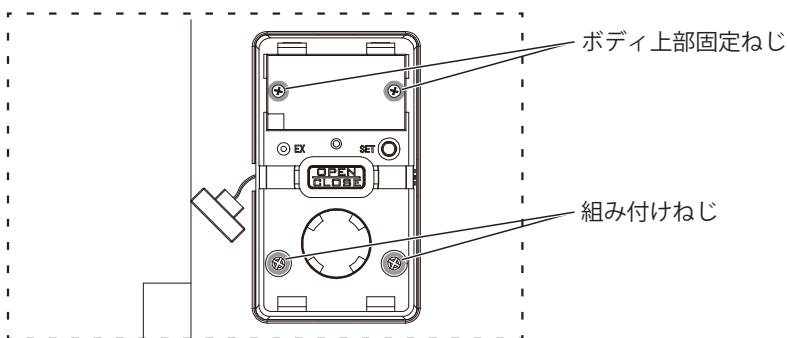
6. サムターン連結確認

- ボディを仮付けした状態でサムターンを付け作動を確認します。サムターンが90°往復で駆動することを確認してください。
- サムターンが動かない場合、一度ボディを外し、ボディのサムターンを90°空回して再度作動を確認してください。



7. ボディの取り付け

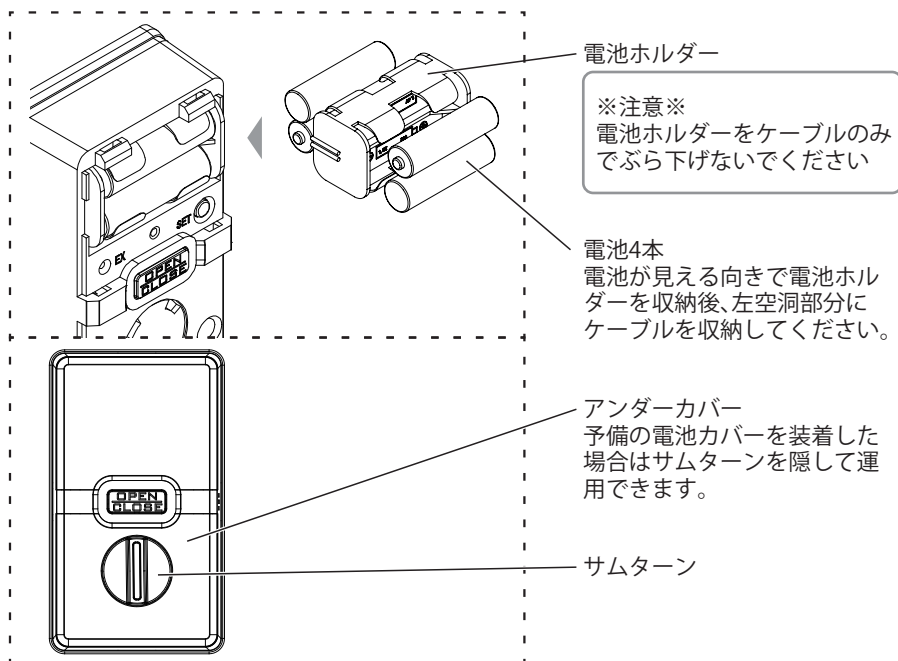
- アンダーカバー内の組み付けねじ2カ所を固定します。
 - 電池ホルダーを取り出し、電池ボックス内の2カ所をボディ上部固定ねじで固定します。
- 【本体部品】ボディ上部固定ねじ M3×8皿ねじ小頭



インボディの取り付け

8. 電池の取り付け

- 電池ホルダーに電池を挿入し電池ボックスに収納し電池カバーを取り付けます。電池ホルダーの収納向きが違う場合、電池カバーが閉まらないのでご注意ください。電池ホルダーの赤いリボンは電池の下に入れてください。電池を取り外すときに使います。リボンを引っ張った状態で電池を挿入すると電池が浮き上がることがあり、電池カバーが閉まらない場合があります。
- アンダーカバーを取り付けサムターンを装着します。

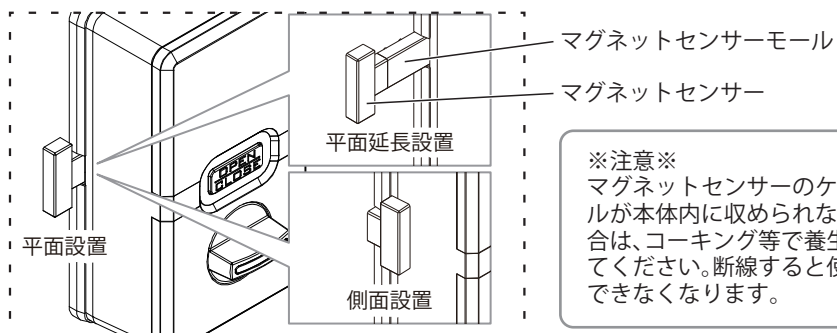


※電池を取り付ける際はインボディのボタンを押さないようにご注意ください。ボタンを押しながら電池を入れるとデバイスの設定が変わります。

インボディの取り付け

9. マグネットセンサーの取り付け

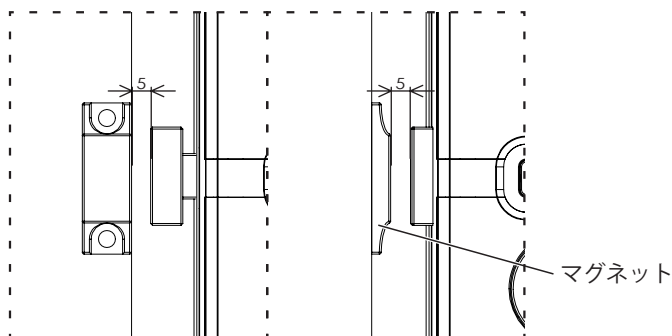
- ・戸当りの環境によりボディ側面設置かドア平面設置を選択してください。
- ・ドア平面設置の場合は戸当りまでの距離によりマグネットセンサーモジュールを必要な長さにカットして位置決めしてください。
- ・余分なマグネットセンサーのケーブルは隙間より本体内に収めてください。
- ・マグネットセンサー裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットセンサーを貼り付けてください。



※注意※
マグネットセンサーのケーブルが本体内に収められない場合は、コーキング等で養生してください。断線すると使用できなくなります。

10. マグネットの取り付け

- ・マグネットを取り付ける前に、取り付け位置でマグネットセンサーが正しく検知することを確認してください。一度ドアを開いて、ドアを閉じるときに「ブツ」と音が鳴ればマグネットセンサーが検知しています。
- ・マグネット裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットを取り付けてください。マグネットはマグネットセンサーにできるだけ近づけて取り付けてください。(5mm以内)



11. アウトボディの保護フィルムを剥がす

- ・設置が終わったらアウトボディの保護フィルムを「2枚」剥がしてください。

※注意※
保護フィルムを付けたまま使用すると、フィルムが変質して剥がせなくなる場合があります。

デバイスの設定

1.コントローラーへの登録

スマートロックをスマートフォンアプリから操作するには、Z-Wave対応コントローラーに登録する必要があります。

- ・スマートフォンアプリをインストールしてください。
- ・アプリの案内に従ってコントローラーに登録してください。

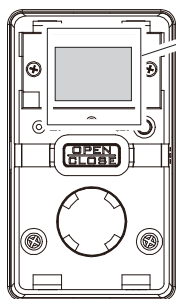
●スマートスタート対応のコントローラーの場合

製品に表示されているQRコードをスマートフォンアプリで読み取ると自動で登録します。スマートフォンアプリの案内に従って操作してください。

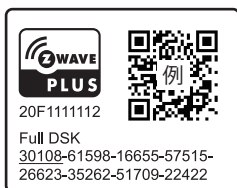
QRコードは電池ボックス内部と梱包箱に表示されています。どちらかのQRコードを読み取ってください。

QRコードを読み取ったあとは、本体を起動したまましばらくお待ちください。

スマートフォンアプリで登録が完了したことを確認してください。



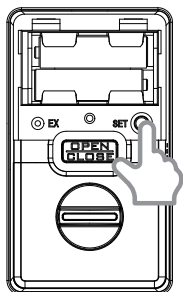
QRコード表示場所



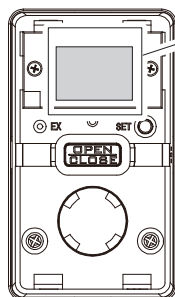
●スマートスタート非対応のコントローラーの場合

コントローラーをデバイス登録モード(AddまたはInclusionモード)にしてください。操作方法はコントローラーまたはスマートフォンアプリの取扱説明書をお読みください。

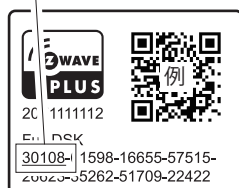
- ①インボディのSETボタンを約5秒長押しするとピピッと鳴り、登録動作を開始します。



- ②PINコードの入力を求められた場合は、QRコードの下に記載されている数字の最初の5桁を入力してください。操作アプリで登録が完了したことを確認してください。



PINコード表示場所
下線のある5桁です。



※上図はサンプル例です。

デバイスの設定

2. デバイスの設定

- ・アプリの案内にしたがって、デバイスの設定を行ってください。
- 使用するアプリによって設定できる項目が異なる場合があります。
- ※設定項目はデバイスのバージョンアップにともない追加・削除・変更される場合があります。

【扉勝手】※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右勝手(初期値)・・・室外側に立ち、丁番が右の場合

左勝手・・・室外側に立ち、丁番が左の場合

【音量】

ミュート / 小 / 中(初期値) / 大 ※ミュートでも警告音は鳴動します。

【施錠モード】

モードの種類	マグネットセンサー有り	マグネットセンサー無し
自動施錠-S(初期値)	ドアが閉まってから3秒後	解錠から15秒後
自動施錠-L	ドアが閉まってから6秒後	解錠から30秒後
手動	手動(テンキー長押しで施錠できます)	
施解錠繰返し	手動(テンキー長押しでは施錠できません。室外側で施錠する場合はICカードかPINコードで操作してください。)	

【サムターン操作後連続解錠】

オン(初期値)・・・連続解錠(自動施錠-Sまたは-Lのときでも自動施錠しません)

オフ・・・自動施錠(施錠モードが自動施錠-Sまたは-Lのとき)

【O/Cボタン】

有効(初期値)・・・O/Cボタンが使用できます

無効・・・O/Cボタンは使用できません

【メイン/サブ切替】

ダブルロックで使用される場合、主錠でない方を【サブ】に設定してください。両方ともメインまたは両方ともサブでは正常に動作しません。

扉勝手はメインとサブで同じ設定にしてください。設定が異なると、メインとサブで施解錠動作が反転します。

メイン(初期値)・・・主錠

サブ・・・補助錠

サブに設定した場合、下記設定は自動で変更されます。

施錠モード:手動

マグネットセンサー:無し

【マグネットセンサー】

有り(初期値)・・・ドアの開閉を検知します

無し・・・ドアの開閉を検知しません

【モーター出力】

普通(初期値)・・・通常のトルクで駆動

強力・・・強力なトルクで駆動

【ランダムテンキー桁数】

テンキーを起動する前に表示されるランダムテンキーの桁数を設定します。

なし / 2桁(初期値) / 4桁 / 6桁

【通信待機設定】

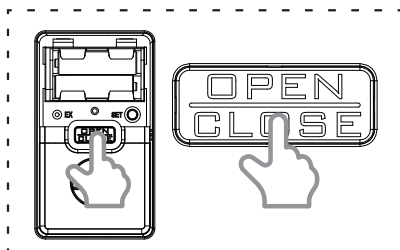
ON(初期値)・・・Bluetooth通信機能がON

OFF・・・Bluetooth通信機能がOFF

デバイスの設定

3. インボディでの設定変更

- ・インボディのボタンを押した状態で電源を入れることで設定を変えることができます。スマートフォンアプリがない場合でも下記項目の設定が可能です。



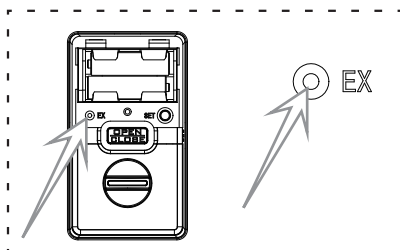
【扉勝手】O/Cボタン

※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右設定 (初期値)・・・室外側に立ち、
丁番が右の場合

↓↑
左設定

・・・室外側に立ち、
丁番が左の場合



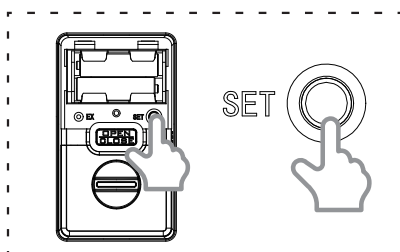
【音量】EXボタン (細長いもので押しください)

中音量 (初期値) ←

↓
大音量

↓
ミュート

↓
小音量



【マグネットセンサー】SETボタン

あり (初期値)・・・ドアの開閉を検知する

↓↑
なし

・・・ドアの開閉を検知しない

上記手順を行い設定が変更されると「設定を終了します」とアナウンスが流れます。各種希望の設定になるまで繰り返し行い、最終的に動作を確認してください。

2つの設定を同時に変更することはできません。

デバイスの設定

4. 通信待機設定

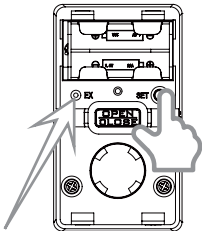
本体内蔵のBluetooth通信機能のON/OFFを切り替えます。
Bluetoothアプリを使用しない場合にOFFにすることで電池の持ちが良くなります。

①通信待機設定

電池カバー内のEXボタンとSETボタンを同時に3秒間押します。

ON ⇒ OFF または OFF ⇒ ON へ現在の状態を変更します。

※EXボタンは細長い物で押してください。



スマートロック

LOCK Pro

ZSL10

工事説明書
MIWA-LSP 用

株式会社アクセルラボ



目次

正しく工事していただくために	1
商品構成	2
取り付け前に確認していただくこと	3
MIWA-LSPへの取り付け	6
標準	7
エスカッション	10
エマージェンシーA	14
エマージェンシーB独立型	18
エマージェンシーB半独立型	21
インボディの取り付け	24
デバイスの設定	29



正しく工事していただくために

取り付けの際、お守りいただく内容です。

この「工事説明書」では、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、この「工事説明書」をお読みいただくようお願い申し上げます。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

- ⊙ 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締め過ぎやネジ穴がつぶれるなどの破損の原因となります。
- ⊙ 高温になる場所(火や暖房器具のそば、直射日光の当たる場所)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ⊙ 水などの液体をかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊙ 金属・紙・その他異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⊙ 電源を入れたまま工事をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。医用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により医用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- ⊙ 分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・傷害の原因となります。また、改造した製品を使用した場合、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。
- ❗ 液漏れして皮膚や衣服に附着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に附着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

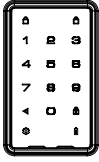
⚠ 注意

- ⊙ 風呂場などの湿気の多い場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ⊙ アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤をかけないでください。印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。
- ⊙ 強い衝撃や振動が加わる場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。
- ⊙ 強力な電氣的ノイズおよび電磁波のある場所には取り付けしないでください。誤動作・故障の原因となります。

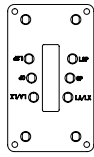
商品構成

取り付け作業前に欠品がないことを必ずご確認ください。

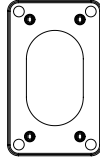
■アウトボディ



リーダー

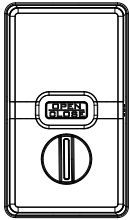


リーダープレート

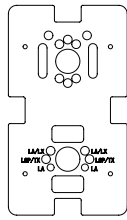


リーダーラバー

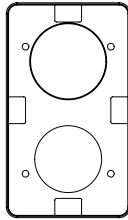
■インボディ



ボディ



ボディプレート

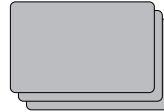


ボディラバー

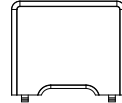
■ICカード



DESFireカード



Ultra Lightカード



電池カバー

【LA部品】パック



リーダーアタッチメント



リーダープラグ

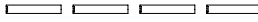
アタッチメントネジ
M6×14 皿ネジ 1本

ボディアダプター

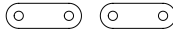
アダプターライナーセット(黒色)
(1mm/2mm/3mm/4&8mm)プラグ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 2本アダプター固定ネジ
M4×16 なべネジ 4本

組み付けられています

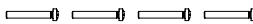
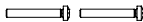
【LSP/LX他部品】パック



サポートパイプ 4本



サポートプレート 2枚

サポートパイプ固定ネジ
M4×6 皿ネジ小頭 4本サポートパイプ呼び込みネジ
M4×28 なべネジ 4本シリンダー固定ネジ-S
M5×40 なべネジ 2本シリンダー固定ネジ-L
M5×45 なべネジ 2本

【本体部品】パック



マグネットセンサー



マグネット



マグネットセンサーモジュール



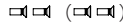
角芯-S



角芯-L



スプリング(予備1)

リーダープレート固定ネジ
ST2.9×8 皿タッピングネジ 4本ボディ上部固定ネジ(予備2)(黒色)
M3×8 皿ネジ小頭 4本マグネット固定ドリリングネジ
ST4.2×16 なべドリリングネジ 2本

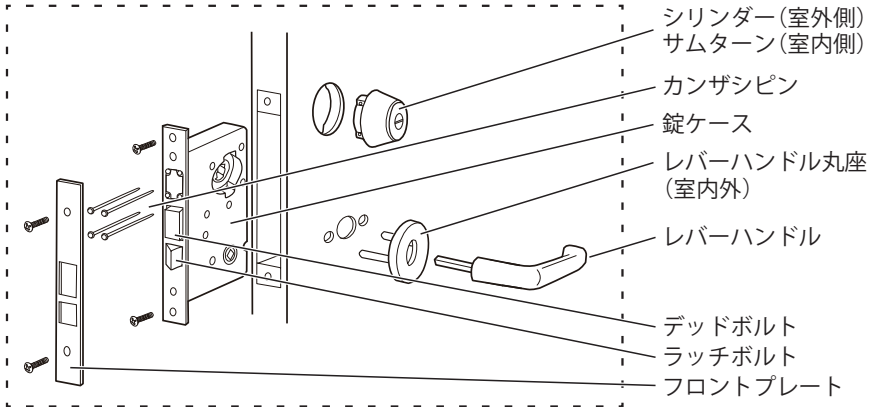
取り付け前に確認していただくこと

1. 既設錠前の作動確認

錠ケースやレバーハンドル(シリンダー)の作動が良好か、良く確認したうえで取り付け作業に入ってください。

- ・ドアを閉めた状態でラッチボルトがしっかり掛かり、デッドボルトが受けと干渉せずなめらかに動くか。
- ・ドアの開閉でドアと枠が当たらないか。
- ・ドアクローザーの力でラッチボルトが掛かるまでドアが閉まるか。
- ・サムターンが90度回転し、作動終わりにバネの力が働いてクリック感があるか。
- ・摩耗、ガタツキ、変形、サビ、腐食などはないか。

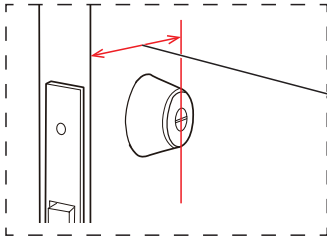
※上記他、問題点がある場合は製品が正常に作動しない場合があります。
メンテナンスや交換等は、専門業者に依頼をしてください。



取り付け前に確認していただくこと

2. バックセット

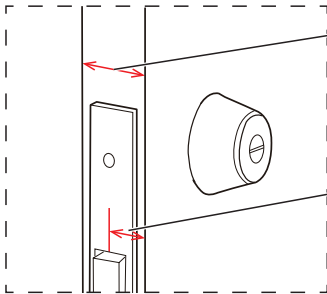
- 設置場所のバックセットを確認してください。
対応バックセット: 51mm または 64mm 以上



バックセット
(フロント面からシリンダー中心までの長さ)

3. ドア厚の確認

- 設置場所のドア厚を確認してください。
戸先側に煙返しなどがある場合は吊元側で採寸してください。
- デッドボルトのセンターがドアのセンターにあるか確認してください。
デッドボルトが室内側または室外側に寄っている場合があります。
その場合は使用する部品の組み合わせが変わることがあります。



ドア厚
対応ドア厚: 30~50mm

デッドボルトセンターの位置

デッドボルトとドアのセンターが異なる場合の例

- 錠ケース: MIWA-LAタイプ
- ドア厚: 40mm
- デッドボルトセンター: 室内側から15mm

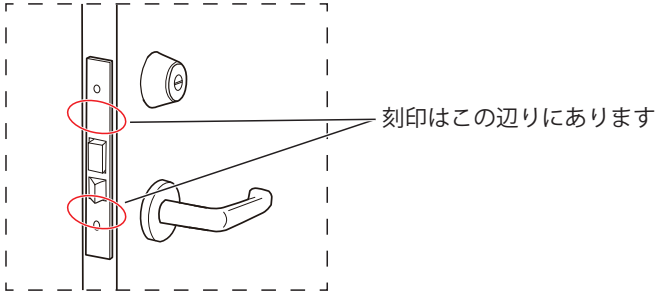


室内側はドア厚30mmとみなし、リーダープラグは
ドア厚30mm~42mmの向きで使用する。
室外側はドア厚50mmとみなして角芯Lを使用する。

取り付け前に確認していただくこと

4. 錠前の種類

- 錠前メーカーと錠前の種類(型番)を確認してください。
種類によって設置方法が異なります。刻印はドア側面にあります。



MIWA製 : LA・MA / LASP / WLA / 13LA / LAF / LV / LVF / MV / MVF / PPVF / PPF /
DA / DASP / DV / DVF / LDA / FG

U-Shin製 : SLA

Clavis製 : LC・MC / CD

⇒MIWA-LAタイプの工事説明書を参照ください。

MIWA製 : LSP / SWLSP / GAF / LE-xx / TE-xx

LIXIL製 : QDD-xxx / QDJ-xxx / QDK-xxx / QDC-xxx / QDV-xxx / QDN-xxx

三協アルミ製 : FE

⇒MIWA-LSPタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : AS・LX / LG / LGK / PL / PLK / LD / LDK / HD / SX

⇒GOAL-LXタイプの工事説明書を参照ください。

GOAL製 : TX / TTX / TLX / TXK / SK / GK / GD / GG

⇒GOAL-TXタイプの工事説明書を参照ください。

MIWA-LSPへの取り付け

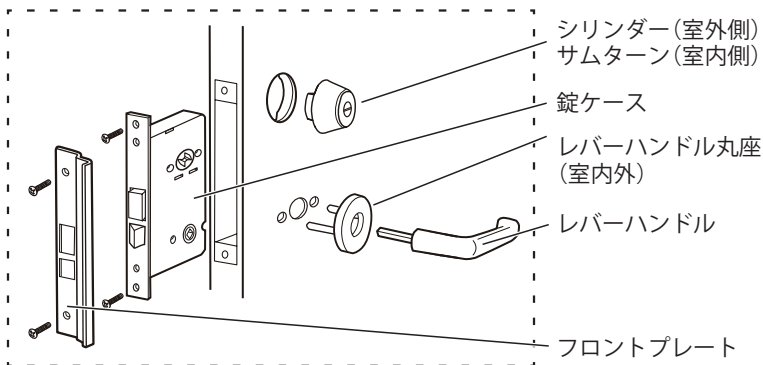
1. 設置タイプの確認

室外側の設置タイプによって施工方法が異なります。該当する設置タイプの工事説明書を参照してください。

シリンダーを使用しない	A. 標準タイプ
シリンダーとアウトボディを併用する	B. エスカッションタイプ MIWA製のみ取り付けできます。 シリンダーカラーが直径45mm以下かつシリンダーとドアの隙間を3mm以上作れること。 ※LIXIL製、三協アルミ製は取り付けできません。
	C. エマーゼンシータイプ ドアに取り付け穴の加工が必要です。
シリンダーを使用する	D. インボディタイプ 既設錠前からサムターンのみを取り外してください。

2. 既設錠前の取り外し

- ・サムターンのねじを2本外して、サムターンとシリンダーを取り外します。ねじが露出していないタイプは、サムターンのカバーを取り外すとねじがあります。
- ・室内側レバーハンドル根元のねじを緩め、室内外レバーハンドルを外します。
- ・室内側レバーハンドル丸座を外します。(ツメ式・ねじ込み式等あり)
- ・ドア側面のフロントプレートを外します。
- ・丸座内部のねじ2本を外し、室内外の丸座を外します。
- ・ドア側面のねじ2本を外し、錠ケースを取り外します。



※注意※

作業時はドアストッパーを使用して、ドアが閉まらないようにしてください。

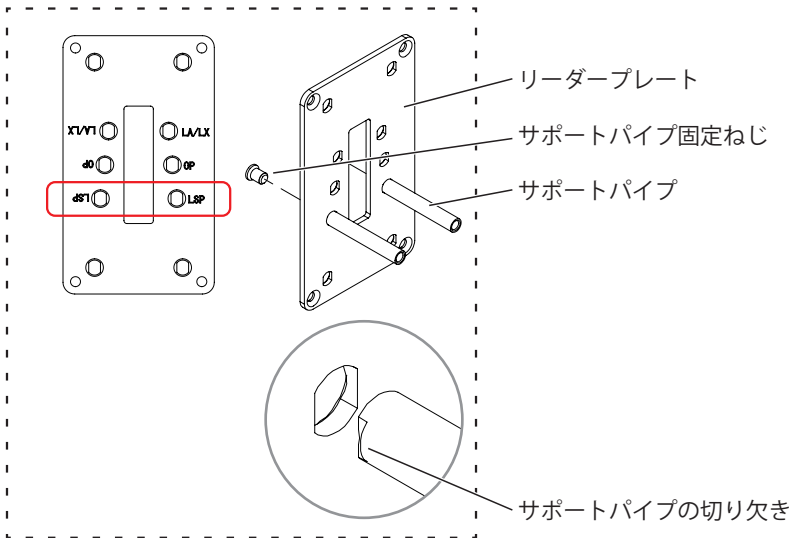
アウトボディの取り付け(MIWA-LSP 標準)

1. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートにLSP刻印がある位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

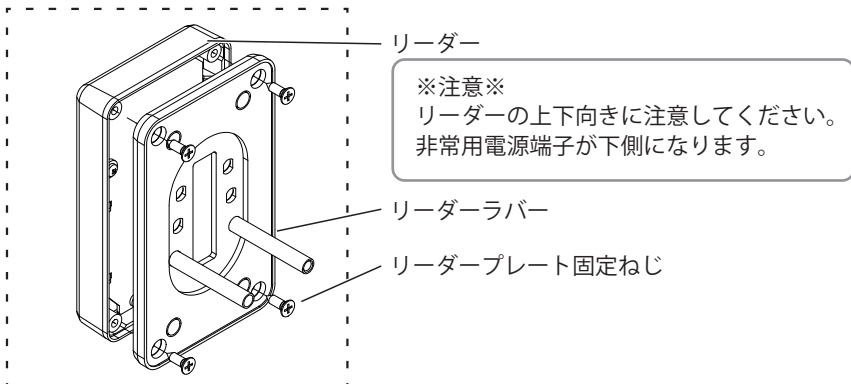
ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 2本



2. リーダープレートの取り付け

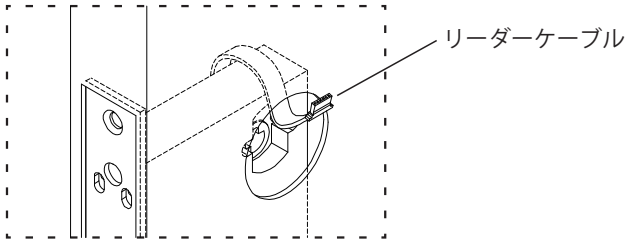
- リーダーにリーダープレートを取り付けます。
リーダープレートの天地を入れ替えることでアウトボディの設置位置を調整できます。
【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本
- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。



アウトボディの取り付け(MIWA-LSP 標準)

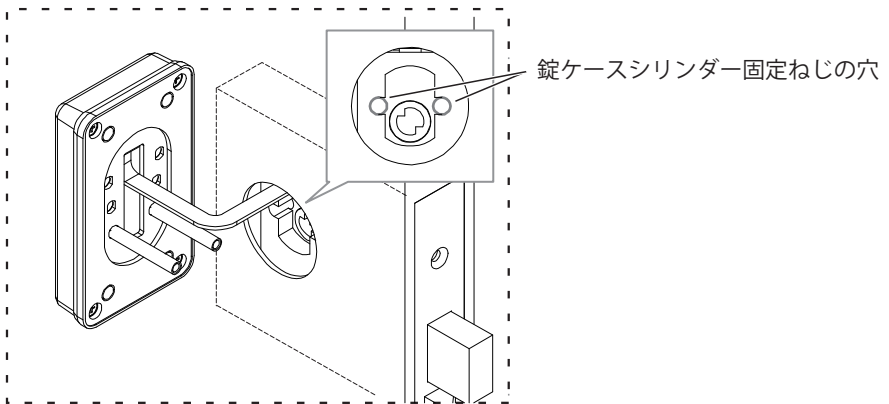
3. ケーブルの通線

- ドアのシリンダー切り欠き穴からリーダーケーブルを通線します。錠ケースの上部にケーブルが通るように調整し、錠ケースを取り付けます。
錠ケースの取り付け方法は『既設錠前の取り外し』を参考にしてください。



4. リーダーの固定

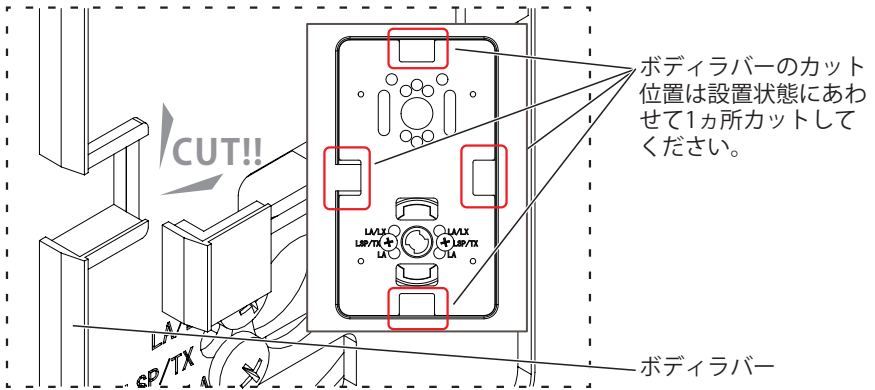
- 錠ケースシリンダー固定ねじが通っていた穴に、リーダーのサポートパイプを通します。



アウトボディの取り付け(MIWA-LSP 標準)

5. ボディラバーのカット

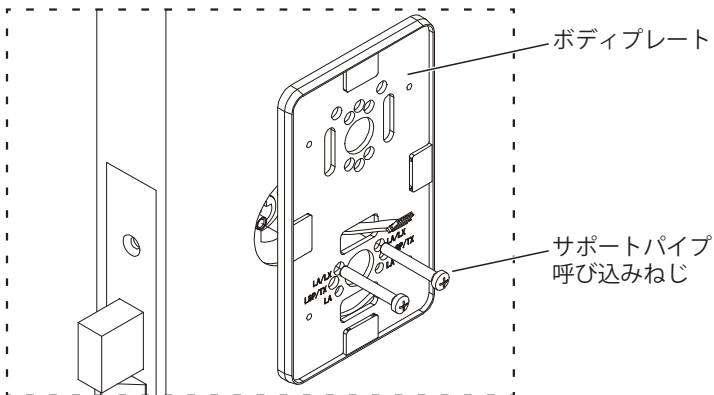
- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



6. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通し、サポートパイプとボディプレートをサポートパイプ呼び込みねじ2本を締め付けます。

【LSP/LX部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ



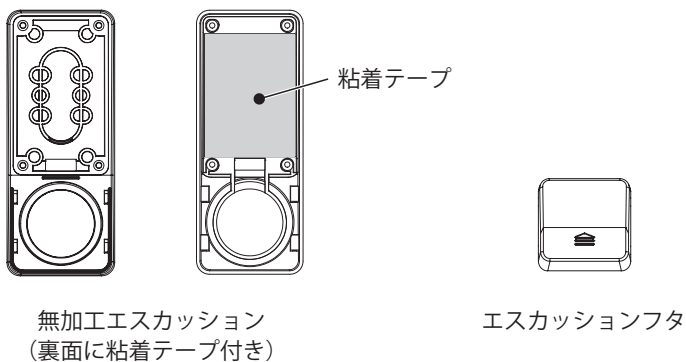
※注意※

ボディプレートを強く締め付けすぎると歪みや、変形、作動不良の原因となります。

アウトボディの取り付け (MIWA-LSP エスカッション)

1. 商品構成

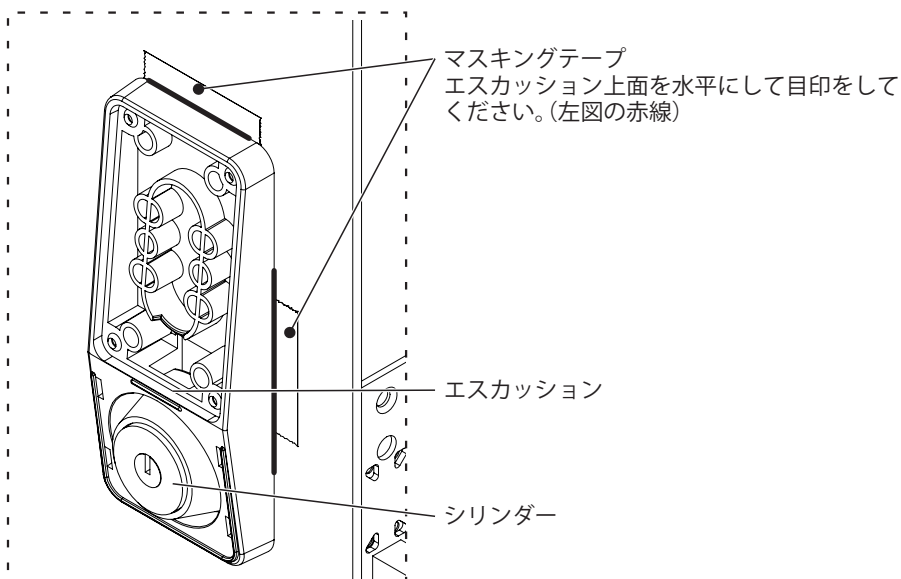
取り付け作業前に欠品がないことを必ずご確認ください。



※作業の前に※
シリンダーホール上部をシリンダーからはみ出さない範囲でヤスリ等で広げることで、通線やシリンダー取り付け作業が行いやすくなります。

2. 仮止め

- ・ドアの汚れ等を水拭きでしっかりと拭き取ります。
- ・エスカッション単体でシリンダーに挟み込み、仮止めします。
- ・仮止めしたエスカッションの位置にマスキングテープ等で目印をします。

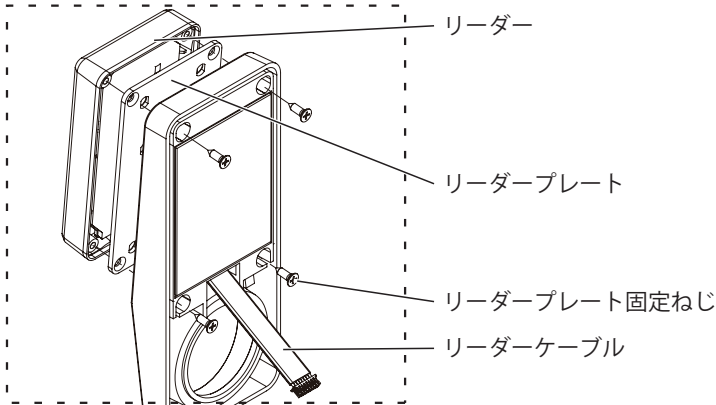


アウトボディの取り付け (MIWA-LSP エスカッション)

3. リーダーの取り付け

- ・仮止めしたエスカッションを取り外します。
- ・リーダーからリーダーラバーを外し、リーダープレート固定ねじを外します。
- ・リーダーケーブルをエスカッションの穴に通し、リーダープレート固定ねじでリーダーをエスカッションに固定します。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

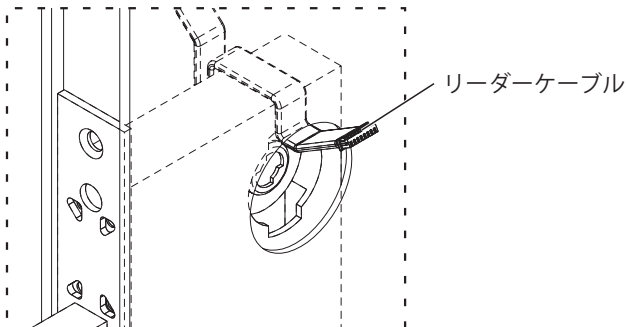


※注意※

リーダーの上下向きに注意してください。非常用電源端子が下側になります。
リーダープレートは必ず使用してください。
リーダーラバーは使用しません。

4. ケーブルの通線

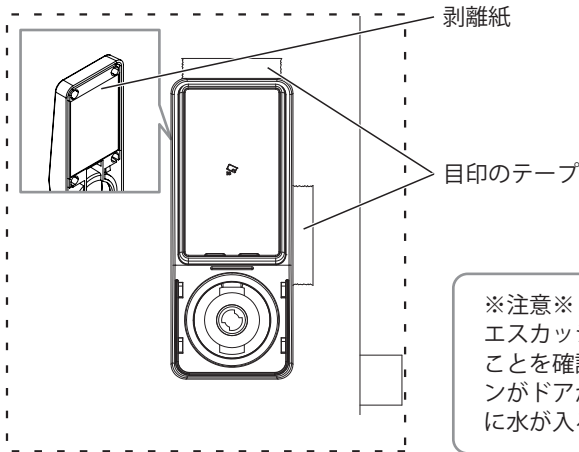
- ・リーダーケーブルをエスカッションの溝に収め、ドアの切り欠き穴から室内側へ通します。



アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エスカッション)

5. ドアへの貼り付け

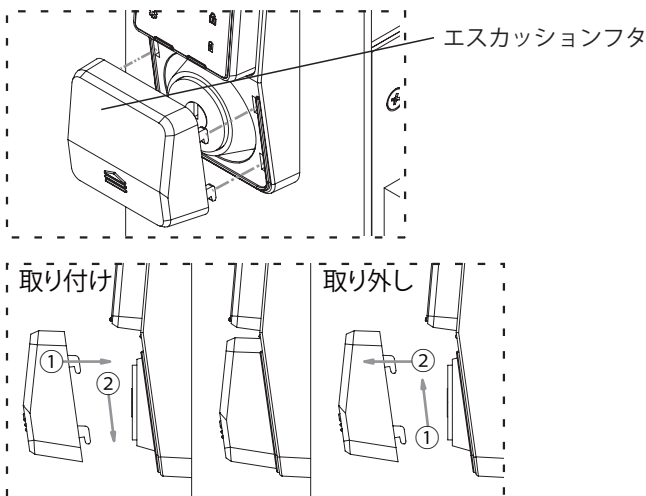
- 粘着テープ裏の剥離紙を剥がし、目印に合わせてドアにしっかり押し付けて貼り付けます。
- 目印のテープを剥がします。
- シリンダーを取り付けます。シリンダーは室内側からねじ止めます。
「7.ボディプレートの取り付け」を参照してください。



※注意※
エスカッションがドアに密着していることを確認してください。エスカッションがドアから浮き上がっていると、内部に水が入る恐れがあります。

6. エスカッションフタ

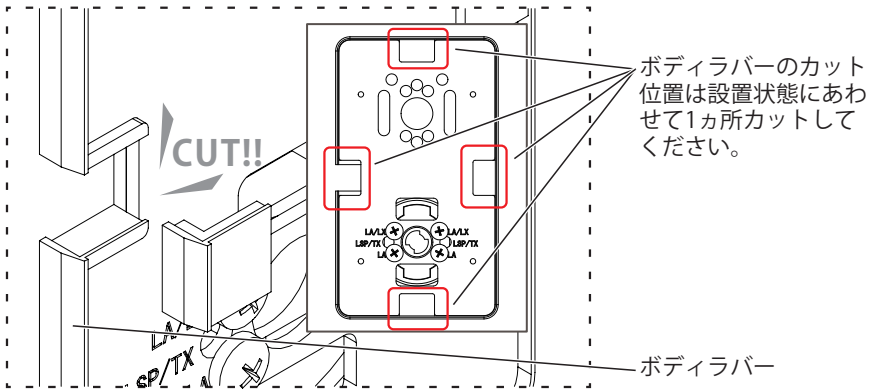
- エスカッションフタをご使用になる場合は、施工後の動作確認が完了してから取り付けてください。
- エスカッションフタの爪をエスカッションの穴に入れ、下にバチンと鳴るまでスライドさせて取り付けます。
- 取り外すときは、エスカッションフタを上へスライドさせて外してください。



アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エスカッション)

7. ボディプレートの取り付け

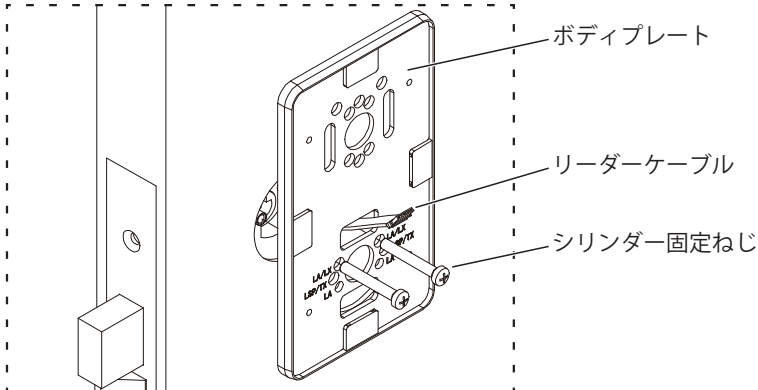
- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



MIWA-LSP
エスカッション

8. ボディプレートの取り付け

- ・リーダーケーブルをボディプレートの角穴から通します。
 - ・シリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。
- 【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ2本
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ2本



※注意※

ボディプレートを強く締め付けすぎると歪みや、変形、作動不良の原因となります。また、上部の粘着テープが剥がれやすくなる場合があります。

アウトボディの取り付け (MIWA-LSP エマージェンシー)

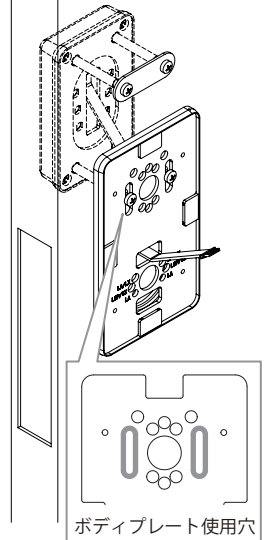
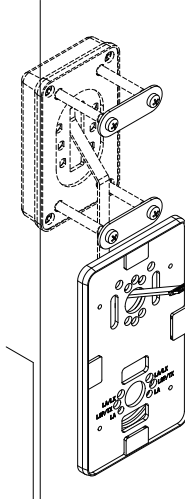
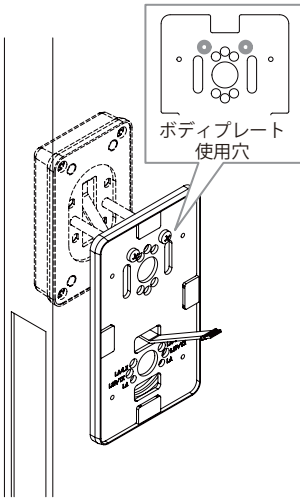
1. 取り付けタイプの選定

- ・エマージェンシータイプは、タイプA、タイプB独立型、タイプB半独立型の3種類の取り付けができます。取り付けタイプによってアウトボディの設置位置が変わります。ドアに開ける穴の位置が異なりますのでご注意ください。
- ・現場の取り付けタイプに合わせた工事説明書を参照ください。

タイプA

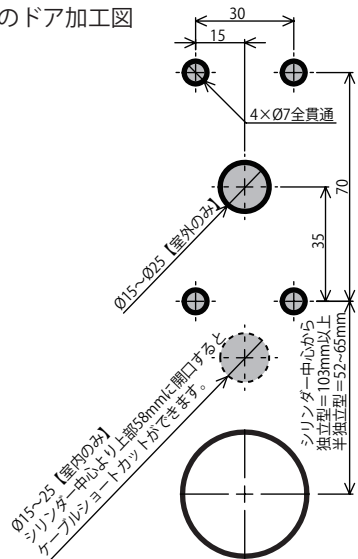
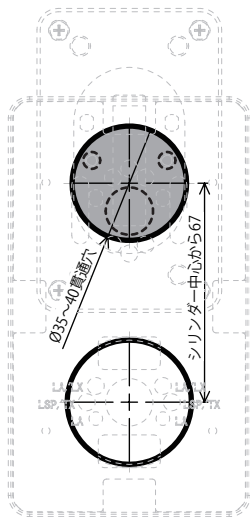
タイプB独立型

タイプB半独立型



タイプAのドア加工図

タイプBのドア加工図

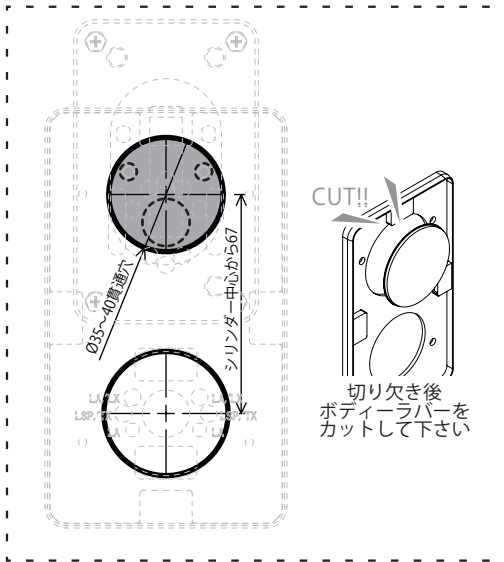


MIWA-LSP
エマージェンシー

アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エマージェンシーA)

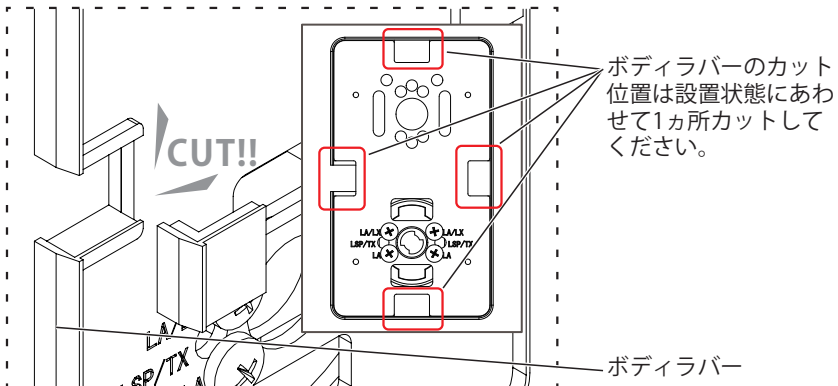
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



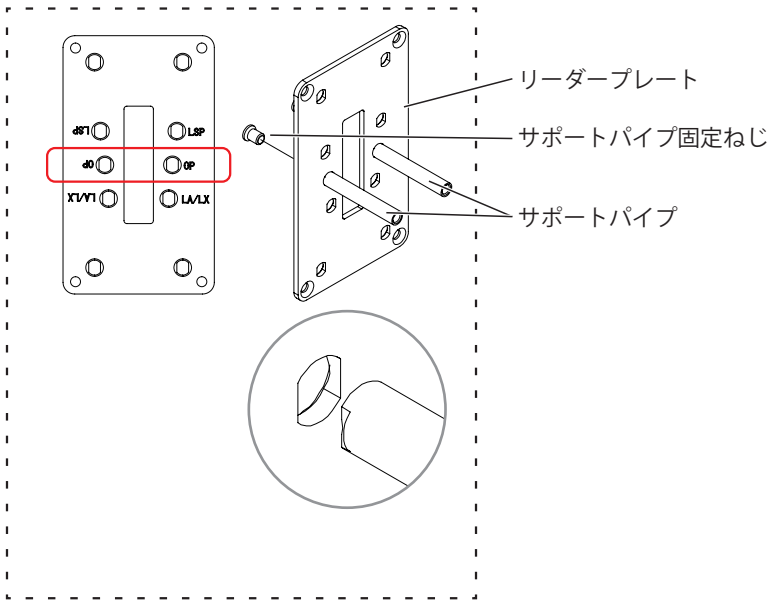
アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エマージェンシーA)

3. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートのOP刻印がある位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭2本

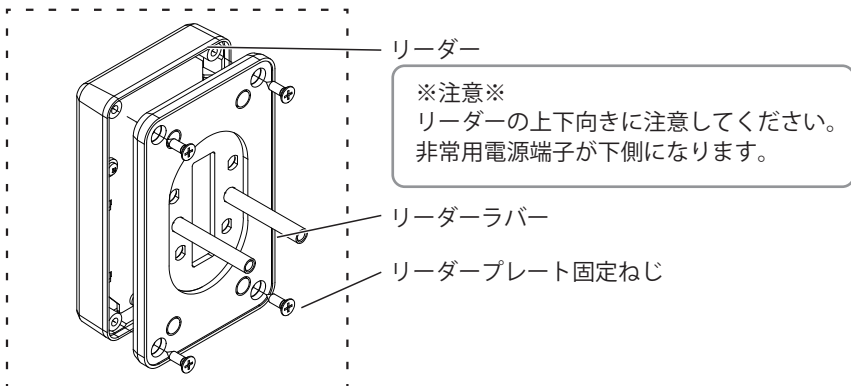


4. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。

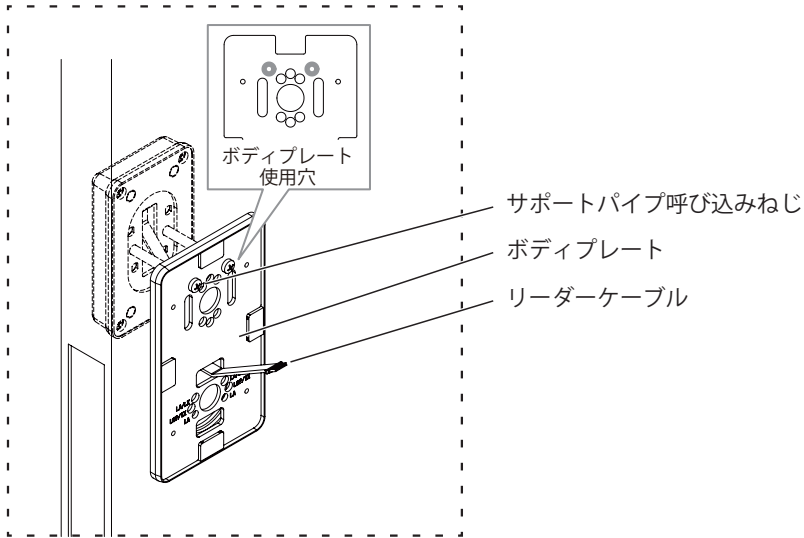


アウトボディの取り付け (MIWA-LSP エマージェンシーA)

5. リーダーの固定

- ・切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、ボディプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ

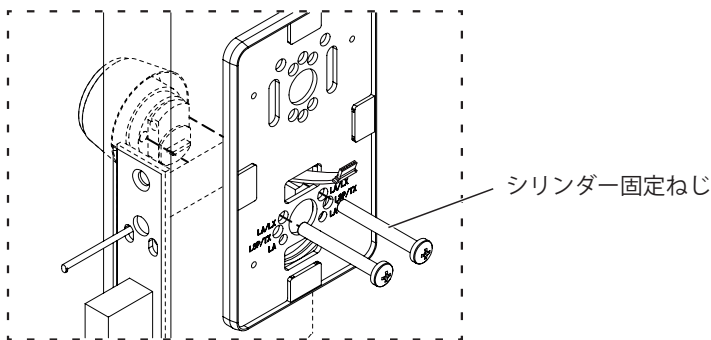


6. ボディプレートの固定

- ・既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

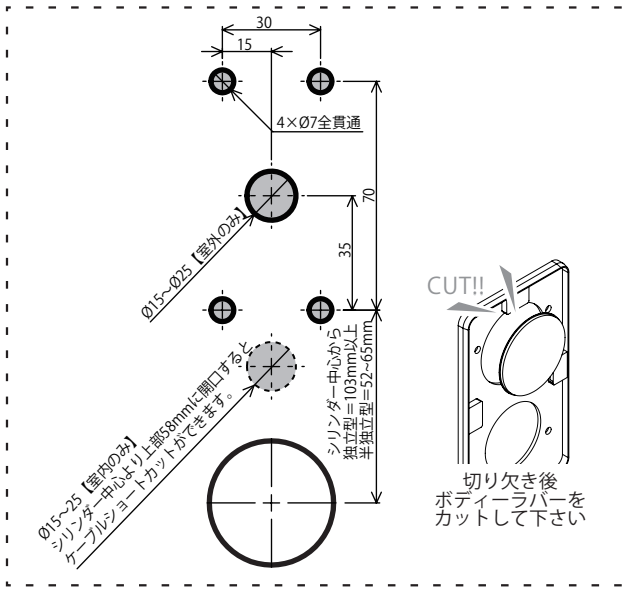
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



アウトボディの取り付け (MIWA-LSP エマージェンシーB独立型)

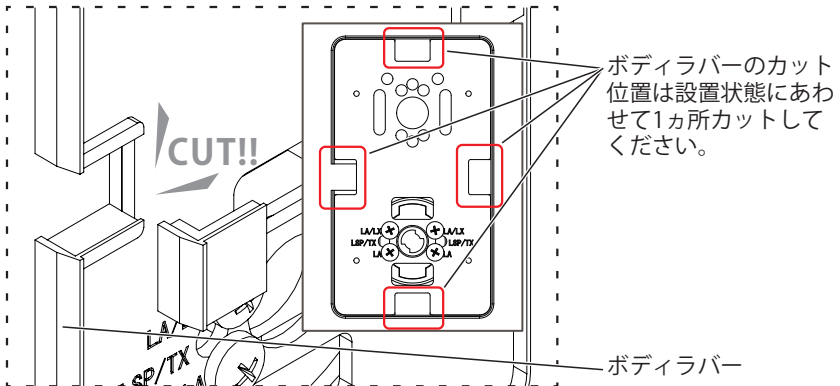
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



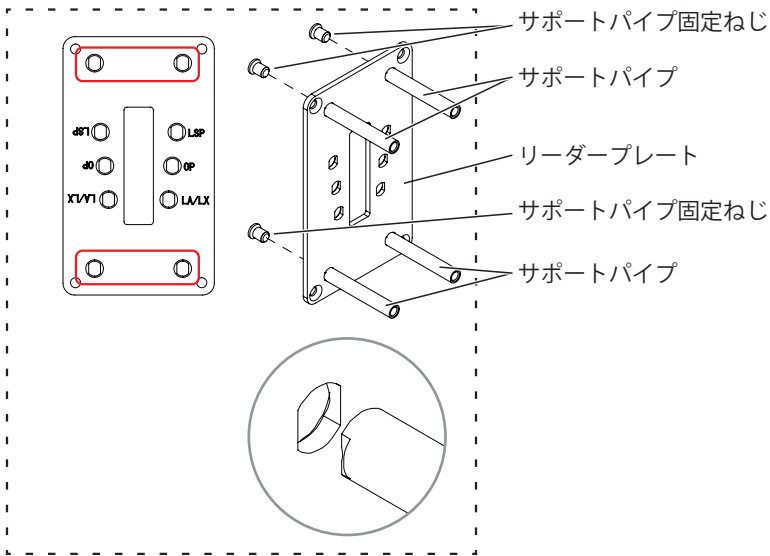
アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エマージェンシーB独立型)

3. サポートパイプの取り付け

・リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

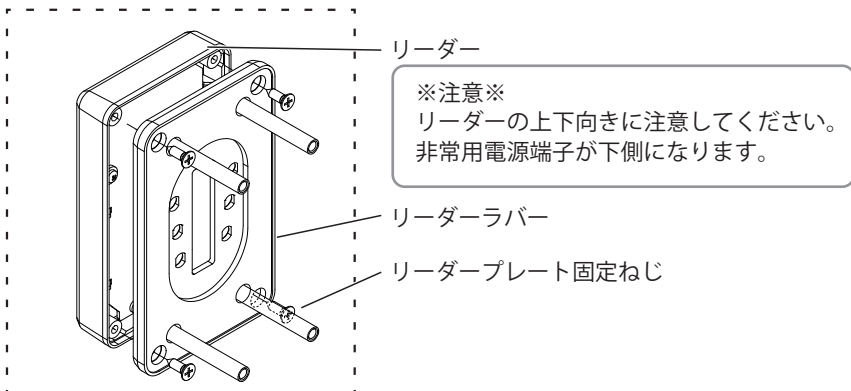


4. リーダープレートの取り付け

・リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

・リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

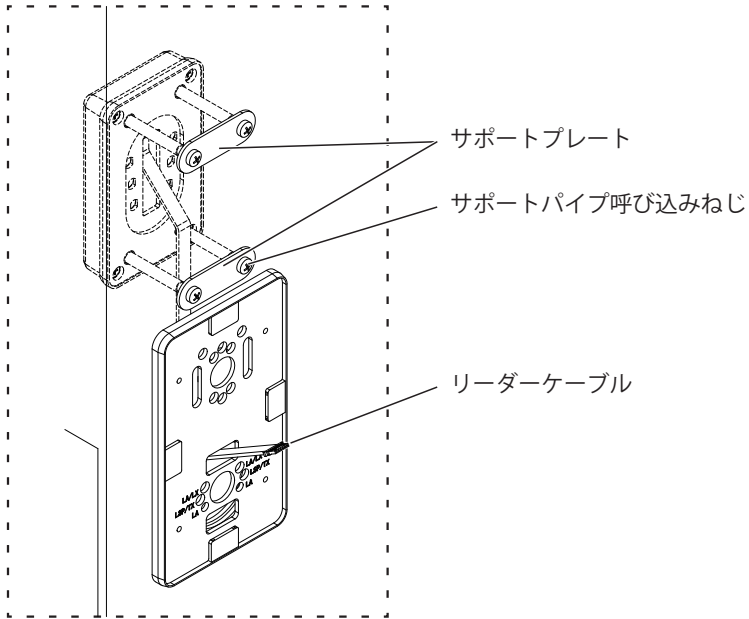


アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エマージェンシーB独立型)

5. リーダーの固定

- ・切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ 4本



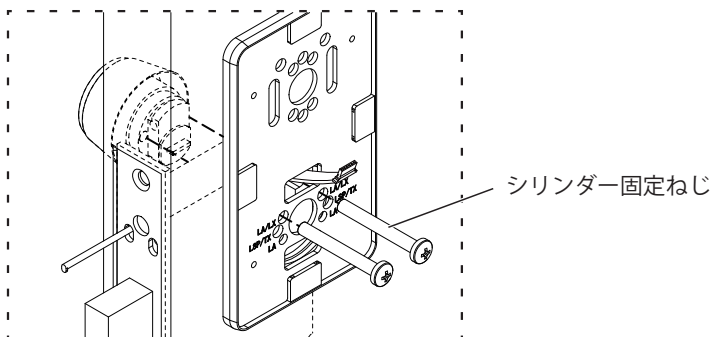
MIWA-LSP
B独立型

6. ボディプレートの固定

- ・既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

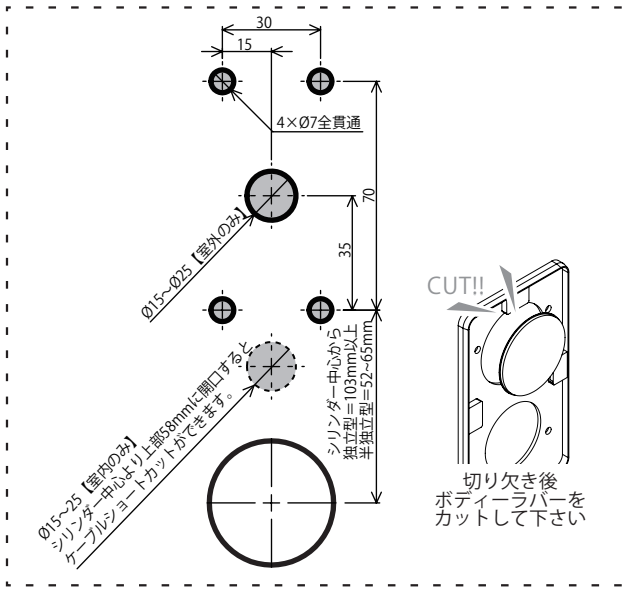
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



アウトボディの取り付け (MIWA-LSP エマージェンシーB半独立型)

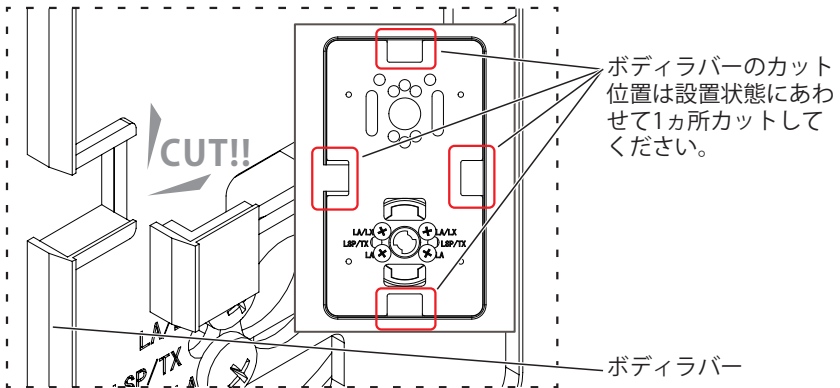
1. 切り欠き加工

- ・ドアに既存のシリンダーを残しリーダーを別の場所に付けるための穴を開けます。



2. ボディプレートの準備

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、ボディラバーの戸当り側マグネットセンサー設置部分をカットしてください。



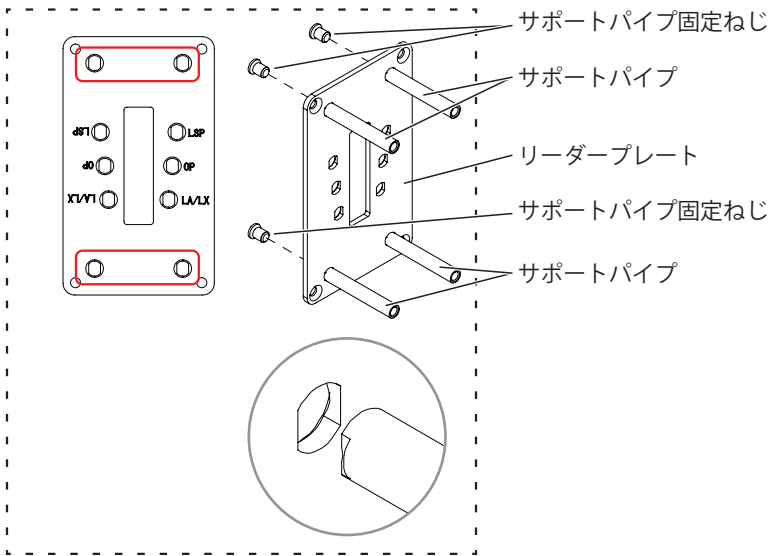
アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エマージェンシーB半独立型)

3. サポートパイプの取り付け

- リーダープレートの刻印のない位置にサポートパイプを取り付けます。サポートパイプの切り欠きをリーダープレートの穴と合わせて、サポートパイプ固定ねじで固定してください。

ねじはリーダープレートの刻印がある側から取り付けてください。

【LSP/LX部品】サポートパイプ固定ねじ M4×6 皿ねじ小頭 4本

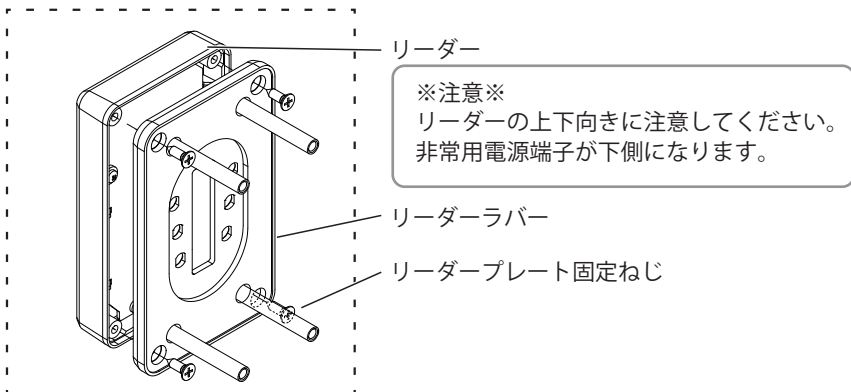


4. リーダープレートの取り付け

- リーダーにリーダープレートを取り付けます。

【本体部品】リーダープレート固定ねじ ST2.9×9.5 皿タッピングねじ 4本

- リーダープレートにリーダーラバーを取り付けます。パイプ装着部のリーダーラバーはカットしてください。

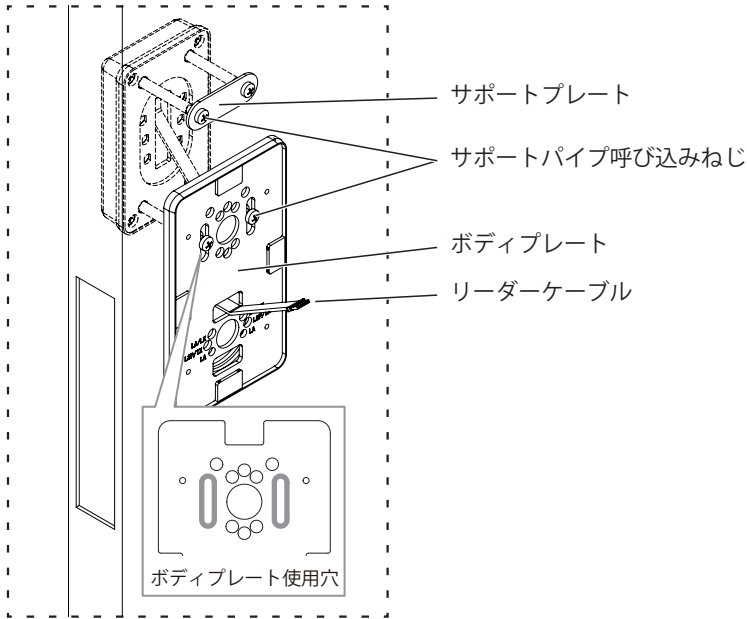


アウトボディの取り付け(MIWA-LSP エマージェンシーB半独立型)

5. リーダーの固定

- 切り欠き穴よりリーダーケーブルを通線し、サポートプレート、ボディプレートと抱き合わせて、サポートパイプ呼び込みねじで固定します。

【LA部品】サポートパイプ呼び込みねじ M4×28なべねじ

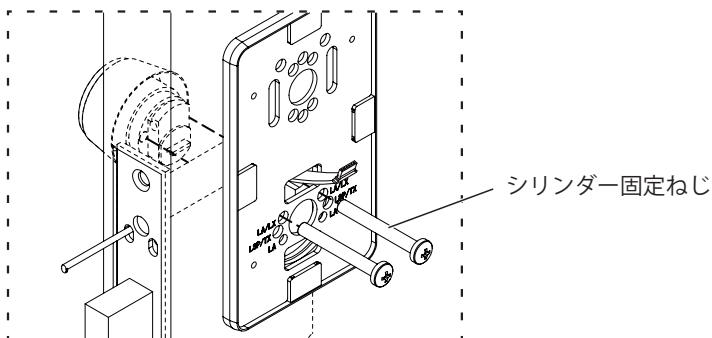


6. ボディプレートの固定

- 既存のシリンダーに対しボディプレートをシリンダー固定ねじで固定します。ねじは長さ違いで2種類あります。ドアの厚さに合わせて使用してください。

【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-S M5×40 なべねじ 2本

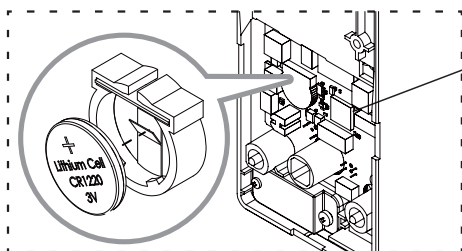
【LSP/LX部品】シリンダー固定ねじ-L M5×45 なべねじ 2本



インボディの取り付け

1. ボタン電池の取り付け

- ・ボディ基板にCR1220タイプのボタン電池を取り付けてください。未使用時は電池交換時に内部時計がリセットされますので、電池交換直後に時刻設定を行わないと、時間を使った機能が正しく作動しません。
- ※向きに注意して取り付けてください。

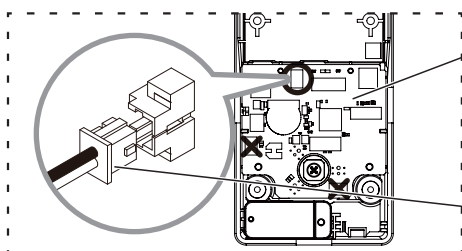


ボディ基板

※注意※
電子部品に触らないようにしてください。

2. マグネットセンサーの取り付け

- ・マグネットセンサーを使用する場合は、マグネットセンサーのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。
- ※向きに注意して奥まで差してください。



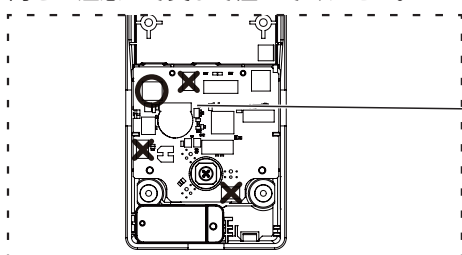
ボディ基板

※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

マグネットセンサーコネクタ

3. ACアダプターの取り付け

- ・ACアダプターを使用する場合は、ACアダプターのコネクタをボディ基板コネクタと接続します。
- ※向きに注意して奥まで差してください。



ボディ基板コネクタ

※注意※
コネクタ以外の電子部品に触らないようにしてください。

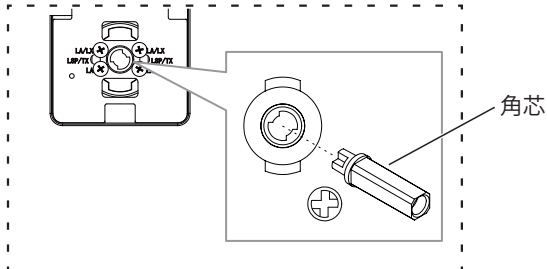
※ACアダプターを使用する場合の注意事項※

- 必ず電池を取り付けてください。ACアダプターのみで運用すると停電時に遠隔操作ができなくなります。
- 定期的に電池を交換してください。長期間入れたままにしておくと液漏れする恐れがあります。

インボディの取り付け

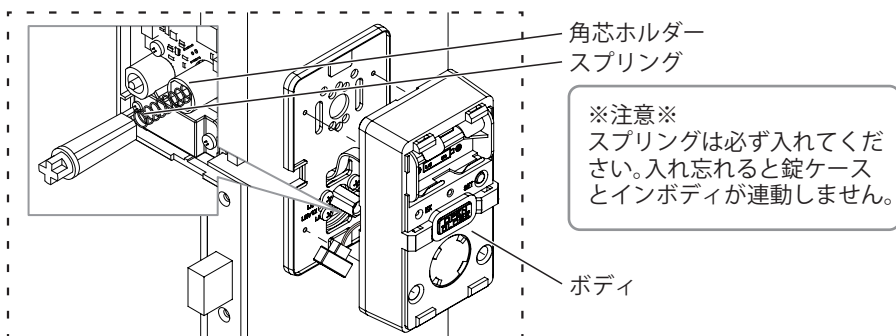
4. 角芯の選定

- 角芯は長さ違いで2種類付属しています。ドア厚に合わせて選定してください。
ドア厚30～42mm・・・角芯S(全長35mm)
ドア厚40～50mm・・・角芯L(全長40mm)
- 錠とボディを連結させる角芯を錠ケースのカム部に差し込みます。
※角芯をドア内部に落下させないようにご注意ください。



5. ボディの仮付け

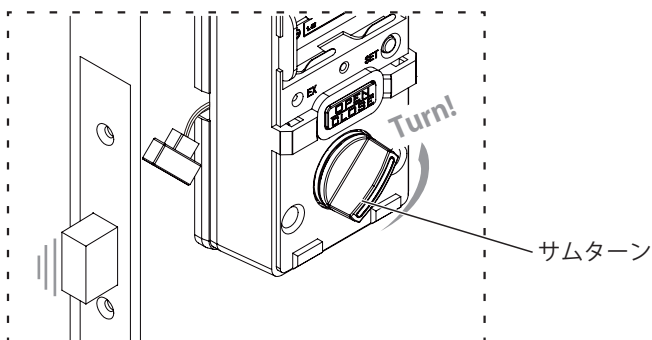
- 角芯ホルダー内にスプリングを入れ、角芯を収納しボディをボディプレートに密着させます。
※ケーブルを挟み込まないように注意してください。



インボディアの取り付け

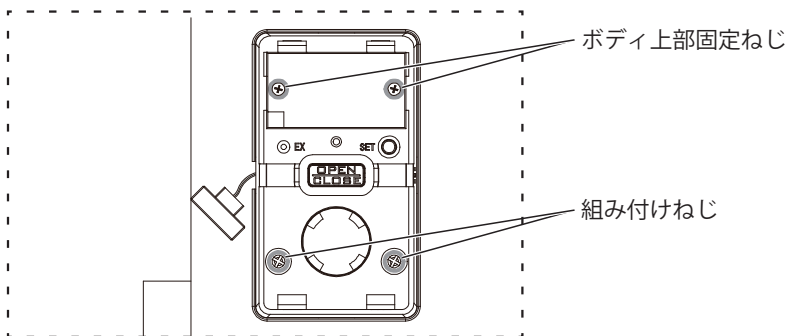
6. サムターン連結確認

- ボディを仮付けした状態でサムターンを付け作動を確認します。サムターンが90°往復で駆動することを確認してください。
- サムターンが動かない場合、一度ボディを外し、ボディのサムターンを90°空回して再度作動を確認してください。



7. ボディアの取り付け

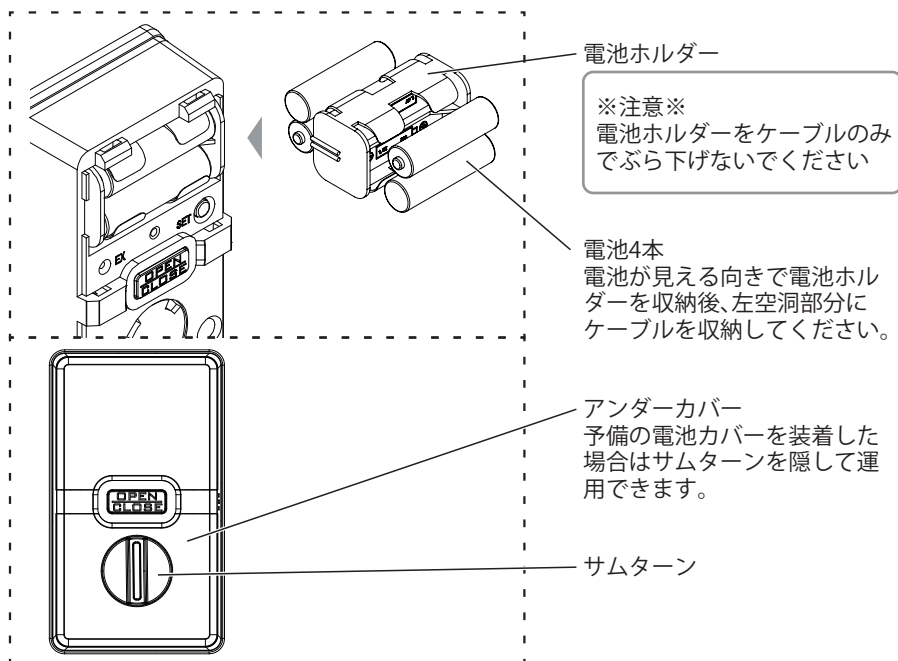
- アンダーカバー内の組み付けねじ2カ所を固定します。
 - 電池ホルダーを取り出し、電池ボックス内の2カ所をボディ上部固定ねじで固定します。
- 【本体部品】ボディ上部固定ねじ M3×8皿ねじ小頭



インボディの取り付け

8. 電池の取り付け

- 電池ホルダーに電池を挿入し電池ボックスに収納し電池カバーを取り付けます。電池ホルダーの収納向きが違う場合、電池カバーが閉まらないのでご注意ください。電池ホルダーの赤いリボンは電池の下に入れてください。電池を取り外すときに使います。リボンを引っ張った状態で電池を挿入すると電池が浮き上がることがあり、電池カバーが閉まらない場合があります。
- アンダーカバーを取り付けサムターンを装着します。

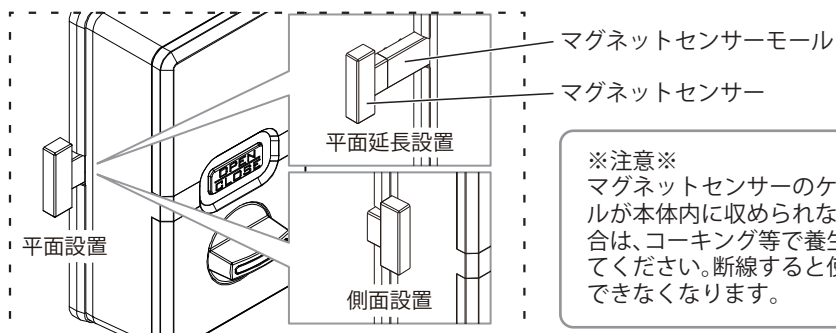


※電池を取り付ける際はインボディのボタンを押さないようにご注意ください。ボタンを押しながら電池を入れるとデバイスの設定が変わります。

インボディの取り付け

9. マグネットセンサーの取り付け

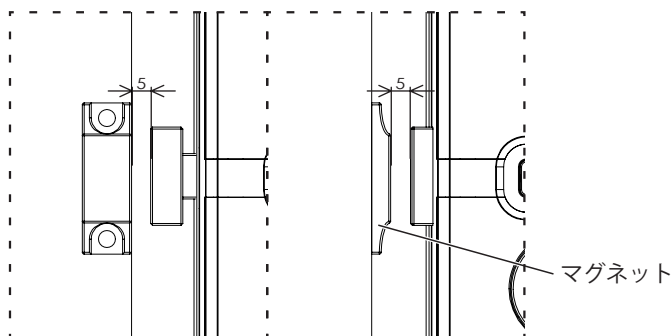
- ・戸当りの環境によりボディ側面設置かドア平面設置を選択してください。
- ・ドア平面設置の場合は戸当たりまでの距離によりマグネットセンサーモジュールを必要な長さにカットして位置決めしてください。
- ・余分なマグネットセンサーのケーブルは隙間より本体内に収めてください。
- ・マグネットセンサー裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットセンサーを貼り付けてください。



※注意※
マグネットセンサーのケーブルが本体内に収められない場合は、コーキング等で養生してください。断線すると使用できなくなります。

10. マグネットの取り付け

- ・マグネットを取り付ける前に、取り付け位置でマグネットセンサーが正しく検知することを確認してください。一度ドアを開いて、ドアを閉じるときに「ブツ」と音が鳴ればマグネットセンサーが検知しています。
- ・マグネット裏の両面テープの剥離紙を剥がし、マグネットを取り付けてください。マグネットはマグネットセンサーにできるだけ近づけて取り付けてください。(5mm以内)



11. アウトボディの保護フィルムを剥がす

- ・設置が終わったらアウトボディの保護フィルムを「2枚」剥がしてください。

※注意※
保護フィルムを付けたまま使用すると、フィルムが変質して剥がせなくなる場合があります。

デバイスの設定

1.コントローラーへの登録

スマートロックをスマートフォンアプリから操作するには、Z-Wave対応コントローラーに登録する必要があります。

- ・スマートフォンアプリをインストールしてください。
- ・アプリの案内に従ってコントローラーに登録してください。

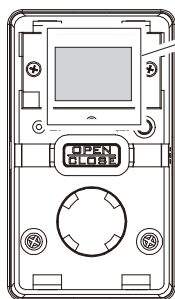
●スマートスタート対応のコントローラーの場合

製品に表示されているQRコードをスマートフォンアプリで読み取ると自動で登録します。スマートフォンアプリの案内に従って操作してください。

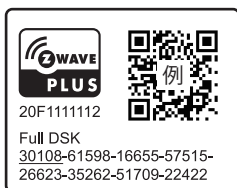
QRコードは電池ボックス内部と梱包箱に表示されています。どちらかのQRコードを読み取ってください。

QRコードを読み取ったあとは、本体を起動したまましばらくお待ちください。

スマートフォンアプリで登録が完了したことを確認してください。



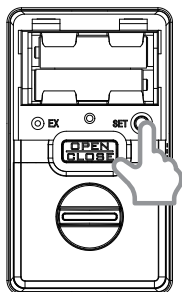
QRコード表示場所



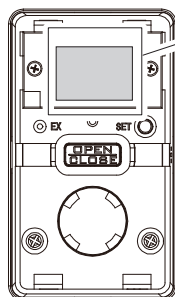
●スマートスタート非対応のコントローラーの場合

コントローラーをデバイス登録モード(AddまたはInclusionモード)にしてください。操作方法はコントローラーまたはスマートフォンアプリの取扱説明書をお読みください。

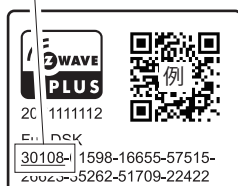
- ①インボディのSETボタンを約5秒長押しするとピピッと鳴り、登録動作を開始します。



- ②PINコードの入力を求められた場合は、QRコードの下に記載されている数字の最初の5桁を入力してください。操作アプリで登録が完了したことを確認してください。



PINコード表示場所
下線のある5桁です。



※上図はサンプル例です。

デバイスの設定

2.デバイスの設定

- ・アプリの案内にしたがって、デバイスの設定を行ってください。
- ・使用するアプリによって設定できる項目が異なる場合があります。
- ※設定項目はデバイスのバージョンアップにともない追加・削除・変更される場合があります。

【扉勝手】※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右勝手(初期値)・・・室外側に立ち、丁番が右の場合

左勝手・・・室外側に立ち、丁番が左の場合

【音量】

ミュート / 小 / 中(初期値) / 大 ※ミュートでも警告音は鳴動します。

【施錠モード】

モードの種類	マグネットセンサー有り	マグネットセンサー無し
自動施錠-S(初期値)	ドアが閉まってから3秒後	解錠から15秒後
自動施錠-L	ドアが閉まってから6秒後	解錠から30秒後
手動	手動(テンキー長押しで施錠できます)	
施解錠繰返し	手動(テンキー長押しでは施錠できません。室外側で施錠する場合はICカードかPINコードで操作してください。)	

【サムターン操作後連続解錠】

オン(初期値)・・・連続解錠(自動施錠-Sまたは-Lのときでも自動施錠しません)

オフ・・・自動施錠(施錠モードが自動施錠-Sまたは-Lのとき)

【O/Cボタン】

有効(初期値)・・・O/Cボタンが使用できます

無効・・・O/Cボタンは使用できません

【メイン/サブ切替】

ダブルロックで使用される場合、主錠でない方を【サブ】に設定してください。両方ともメインまたは両方ともサブでは正常に動作しません。

扉勝手はメインとサブで同じ設定にしてください。設定が異なると、メインとサブで施解錠動作が反転します。

メイン(初期値)・・・主錠

サブ・・・補助錠

サブに設定した場合、下記設定は自動で変更されます。

施錠モード:手動

マグネットセンサー:無し

【マグネットセンサー】

有り(初期値)・・・ドアの開閉を検知します

無し・・・ドアの開閉を検知しません

【モーター出力】

普通(初期値)・・・通常のトルクで駆動

強力・・・強力なトルクで駆動

【ランダムテンキー桁数】

テンキーを起動する前に表示されるランダムテンキーの桁数を設定します。

なし / 2桁(初期値) / 4桁 / 6桁

【通信待機設定】

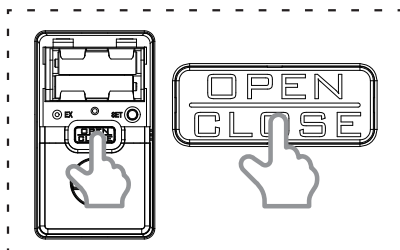
ON(初期値)・・・Bluetooth通信機能がON

OFF・・・Bluetooth通信機能がOFF

デバイスの設定

3. インボディでの設定変更

- ・インボディのボタンを押した状態で電源を入れることで設定を変えることができます。スマートフォンアプリがない場合でも下記項目の設定が可能です。



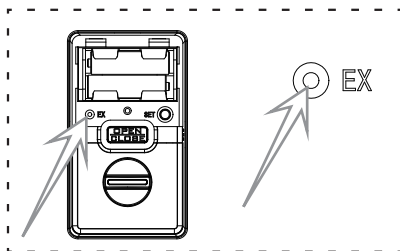
【扉勝手】O/Cボタン

※錠ケースの天地逆付けなどでイレギュラーな場合あり

右設定 (初期値)・・・室外側に立ち、
丁番が右の場合

↓↑
左設定

・・・室外側に立ち、
丁番が左の場合



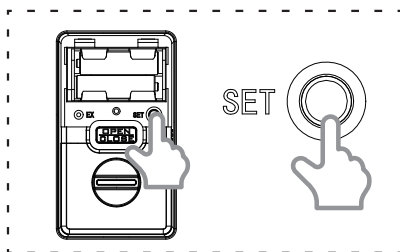
【音量】EXボタン (細長いもので押しください)

中音量 (初期値) ←

↓
大音量

↓
ミュート

↓
小音量



【マグネットセンサー】SETボタン

あり (初期値)・・・ドアの開閉を検知する

↓↑
なし

・・・ドアの開閉を検知しない

上記手順を行い設定が変更されると「設定を終了します」とアナウンスが流れます。各種希望の設定になるまで繰り返し行い、最終的に動作を確認してください。

2つの設定を同時に変更することはできません。

デバイスの設定

4. 通信待機設定

本体内蔵のBluetooth通信機能のON/OFFを切り替えます。
Bluetoothアプリを使用しない場合にOFFにすることで電池の持ちが良くなります。

①通信待機設定

電池カバー内のEXボタンとSETボタンを同時に3秒間押します。

ON ⇒ OFF または OFF ⇒ ON へ現在の状態を変更します。

※EXボタンは細長い物で押してください。

